

TWAEA 2019

日本大学生学習成果と満足度調査報告書

九州大学

目次

データ説明	1
一、大学が各調査項目における平均概要および百分位数順位	3
二、基本情報	8
三、大学の設備	
(一)【Q8】「図書館の設備」への満足度	18
(二)【Q9】「教育設備」への満足度	19
(三)【Q10】「大学情報システム」への満足度	20
(四)【Q11】「キャンパス国際化」への意識	21
四、教育成果	
(一)【Q12】「授業方法」への意識	22
(二)【Q13】「授業内容」への意識	24
五、学習状況	
(一)【Q14】「履修する授業」への意識	25
(二)【Q15】「学習」への意識	26
(三)【Q16】「広範な教育」への意識	28
(四)【Q17】「外国語能力」への意識	29
六、キャンパスライフ支援	
(一)【Q18】「相談支援」への理解	30
(二)【Q19】「教育支援」への意識	31
(三)【Q20】「就職支援」への意識	32
七、自己評価	
(一)【Q21】「自身の現状」への評価	33
(二)【Q22】「全体状況」への意識	35
八、クロス分析	
(一)【Q2*Q22】異なる身分別学生の「全体状況」への意識	36
(二)【Q3*Q8】異なる分野学生の「図書館の設備」への満足度	38
(三)【Q3*Q9】異なる分野学生の「教育設備」への満足度	41
(四)【Q3*Q10】異なる分野学生の「大学情報システム」への満足度	44
(五)【Q3*Q11】異なる分野学生の「キャンパス国際化」への意識	47
(六)【Q3*Q12】異なる分野学生の「授業方法」への意識	50
(七)【Q3*Q13】異なる分野学生の「授業内容」への意識	56
(八)【Q3*Q14】異なる分野学生の「履修する授業」への意識	59
(九)【Q3*Q15】異なる分野学生の「学習」への意識	62
(十)【Q3*Q16】異なる分野学生の「広範な教育」への意識	68
(十一)【Q3*Q17】異なる分野学生の「外国語能力」への意識	71
(十二)【Q3*Q18】異なる分野学生の「相談支援」への理解	74
(十三)【Q3*Q19】異なる分野学生の「教育支援」への意識	77
(十四)【Q3*Q20】異なる分野学生の「就職支援」への意識	80
(十五)【Q3*Q21】異なる分野学生の「自身の現状」への評価	83
(十六)【Q3*Q22】異なる分野学生の「全体状況」への意識	89
附録：アンケート	

データ説明

(一) 主催者



Japan University
Accreditation Association

日本・公益財団法人大学基準協会



Taiwan Assessment and
Evaluation Association

社団法人台湾評価協会



Office for National Education
Standards and Quality Assessment

タイ国家教育基準・質評価局

(二) 調査に関する基礎情報

【調査期間】2019年5月1日～2019年7月10日

【調査対象】日本大学生

【回収件数】2,504件

【参加校数(回収件数は30以上)】21大学

(三) 参加校数(回収件数は30以上)

- | | |
|-------------|-------------|
| (1) 九州大学 | (2) 千葉大学 |
| (3) 大東文化大学 | (4) 中央大学 |
| (5) 北里大学 | (6) 札幌医科大学 |
| (7) 同志社大学 | (8) 京都産業大学 |
| (9) 明治大学 | (10) 東北学院大学 |
| (11) 東京大学 | (12) 東京農業大学 |
| (13) 東洋大学 | (14) 法政大学 |
| (15) 近畿大学 | (16) 金沢大学 |
| (17) 帝塚山大学 | (18) 皇學館大学 |
| (19) 創価大学 | (20) 福岡大学 |
| (21) 静岡県立大学 | |

(四) アンケート枠組み

A. 基本情報

 個人情報

回答者の基本情報を理解し、異なる背景を持つ学生の違いを把握

B. 設備及び大学システム

 大学の設備

インフラ整備の参考になるよう、学生の設備や大学システムへの満足度を把握

C. 学習効果と支援

 教育成果

学生の教育成果、授業方法などへの意識を調査する

 学習状況

学生の授業内容、広範な学習、外国語能力への意識を調査する

 キャンパスライフ支援

学生の大学での各支援内容への理解、教育や就職支援への意識を調査する

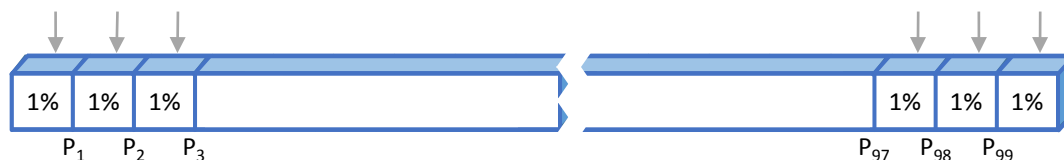
D. 大学全体満足度

 自己評価

学生の現状への評価、大学への満足度や期待

(五) 報告解析

1. 本報告は計量的なデータとの比較分析から得た結果で、質的分析には用いていない。そのため、その結果は大学におけるIR運用上の参考とし、実際の運用は大学の特色、教育目標、発展方向、環境などの各要素の影響も十分に考慮すべきである。
2. 本報告で用いる百分位数 (Percentiles, P) は、ある変数のすべての値を並べ、100等分にしたもので、そこから99の区間を得る。1つの区間が1つの百分位数Pに対応する。k項目の区間はPkで示す。例えば、25項目の区間はP25、つまりその下には25等分の区間を意味する；すなわち、25%のデータがP25で示す値より小さいことを意味する。百分位数の図解は下記の通りである。(Mann 2013, p.121)



Mann, Prem S. (2013). *Introductory Statistics*. 8th ed. Hoboken, NJ: John Wiley & Sons.

3. 本アンケートは五段階評価で、1～5の段階：1：まったく思わない、2：思わない、3：どちらともいえない、4：思う、5：強く思う、(1～5の段階：1：とても不満、2：不満、3：どちらともいえない、4：満足、5：とても満足)、それぞれ1、2、3、4、5が1～5の点数に対応する。
4. 本報告書では各調査項目の「サンプル数」も示しており、詳細は「各調査項目における平均概要および百分位数順位」を参照されたい。その中で、一択問題ではサンプル数の総数も示している；複数選択問題では総数は示さない；満足度は五段階評価で、サンプル数は各項目別に表示しており、総数は示さない。

一、大学が各調査項目における平均概要および百分位数順位

番号	項目	サンプル数	全部の大学の平均	KYUSHU(n=89)	
				平均	百分位数
Q1	性別(%)	2,504			
	(1) 男性	1,439	57.47	48.31	45
	(2) 女性	1,065	42.53	51.69	55
Q2	国籍(%)	2,504			
	(1) 本国籍	2,411	96.29	92.13	10
	(2) 外国籍	93	3.71	7.87	85
Q3	専門分野(%)	2,504			
	(1) 教育分野	95	3.79	3.37	60
	(2) 芸術及び人文分野	295	11.78	4.49	11
	(3) 社会科学、ジャーナリズム、図書館情報分野	176	7.03	--	--
	(4) 商、経済、経営、法学分野	668	26.68	4.49	5
	(5) 自然科学、数学、統計分野	227	9.07	6.74	42
	(6) 情報通信技術分野	98	3.91	--	--
	(7) 工学、製造、建築分野	349	13.94	14.61	69
	(8) 農業、林業、漁業、獣医分野	232	9.27	6.74	81
	(9) 医・薬・衛生看護学や社会福祉分野	302	12.06	56.18	92
	(10) サービス分野	11	0.44	1.12	33
	(11) その他の分野	51	2.04	2.25	53
Q4	在籍種類(%)	2,504			
	(1) 四年制(通学課程)	2,329	93.01	69.66	5
	(2) 四年制(通信制)	21	0.84	--	--
	(3) 六年制(医学・歯学・獣医学・薬学)	154	6.15	30.34	85
Q5	在籍年数(%)	2,504			
	(1) 四年制(通学課程)一年	29	1.16	2.25	70
	(2) 四年制(通学課程)二年	1,003	40.06	29.21	15
	(3) 四年制(通学課程)三年	692	27.64	24.72	40
	(4) 四年制(通学課程)四年	580	23.16	13.48	25
	(5) 四年制(通学課程)五年	19	0.76	--	--
	(6) 四年制(通学課程)六年	6	0.24	--	--
	(7) 四年制(通信制)一年	--	--	--	--
	(8) 四年制(通信制)二年	4	0.16	--	--
	(9) 四年制(通信制)三年	10	0.40	--	--
	(10) 四年制(通信制)四年	6	0.24	--	--
	(11) 四年制(通信制)五年	1	0.04	--	--
	(12) 四年制(通信制)六年	--	--	--	--
	(13) 六年制(医学・歯学・獣医学・薬学)一年	--	--	--	--
	(14) 六年制(医学・歯学・獣医学・薬学)二年	40	1.60	4.49	50

番号	項目	サンプル数	全部の大学の平均	KYUSHU(n=89)	
				平均	百分位数
(15)	六年制(医学・歯学・獣医学・薬学)三年	21	0.84	6.74	99
(16)	六年制(医学・歯学・獣医学・薬学)四年	34	1.36	11.24	83
(17)	六年制(医学・歯学・獣医学・薬学)五年	23	0.92	1.12	20
(18)	六年制(医学・歯学・獣医学・薬学)六年	36	1.44	6.74	80
Q6	学費の主な財源(%)	--			
(1)	保護者による負担	2,214	88.42	88.76	45
(2)	アルバイト所得	204	8.15	10.11	75
(3)	奨学金(給付型)	228	9.11	11.24	70
(4)	奨学金(貸与型)	581	23.20	16.85	35
(5)	個人貯金	65	2.60	2.25	47
Q7	学習と生活費の主な財源(%)	--			
(1)	保護者による負担	2,088	83.39	84.27	55
(2)	アルバイト所得	1,426	56.95	56.18	25
(3)	奨学金(給付型)	149	5.95	10.11	90
(4)	奨学金(貸与型)	336	13.42	17.98	80
(5)	個人貯金	239	9.54	12.36	55
Q8	「図書館の設備」への満足度	--			
(1)	専門図書、雑誌、電子ジャーナルなどの充実度	2,504	3.69	3.79	45
(2)	書籍とジャーナルの配架の適切性	2,504	3.66	3.64	25
(3)	情報検索の利便性	2,504	3.62	3.66	30
(4)	学習環境の広さ	2,504	3.57	3.43	10
(5)	学習環境の静けさ、清潔性	2,504	3.78	3.72	25
Q9	「教育設備」への満足度	--			
(1)	教室空間の快適性	2,504	3.30	3.55	80
(2)	教育設備の実用性	2,504	3.43	3.66	90
(3)	eラーニング設備の運用	2,504	3.06	3.20	55
(4)	PC教室設備の充実度	2,504	3.49	2.91	1
(5)	インターネット環境の充実度	2,504	3.29	3.63	80
Q10	「大学情報システム」への満足度	--			
(1)	履修登録システムの利便性	2,504	3.38	3.43	55
(2)	授業検索システムの利便性	2,504	3.18	3.01	15
(3)	履修登録システムと授業検索システムの互換性	2,504	3.20	3.16	35
(4)	大学ホームページでの学務関連情報の検索機能	2,504	3.14	3.01	20
(5)	大学の学習支援システムの実用性	2,504	3.21	3.09	5
Q11	「キャンパス国際化」への意識	--			
(1)	海外交流の機会を多く提供している。	2,504	3.35	3.71	70
(2)	大学はグローバルな学習環境を提供している。	2,504	3.25	3.47	60
(3)	大学は学生の国際交流への参加を奨励している。	2,504	3.15	3.52	75
(4)	外国籍の教員や学生との交流機会が多い。	2,504	2.72	2.90	50

番号	項目	サンプル数	全部の大学の平均	KYUSHU(n=89)	
				平均	百分位数
Q12	「授業方法」への意識	--			
(1)	教員の講義内容や解説	2,504	3.46	3.43	35
(2)	教員が提供または指定する教材(教科書、プリント)	2,504	3.48	3.44	35
(3)	メディアや映像の使用による授業サポート	2,504	3.40	3.33	20
(4)	教員が提示する事例またはその事例についての討論	2,504	3.36	3.30	40
(5)	教員と学生による双方向授業(質問、討論)	2,504	3.00	2.93	35
(6)	学生によるグループ討論、制作、発表の実施	2,504	3.11	3.13	50
(7)	教員のサポートを通じての制作や実験の実施	2,504	3.30	3.35	60
(8)	学生がテーマを決定し、資料を集めてレポート等を作成するプロジェクト研究	2,504	3.05	2.94	25
(9)	専門家による講演や実演	2,504	3.25	3.42	85
(10)	フィールドワーク	2,504	2.90	2.85	30
(11)	複数の教員が合同で開設する授業(例.共同授業等)	2,504	2.96	3.17	95
(12)	教員が授業で映像教材を見せた後に行うポイントの復習	2,504	3.11	3.19	75
Q13	「授業内容」への意識	--			
(1)	教員は、学生の学習能力に見合った教材を採用している。	2,504	3.46	3.37	20
(2)	教員は、自らの専門分野と合致した授業を提供している。	2,504	3.84	3.96	50
(3)	教員は学生の能力に応じた授業内容と授業方法を取り入れている。	2,504	3.43	3.31	15
(4)	教員は、学生の学習成果が高まるような教科書や補助教材を採用している。	2,504	3.32	3.21	20
(5)	教員は、学生の学習意欲を向上させるため、授業において教授法や講義の内容を常に工夫している。	2,504	3.22	3.16	20
Q14	「履修する授業」への意識	--			
(1)	履修前から、システム上で各授業のシラバスをチェックすることができる。	2,504	4.00	3.60	5
(2)	大学の授業選択ガイダンスとサポート体制は十分に整っている。	2,504	3.37	3.28	15
(3)	授業を通じて、卒業までに当該分野の専門知識を十分学習することができる。	2,504	3.52	3.58	55
(4)	自分の取りたい授業を全部履修することができる。	2,504	2.99	2.99	45
(5)	授業によって、就職市場との十分な結びつきを得ることが可能である。	2,504	3.04	3.04	50
(6)	大学は、インターンシップ等の機会を提供している。	2,504	3.57	3.40	10

番号	項目	サンプル数	全部の大学の平均	KYUSHU(n=89)	
				平均	百分位数
Q15	「学習」への意識	--			
(1)	カリキュラムの進度に遅れずについていくことができる	2,504	3.56	3.45	5
(2)	授業のポイントを十分に把握している	2,504	3.46	3.30	5
(3)	時間を有効に活用し、授業の準備をしている	2,504	3.18	3.09	25
(4)	授業の学習内容をスムーズに理解できる	2,504	3.34	3.10	1
(5)	自身の学習成果に満足している	2,504	3.07	3.06	35
(6)	費やした努力と成果が比例していると感じる	2,504	3.33	3.24	10
(7)	学習上の問題が発生した時、どのように資料を探し、誰に質問すればいいのか理解している	2,504	3.36	3.25	10
(8)	問題なく他の人と協力し合って、チーム作業を完了させることができる	2,504	3.47	3.46	35
(9)	レポートを書くことが得意である	2,504	2.96	2.73	1
(10)	口頭発表が苦にならない	2,504	2.93	2.93	45
Q16	「広範な教育」への意識	--			
(1)	大学が開設する一般教養カリキュラムにより、自身の知識を深めることができる。	2,504	3.48	3.34	10
(2)	大学が開設する学際的カリキュラムやプログラムにより、異なる分野の知識をまとめる能力を身に付けることができる。	2,504	3.30	3.33	40
(3)	大学は、専門教育のほかに、多元的で幅広い視野の養成も重視している。	2,504	3.41	3.27	15
Q17	「外国語能力」への意識	--			
(1)	英語の教科書を読む能力がある。	2,504	3.14	3.31	60
(2)	卒業時に求められる外国語の到達基準は、外国語能力の向上につながっている。	2,504	2.86	2.79	35
(3)	一種類以上の外国語の検定資格を持っている。	2,504	3.14	3.33	60
(4)	外国語の授業を履修することによって、卒業後は当該外国語でのコミュニケーションをとれるようになると思う。	2,504	2.50	2.47	45
Q18	「相談支援」への理解	--			
(1)	「生活の適応不良」の相談	2,504	3.04	3.15	85
(2)	「人間関係」の相談	2,504	3.09	3.08	50
(3)	「精神的な悩み」の相談	2,504	3.12	3.03	20
(4)	「セクハラ」の相談	2,504	3.06	2.99	30
(5)	「キャリアデザイン」の相談	2,504	3.27	2.92	1
(6)	「学習成績不振」の相談	2,504	2.99	2.80	20

番号	項目	サンプル数	全部の大学の平均	KYUSHU(n=89)	
				平均	百分位数
Q19	「教育支援」への意識	--			
(1)	大学の早期警告制度や補充教育は、学習成果が芳しくない学生のサポートに有効である。	2,504	3.17	3.30	75
(2)	教員は授業時間の他に学習に必要な指導や情報を提供してくれる。	2,504	3.21	3.13	25
(3)	学習のためのeポートフォリオは、学生の学習成果の向上にとっては効果的である。	2,504	2.95	2.85	25
Q20	「就職支援」への意識	--			
(1)	大学は、卒業後の就職やキャリアデザインに対する支援を効果的に行っている。	2,504	3.33	3.01	5
(2)	私は卒業後のキャリアデザインについて、明確な方向性と具体的な計画を持っている。	2,504	3.12	3.03	20
(3)	私は所属学科のOB/OGのキャリアデザインを知ることが可能である。	2,504	3.16	3.03	25
(4)	大学は、OB/OGを招き、在学生との交流、経験の提供に関するイベントを行っている。	2,504	3.29	2.98	1
(5)	大学では、学生に対して、様々な業界の動向や将来の方向性に関する情報を提供している。	2,504	3.32	3.15	20
Q21	「自身の現状」への評価	--			
(1)	他の大学への編入試験を受けようと考えている	2,504	1.73	1.79	70
(2)	転部・転科を考えている	2,504	1.67	1.49	35
(3)	大学入試の再受験を考えている	2,504	1.57	1.49	55
(4)	休学を考えている	2,504	1.68	1.70	65
(5)	大学に入る目的を理解している	2,504	3.62	3.70	40
(6)	大学で勉強している期間内に成果が得られることを期待している	2,504	3.66	3.89	80
(7)	大学での勉強が楽しい	2,504	3.43	3.49	50
(8)	大学での学習目標が明確である	2,504	3.39	3.52	50
Q22	「全体状況」への意識	--			
(1)	他の人に私が所属する「学科」を薦めたい。	2,504	3.24	3.28	45
(2)	他の人に私が所属する「大学」を薦めたい。	2,504	3.31	3.49	80
(3)	私が所属する大学の学生の学習態度は全体的に積極的である。	2,504	2.94	3.02	80
(4)	私が所属する大学の教育の質は過去一年内に大きく改善した。	2,504	2.63	2.64	45
(5)	私は所属する大学の教育に満足している。	2,504	3.35	3.40	65

二、基本情報

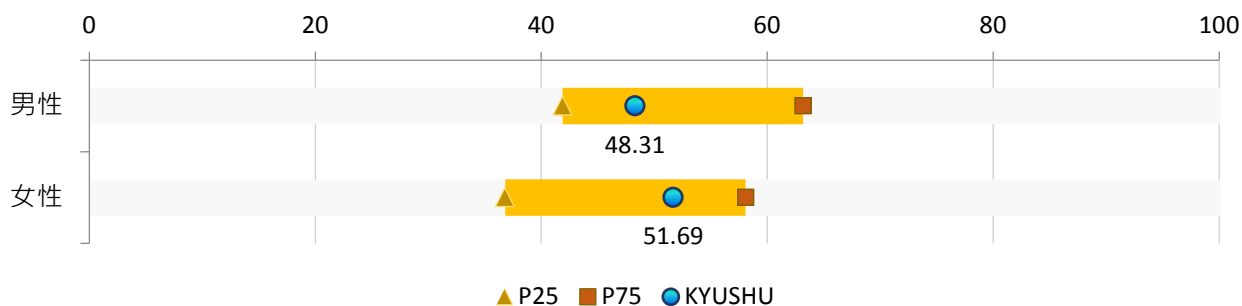
(一) 【Q1】性別

項目	KYUSHU		P25 (%)	P75 (%)	P25との差 (%)	P75との差 (%)
	平均(%)	百分位数				
男性	48.31	45	41.90	63.19	6.41	-14.88
女性	51.69	55	36.81	58.10	14.88	-6.41

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図2-1】学生性別とP25、P75との比較(%)

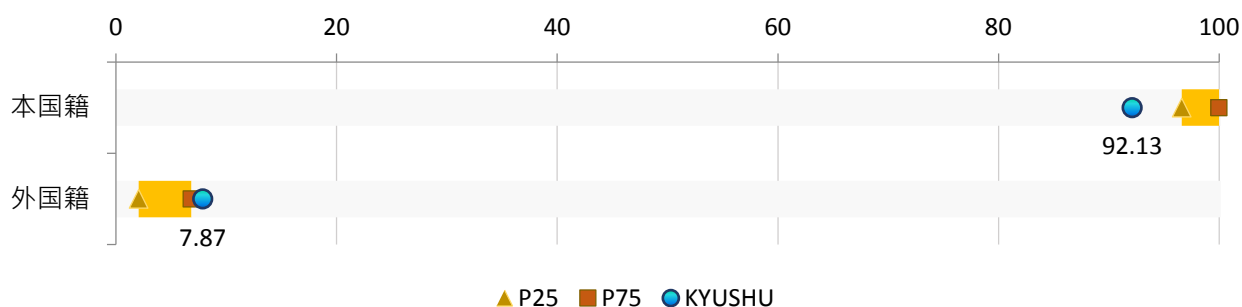
(二) 【Q2】国籍

項目	KYUSHU		P25 (%)	P75 (%)	P25との差 (%)	P75との差 (%)
	平均(%)	百分位数				
本国籍	92.13	10	96.62	100.00	-4.49	-7.87
外国籍	7.87	85	2.06	6.83	5.81	1.04

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；
「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図2-2】学生国籍とP25、P75との比較(%)

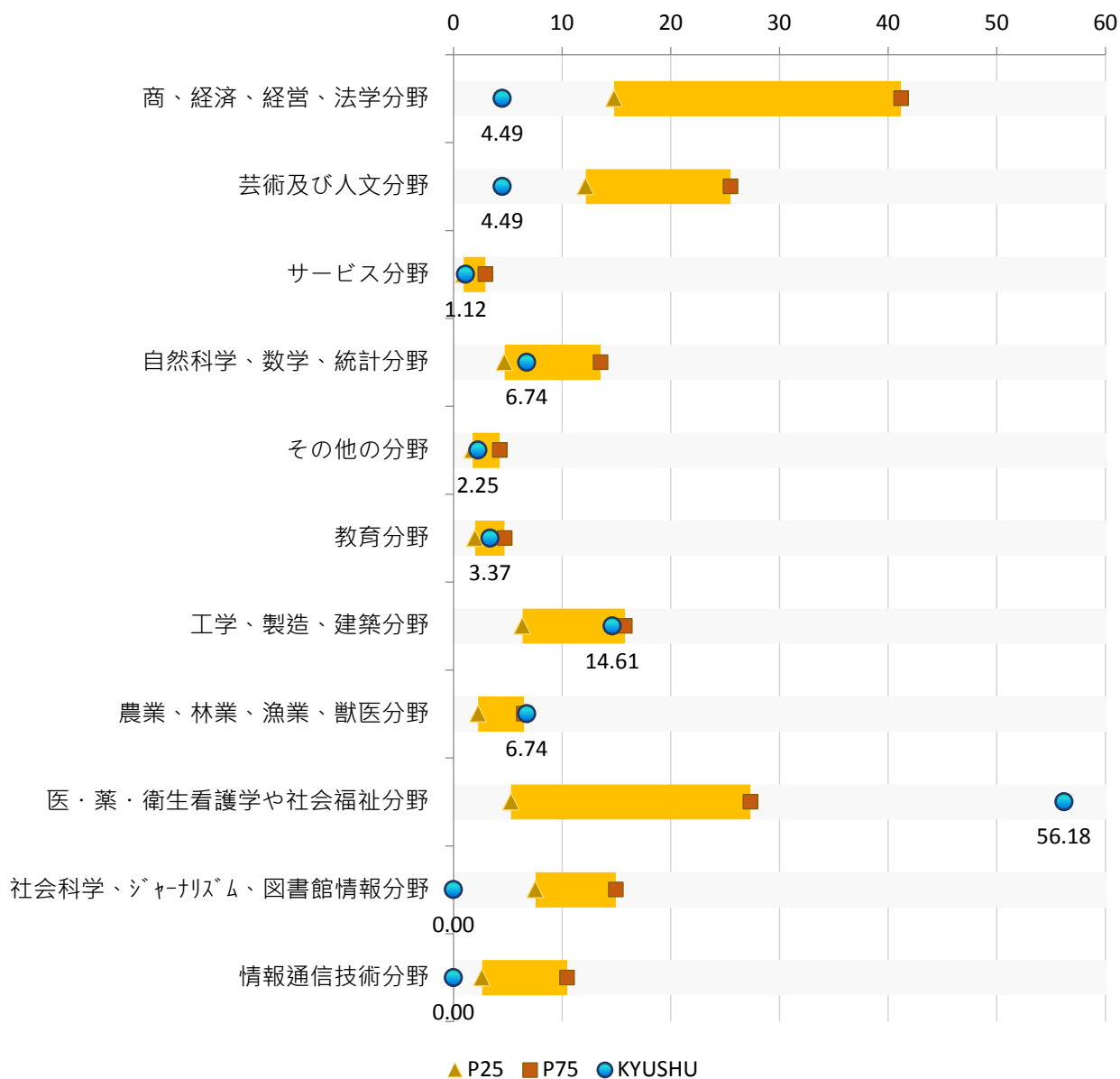
(三) 【Q3】専門分野

項目	KYUSHU		P25 (%)	P75 (%)	P25との差 (%)	P75との差 (%)
	平均(%)	百分位数				
商、経済、経営、法学分野	4.49	5	14.79	41.20	-10.30 *	-36.71 **
芸術及び人文分野	4.49	11	12.17	25.51	-7.68	-21.02 **
サービス分野	1.12	33	0.94	2.95	0.18	-1.83
自然科学、数学、統計分野	6.74	42	4.70	13.56	2.04	-6.82
その他の分野	2.25	53	1.76	4.27	0.49	-2.02
教育分野	3.37	60	2.00	4.72	1.37	-1.35
工学、製造、建築分野	14.61	69	6.35	15.78	8.26	-1.17
農業、林業、漁業、獣医分野	6.74	81	2.28	6.48	4.46	0.26
医・薬・衛生看護学や社会福祉分野	56.18	92	5.30	27.34	50.88 **	28.84 **
社会科学、ジャーナリズム、図書館情報分野	0.00	--	7.55	14.95	-7.55 **	-14.95 **
情報通信技術分野	0.00	--	2.63	10.47	-2.63	-10.47 **

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中・A大学の「百分位数」がPkの場合・A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に・P99は当大学の値が99%の大学より高い・即ち・その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い・即ち・その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図2-3】学生専門分野とP25、P75との比較(%)

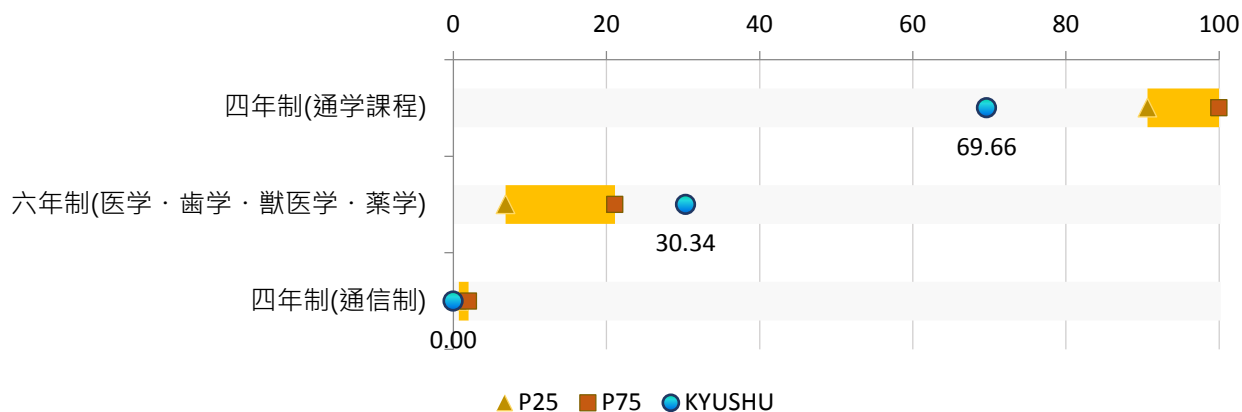
(四) 【Q4】在籍種類

項目	KYUSHU		P25 (%)	P75 (%)	P25との差 (%)	P75との差 (%)
	平均(%)	百分位数				
四年制(通学課程)	69.66	5	90.65	100.00	-20.99	-30.34 *
六年制(医学・歯学・獣医学・薬学)	30.34	85	6.83	21.11	23.51 **	9.23
四年制(通信制)	0.00	--	0.71	2.00	-0.71	-2.00

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が50%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間p=0.05（両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間p=0.01の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図2-4】学生在籍種類とP25、P75との比較(%)

(五) 【Q5】在籍年数

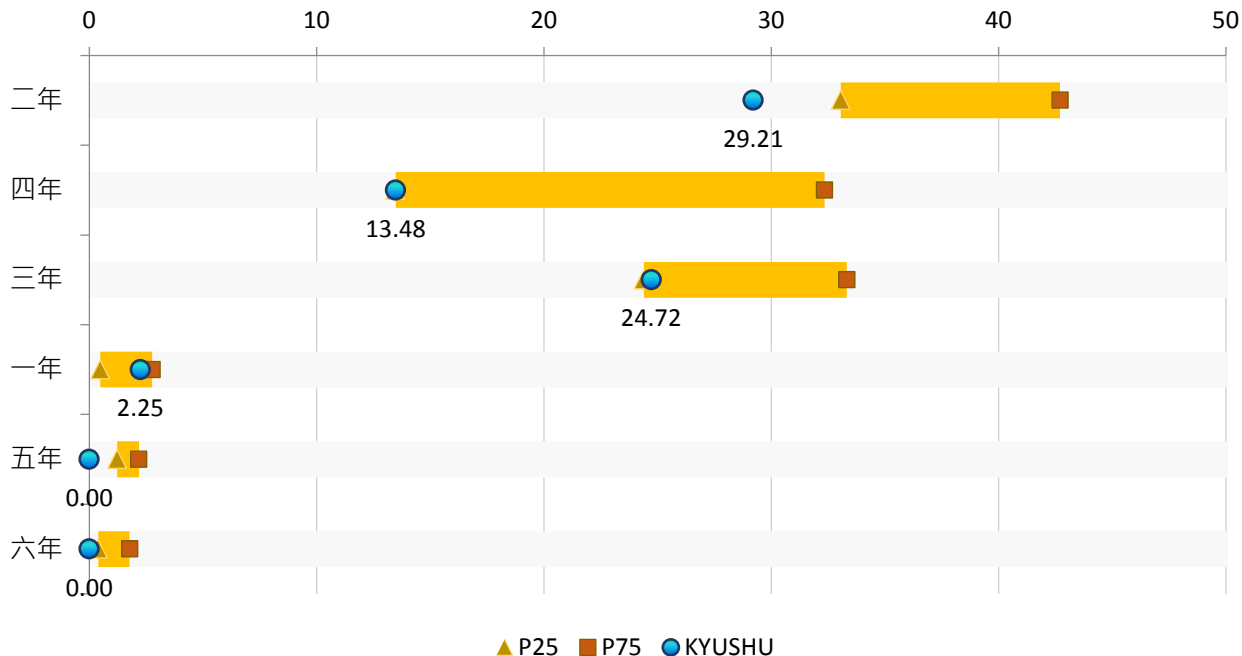
1. 四年制(通学課程)

項目	KYUSHU		P25 (%)	P75 (%)	P25との差 (%)	P75との差 (%)
	平均(%)	百分位数				
二年	29.21	15	33.06	42.71	-3.85	-13.50
四年	13.48	25	13.48	32.35	--	-18.87 **
三年	24.72	40	24.39	33.33	0.33	-8.61
一年	2.25	70	0.48	2.77	1.77	-0.52
五年	0.00	--	1.23	2.18	-1.23	-2.18
六年	0.00	--	0.39	1.78	-0.39	-1.78

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中・A大学の「百分位数」がPkの場合・A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に・P99は当大学の値が99%の大学より高い・即ち・その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い・即ち・その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図2-5-1】学生在籍年数とP25、P75との比較(%) - 四年制(通学課程)

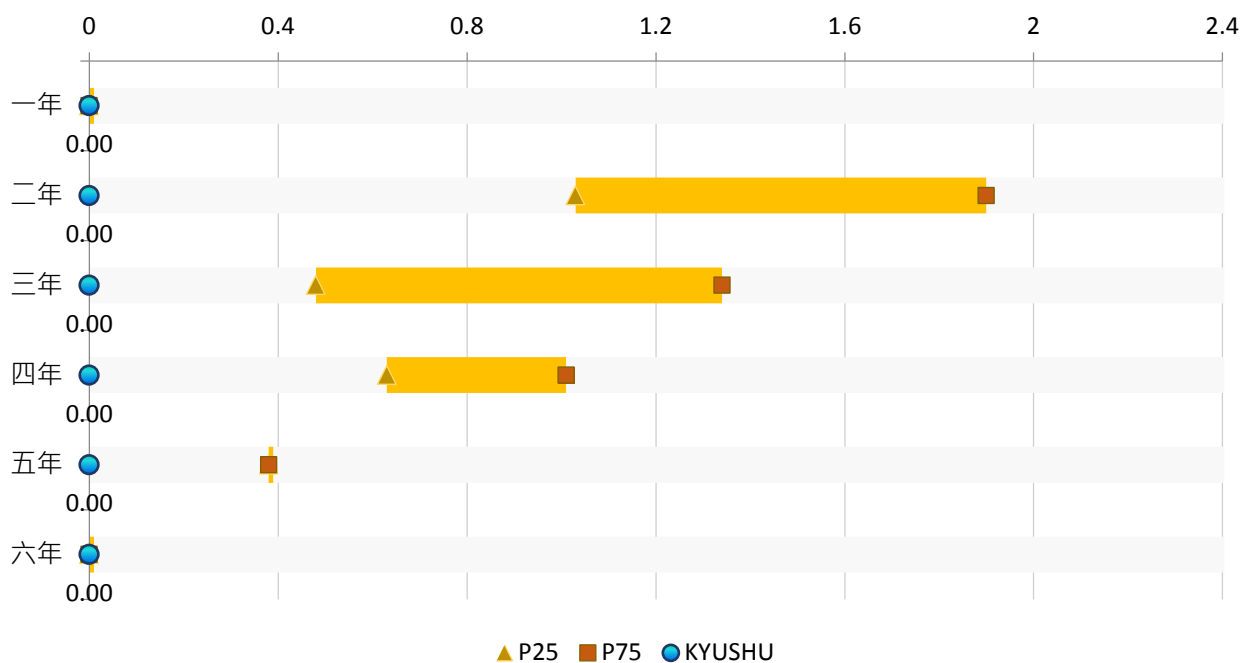
2. 四年制(通信制)

項目	KYUSHU		P25 (%)	P75 (%)	P25との差 (%)	P75との差 (%)
	平均(%)	百分位数				
一年	0.00	--	0.00	0.00	--	--
二年	0.00	--	1.03	1.90	-1.03	-1.90
三年	0.00	--	0.48	1.34	-0.48	-1.34
四年	0.00	--	0.63	1.01	-0.63	-1.01
五年	0.00	--	0.38	0.38	-0.38	-0.38
六年	0.00	--	0.00	0.00	--	--

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中・A大学の「百分位数」がPkの場合・A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に・P99は当大学の値が99%の大学より高い・即ち・その他の20大学より高い；P50は当大学の値が50%の大学より高い・即ち・その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図2-5-2】学生在籍年数とP25、P75との比較(%) - 四年制(通信制)

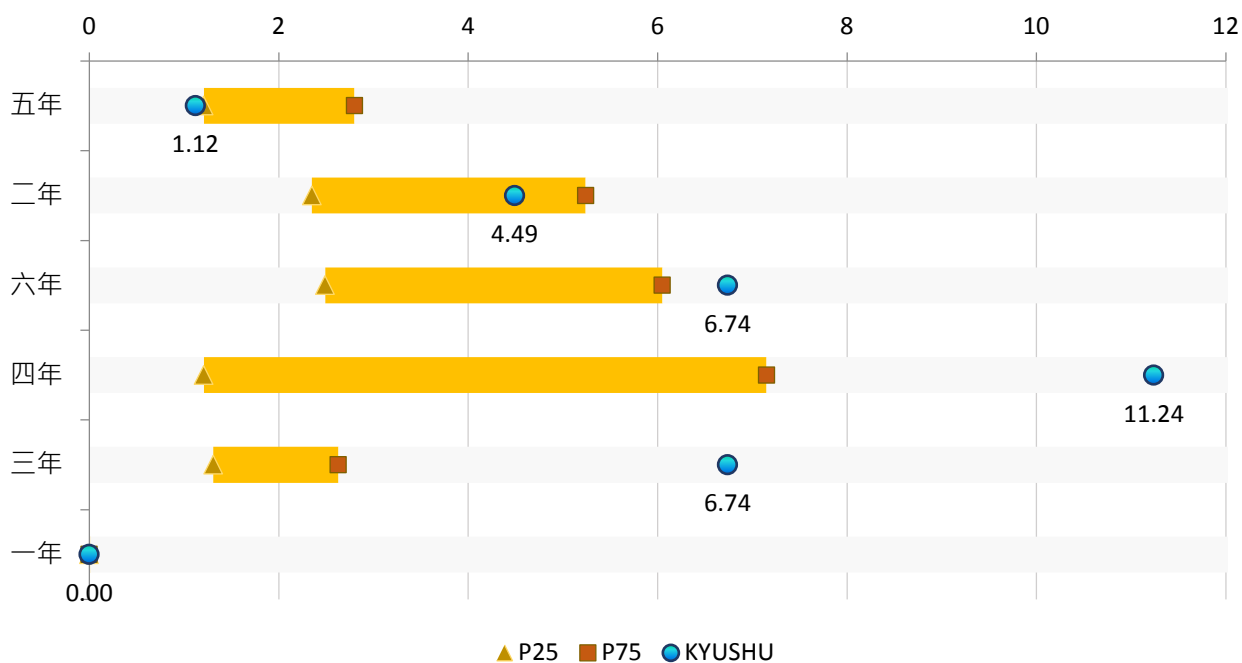
3. 六年制(医学・歯学・獣医学・薬学)

項目	KYUSHU		P25 (%)	P75 (%)	P25との差 (%)	P75との差 (%)
	平均(%)	百分位数				
五年	1.12	20	1.21	2.80	-0.09	-1.68
二年	4.49	50	2.35	5.24	2.14	-0.75
六年	6.74	80	2.49	6.05	4.25	0.69
四年	11.24	83	1.21	7.15	10.03 **	4.09
三年	6.74	99	1.31	2.63	5.43	4.11
一年	0.00	--	0.00	0.00	--	--

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中・A大学の「百分位数」がPkの場合・A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に・P99は当大学の値が99%の大学より高い・即ち・その他の20大学より高い；P50は当大学の値が50%の大学より高い・即ち・その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間p=0.05（両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間p=0.01の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図2-5-3】 学生在籍年数とP25、P75との比較(%) - 六年制(医学・歯学・獣医学・薬学)

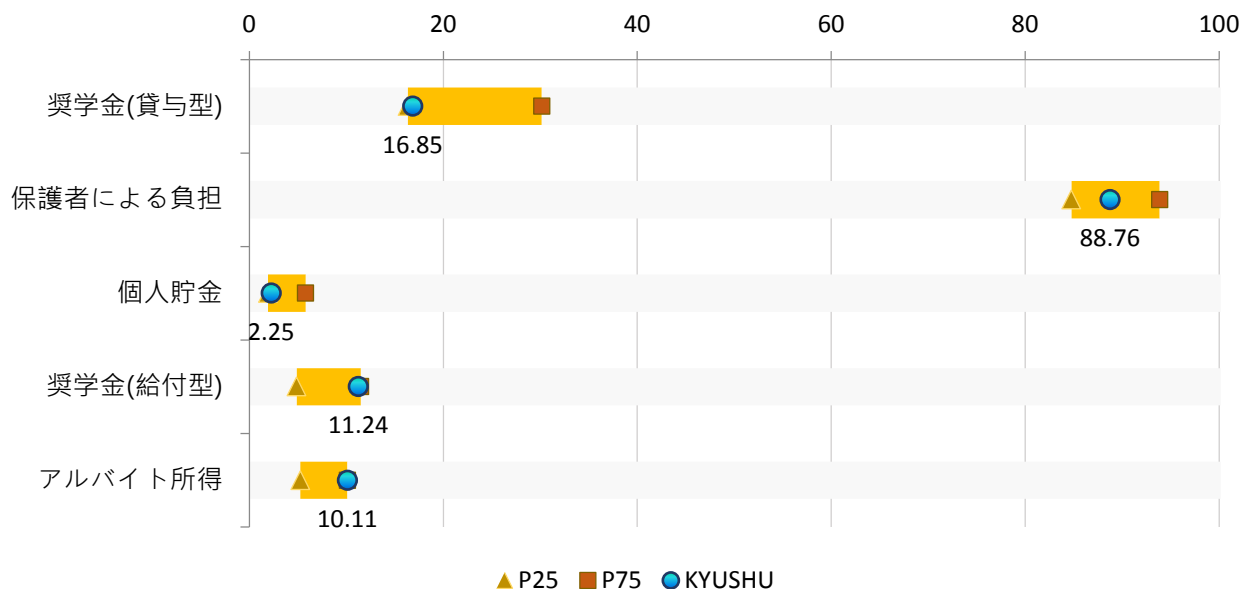
(六) 【Q6】学費の主な財源

項目	KYUSHU		P25 (%)	P75 (%)	P25との差 (%)	P75との差 (%)
	平均(%)	百分位数				
奨学金(貸与型)	16.85	35	16.33	30.16	0.52	-13.31
保護者による負担	88.76	45	84.78	93.88	3.98	-5.12
個人貯金	2.25	47	1.93	5.81	0.32	-3.56
奨学金(給付型)	11.24	70	4.88	11.48	6.36	-0.24
アルバイト所得	10.11	75	5.26	10.11	4.85	--

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中・A大学の「百分位数」がPkの場合・A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に・P99は当大学の値が99%の大学より高い・即ち・その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い・即ち・その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ (両側検定) の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；
「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図2-6】学費の主な財源とP25、P75との比較(%)

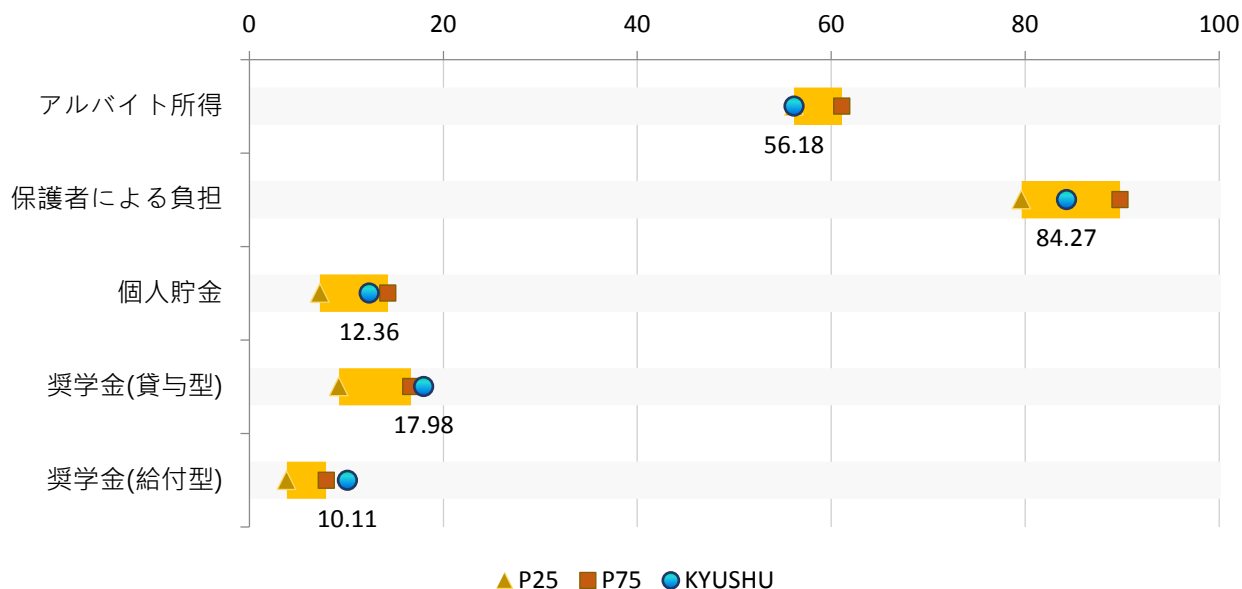
(七) 【Q7】学習と生活費の主な財源

項目	KYUSHU		P25 (%)	P75 (%)	P25との差 (%)	P75との差 (%)
	平均(%)	百分位数				
アルバイト所得	56.18	25	56.18	61.11	--	-4.93
保護者による負担	84.27	55	79.63	89.80	4.64	-5.53
個人貯金	12.36	55	7.28	14.29	5.08	-1.93
奨学金(貸与型)	17.98	80	9.23	16.67	8.75	1.31
奨学金(給付型)	10.11	90	3.85	7.94	6.26	2.17

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中・A大学の「百分位数」がPkの場合・A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に・P99は当大学の値が99%の大学より高い・即ち・その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い・即ち・その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間p=0.05 (両側検定) の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；
「**」は兩組のデータが信頼区間p=0.01の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図2-7】学習と生活費の主な財源とP25、P75との比較(%)

三、大学の設備

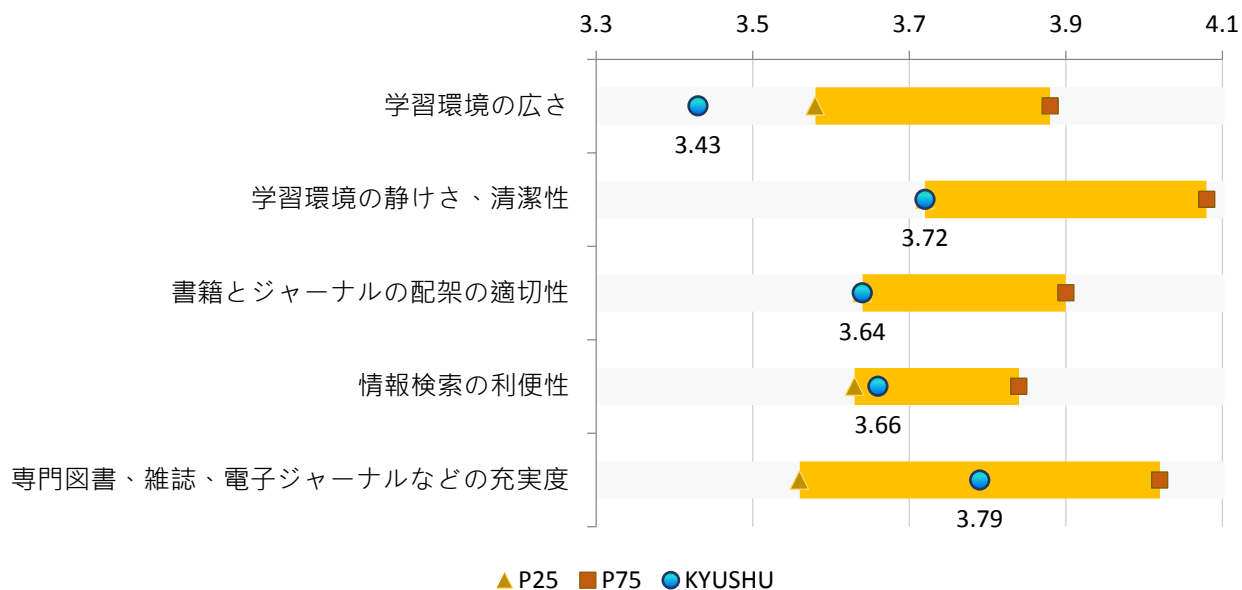
(一) 【Q8】「図書館の設備」への満足度

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
学習環境の広さ	3.43	10	3.58	3.88	-0.15	-0.45
学習環境の静けさ、清潔性	3.72	25	3.72	4.08	--	-0.36
書籍とジャーナルの配架の適切性	3.64	25	3.64	3.90	--	-0.26
情報検索の利便性	3.66	30	3.63	3.84	0.03	-0.18
専門図書、雑誌、電子ジャーナルなどの充実度	3.79	45	3.56	4.02	0.23	-0.23

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中・A大学の「百分位数」がPkの場合・A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に・P99は当大学の値が99%の大学より高い・即ち・その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い・即ち・その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図3-1】学生の「図書館の設備」への満足度とP25、P75との比較

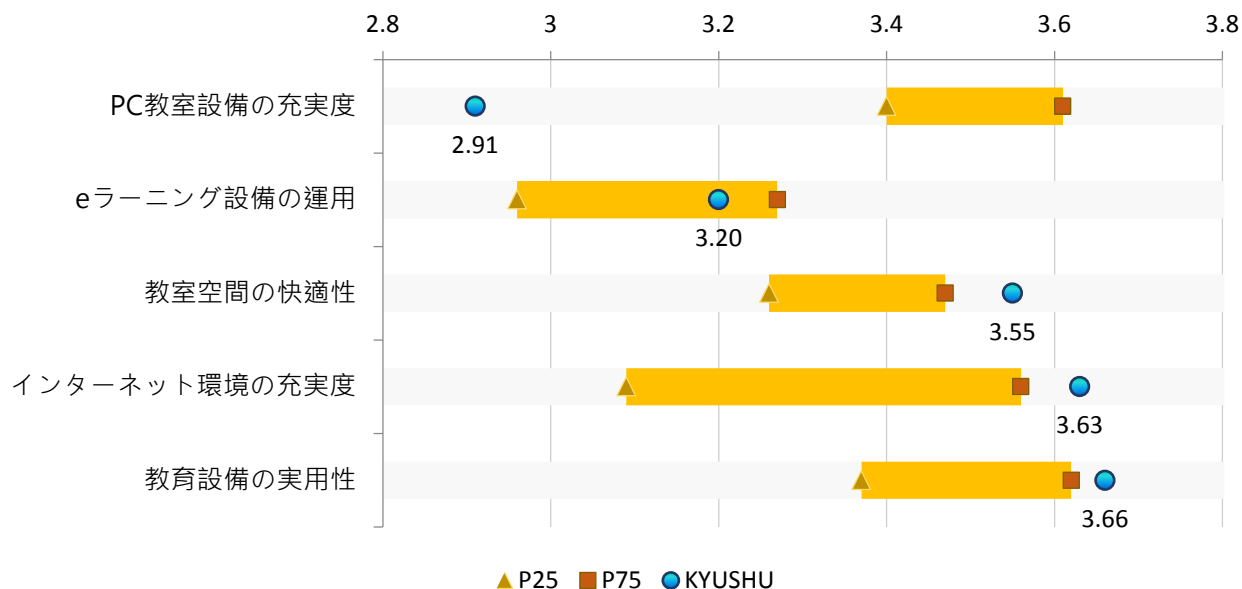
(二) 【Q9】「教育設備」への満足度

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
PC教室設備の充実度	2.91	1	3.40	3.61	-0.49 **	-0.70 **
eラーニング設備の運用	3.20	55	2.96	3.27	0.24	-0.07
教室空間の快適性	3.55	80	3.26	3.47	0.29	0.08
インターネット環境の充実度	3.63	80	3.09	3.56	0.54 **	0.07
教育設備の実用性	3.66	90	3.37	3.62	0.29	0.04

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が50%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間p=0.05（両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間p=0.01の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図3-2】学生の「教育設備」への満足度とP25、P75との比較

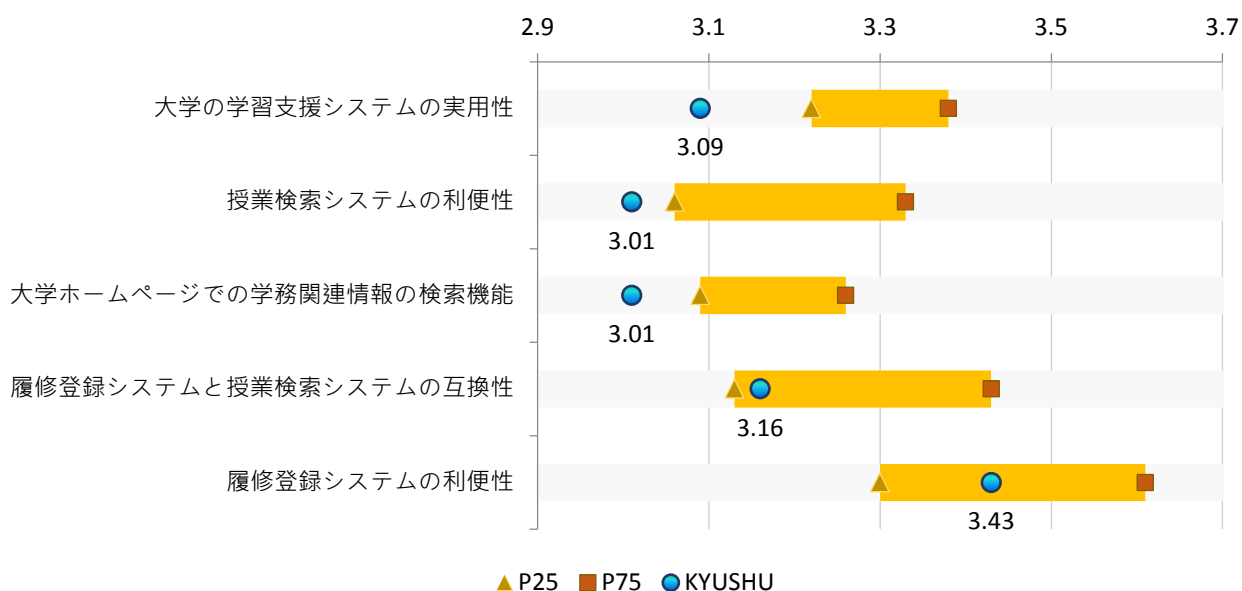
(三) 【Q10】「大学情報システム」への満足度

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
大学の学習支援システムの実用性	3.09	5	3.22	3.38	-0.13	-0.29 *
授業検索システムの利便性	3.01	15	3.06	3.33	-0.05	-0.32
大学ホームページでの学務関連情報の検索機能	3.01	20	3.09	3.26	-0.08	-0.25
履修登録システムと授業検索システムの互換性	3.16	35	3.13	3.43	0.03	-0.27
履修登録システムの利便性	3.43	55	3.30	3.61	0.13	-0.18

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図3-3】学生の「大学情報システム」への満足度とP25、P75との比較

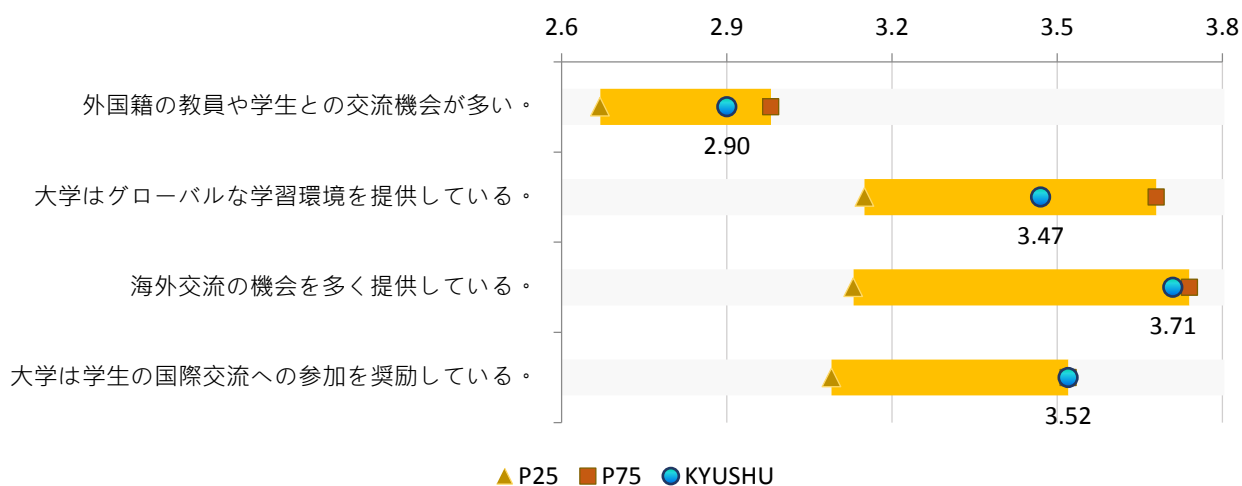
(四) 【Q11】「キャンパス国際化」への意識

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
外国籍の教員や学生との交流機会が多い。	2.90	50	2.67	2.98	0.23	-0.08
大学はグローバルな学習環境を提供している。	3.47	60	3.15	3.68	0.32	-0.21
海外交流の機会を多く提供している。	3.71	70	3.13	3.74	0.58 *	-0.03
大学は学生の国際交流への参加を奨励している。	3.52	75	3.09	3.52	0.43	--

注1： 項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2： アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が50%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3： 「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図3-4】学生の「キャンパス国際化」への意識とP25、P75との比較

四、教育成果

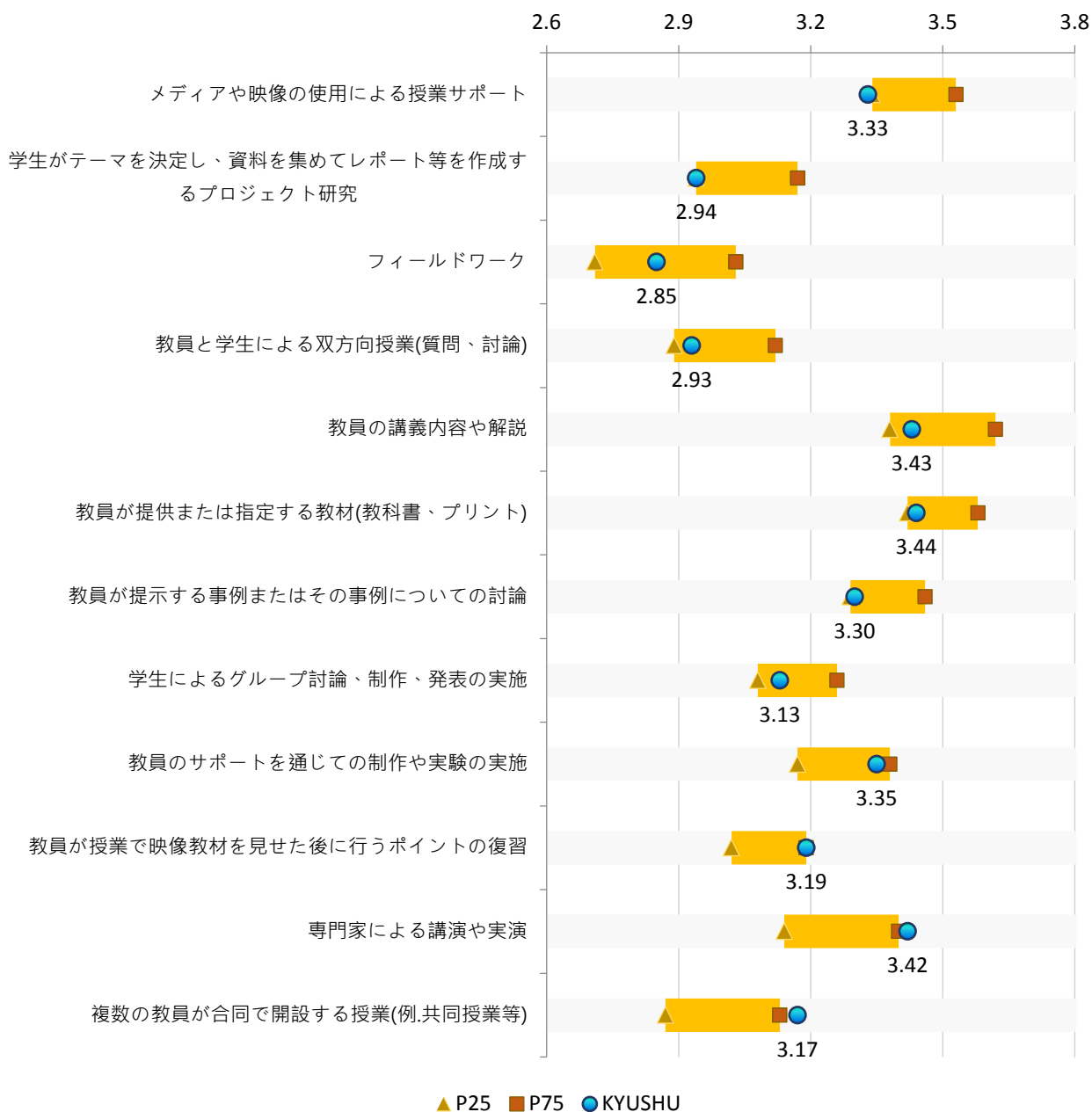
(一) 【Q12】「授業方法」への意識

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
メディアや映像の使用による授業サポート	3.33	20	3.34	3.53	-0.01	-0.20
学生がテーマを決定し、資料を集めてレポート等を作成するプロジェクト研究	2.94	25	2.94	3.17	--	-0.23
フィールドワーク	2.85	30	2.71	3.03	0.14	-0.18
教員と学生による双方向授業(質問、討論)	2.93	35	2.89	3.12	0.04	-0.19
教員の講義内容や解説	3.43	35	3.38	3.62	0.05	-0.19
教員が提供または指定する教材(教科書、プリント)	3.44	35	3.42	3.58	0.02	-0.14
教員が提示する事例またはその事例についての討論	3.30	40	3.29	3.46	0.01	-0.16
学生によるグループ討論、制作、発表の実施	3.13	50	3.08	3.26	0.05	-0.13
教員のサポートを通じての制作や実験の実施	3.35	60	3.17	3.38	0.18	-0.03
教員が授業で映像教材を見せた後に行うポイントの復習	3.19	75	3.02	3.19	0.17	--
専門家による講演や実演	3.42	85	3.14	3.40	0.28	0.02
複数の教員が合同で開設する授業(例.共同授業等)	3.17	95	2.87	3.13	0.30	0.04

注1： 項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2： アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3： 「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図4-1】学生の「授業方法」への意識とP25、P75との比較

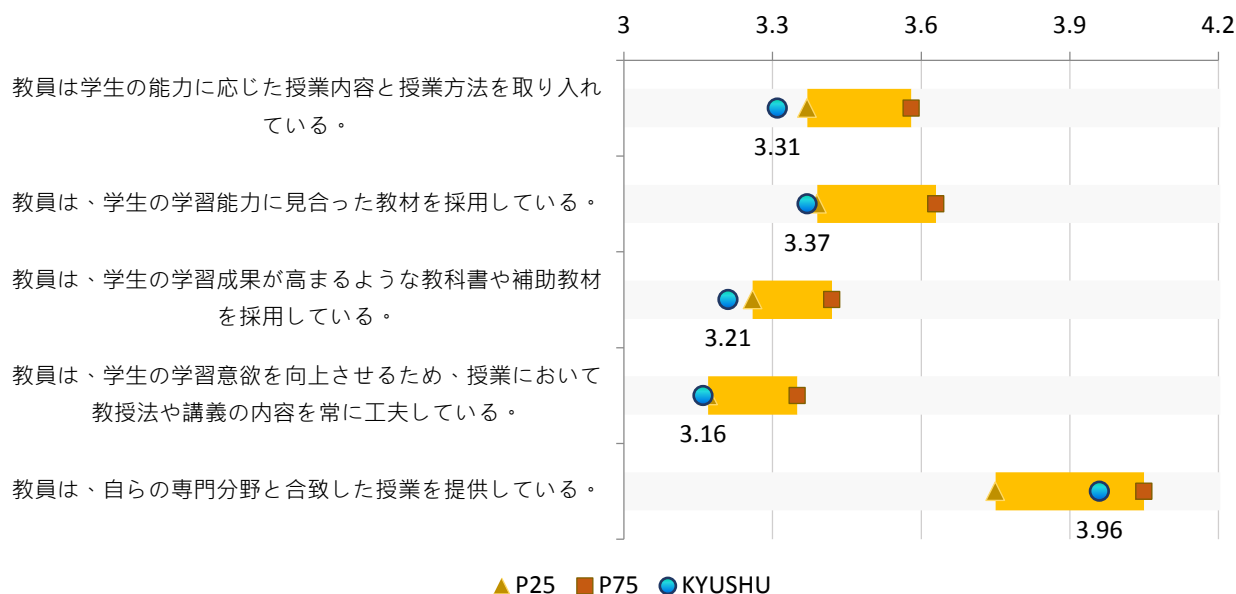
(二) 【Q13】「授業内容」への意識

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
教員は学生の能力に応じた授業内容と授業方法を取り入れている。	3.31	15	3.37	3.58	-0.06	-0.27
教員は、学生の学習能力に見合った教材を採用している。	3.37	20	3.39	3.63	-0.02	-0.26
教員は、学生の学習成果が高まるような教科書や補助教材を採用している。	3.21	20	3.26	3.42	-0.05	-0.21
教員は、学生の学習意欲を向上させるため、授業において教授法や講義の内容を常に工夫している。	3.16	20	3.17	3.35	-0.01	-0.19
教員は、自らの専門分野と合致した授業を提供している。	3.96	50	3.75	4.05	0.21	-0.09

注1： 項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2： アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3： 「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図4-2】学生の「授業内容」への意識とP25、P75との比較

五、学習状況

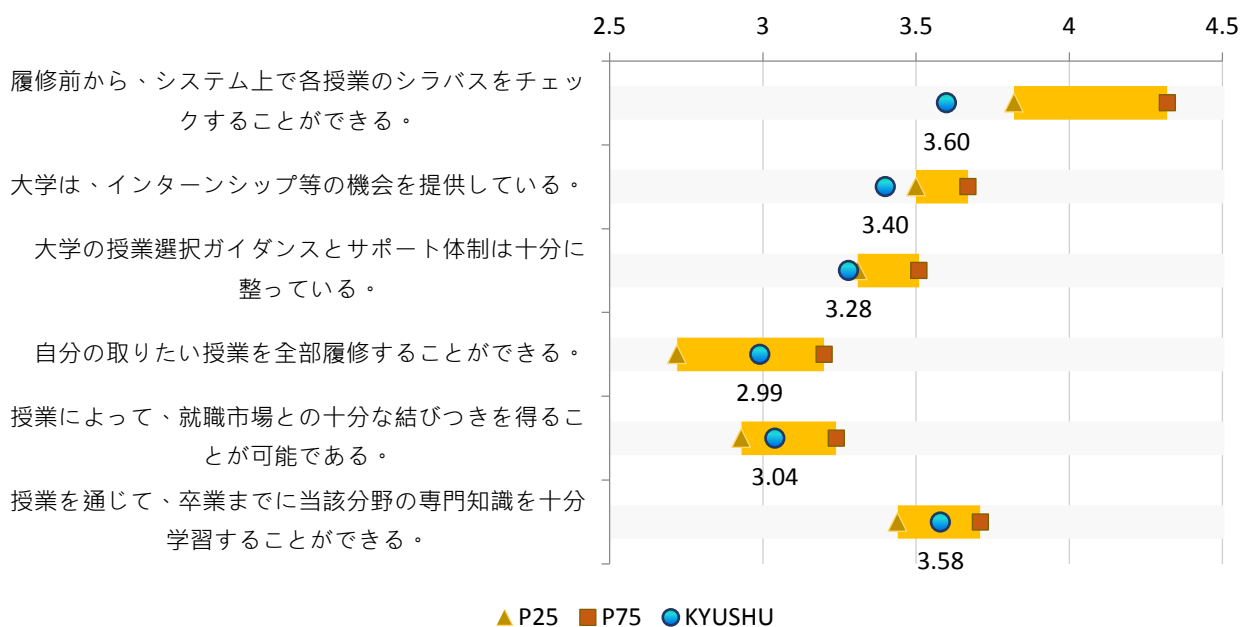
(一) 【Q14】「履修する授業」への意識

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
履修前から、システム上で各授業のシラバスをチェックすることができる。	3.60	5	3.82	4.32	-0.22	-0.72 **
大学は、インターンシップ等の機会を提供している。	3.40	10	3.50	3.67	-0.10	-0.27
大学の授業選択ガイダンスとサポート体制は十分に整っている。	3.28	15	3.31	3.51	-0.03	-0.23
自分の取りたい授業を全部履修することができる。	2.99	45	2.72	3.20	0.27	-0.21
授業によって、就職市場との十分な結びつきを得ることが可能である。	3.04	50	2.93	3.24	0.11	-0.20
授業を通じて、卒業までに当該分野の専門知識を十分学習することができる。	3.58	55	3.44	3.71	0.14	-0.13

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図5-1】学生の「履修する授業」への意識とP25、P75との比較

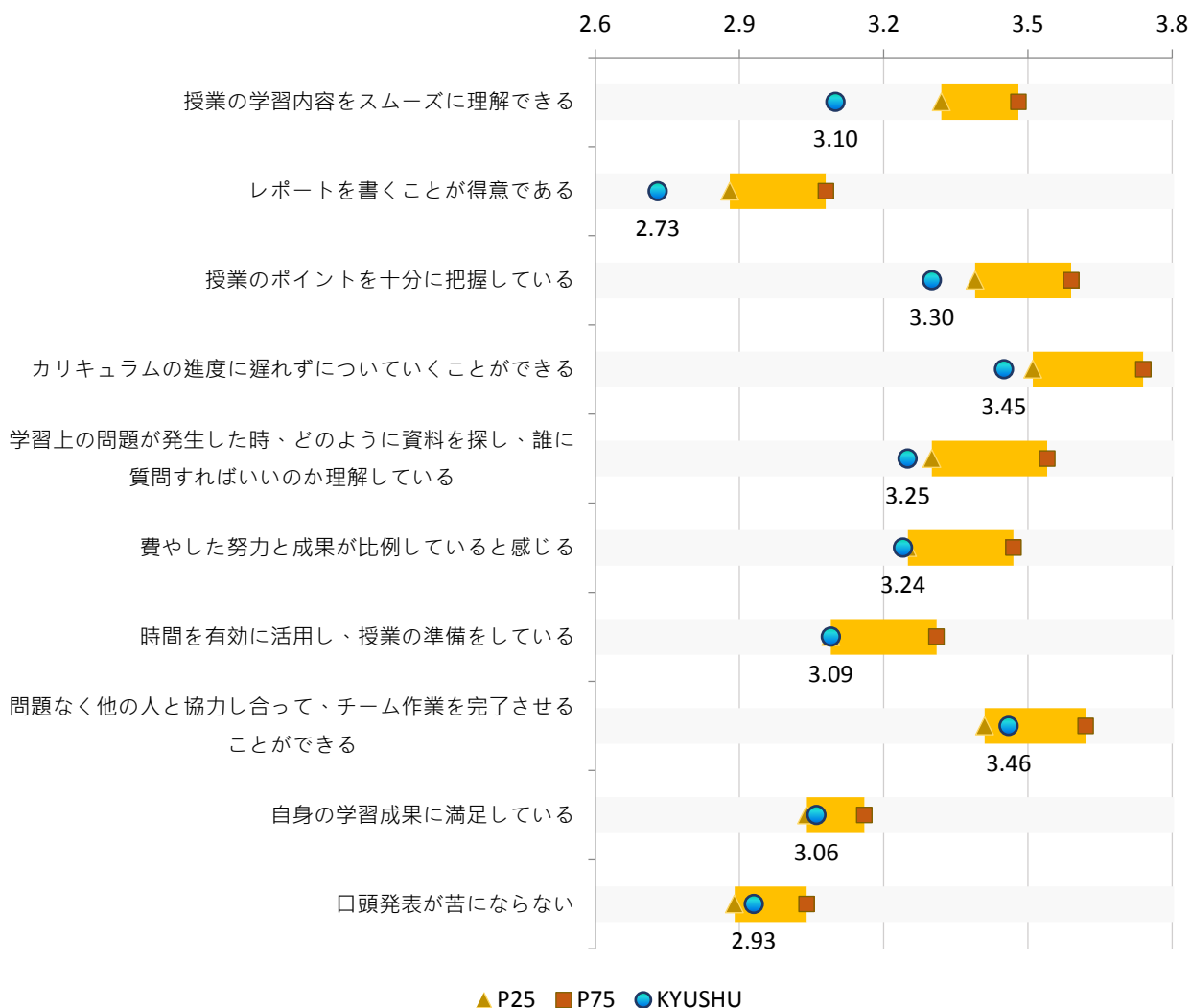
(二) 【Q15】「学習」への意識

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
授業の学習内容をスムーズに理解できる	3.10	1	3.32	3.48	-0.22	-0.38
レポートを書くことが得意である	2.73	1	2.88	3.08	-0.15	-0.35
授業のポイントを十分に把握している	3.30	5	3.39	3.59	-0.09	-0.29
カリキュラムの進度に遅れずについていくことができる	3.45	5	3.51	3.74	-0.06	-0.29
学習上の問題が発生した時、どのように資料を探し、誰に質問すればいいのか理解している	3.25	10	3.30	3.54	-0.05	-0.29
費やした努力と成果が比例していると感じる	3.24	10	3.25	3.47	-0.01	-0.23
時間を有効に活用し、授業の準備をしている	3.09	25	3.09	3.31	--	-0.22
問題なく他の人と協力し合って、チーム作業を完了させることができる	3.46	35	3.41	3.62	0.05	-0.16
自身の学習成果に満足している	3.06	35	3.04	3.16	0.02	-0.10
口頭発表が苦にならない	2.93	45	2.89	3.04	0.04	-0.11

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図5-2】学生の「学習」への意識とP25、P75との比較

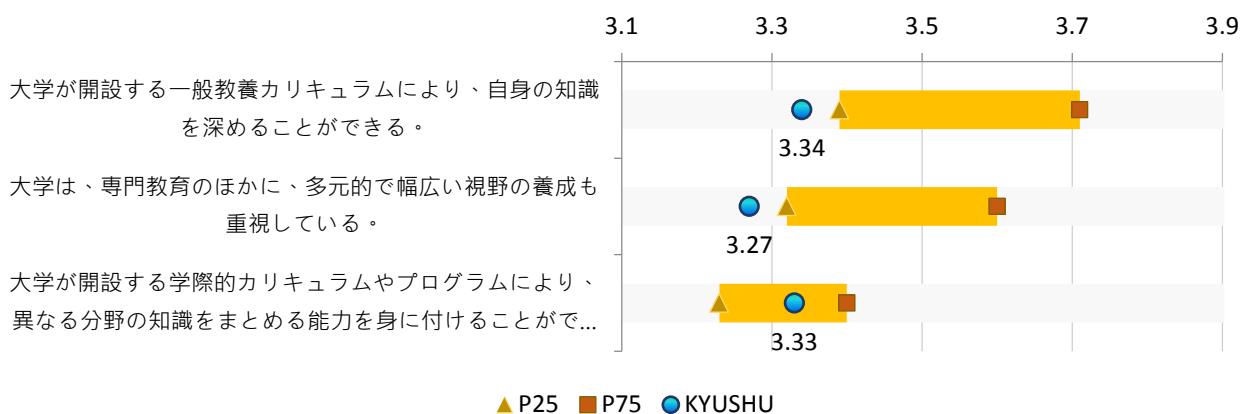
(三) 【Q16】「広範な教育」への意識

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
大学が開設する一般教養カリキュラムにより、自身の知識を深めることができる。	3.34	10	3.39	3.71	-0.05	-0.37
大学は、専門教育のほかに、多角的で幅広い視野の養成も重視している。	3.27	15	3.32	3.60	-0.05	-0.33 *
大学が開設する学際的カリキュラムやプログラムにより、異なる分野の知識をまとめる能力を身に付けることができる。	3.33	40	3.23	3.40	0.10	-0.07

注1： 項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2： アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3： 「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図5-3】学生の「広範な教育」への意識とP25、P75との比較

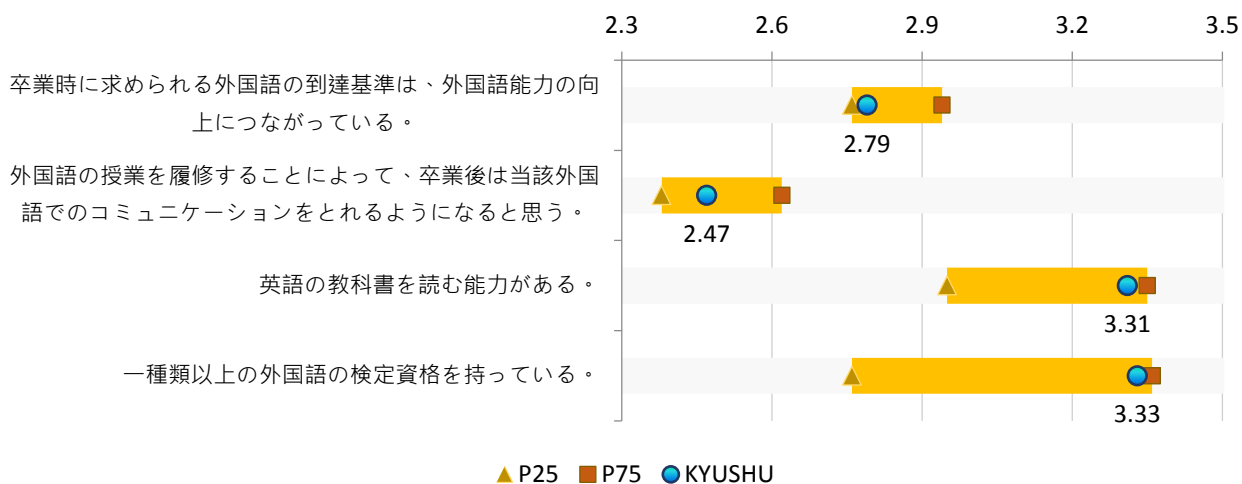
(四) 【Q17】「外国語能力」への意識

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
卒業時に求められる外国語の到達基準は、外国語能力の向上につながっている。	2.79	35	2.76	2.94	0.03	-0.15
外国語の授業を履修することによって、卒業後は当該外国語でのコミュニケーションをとれるようになると思う。	2.47	45	2.38	2.62	0.09	-0.15
英語の教科書を読む能力がある。	3.31	60	2.95	3.35	0.36 *	-0.04
一種類以上の外国語の検定資格を持っている。	3.33	60	2.76	3.36	0.57	-0.03

注1： 項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2： アンケートに協力してくれた21大学の中・A大学の「百分位数」がPkの場合・A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に・P99は当大学の値が99%の大学より高い・即ち・その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い・即ち・その他の10大学より高いと意味する。

注3： 「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ (両側検定) の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図5-4】学生の「外国語能力」への意識とP25、P75との比較

六、キャンパスライフ支援

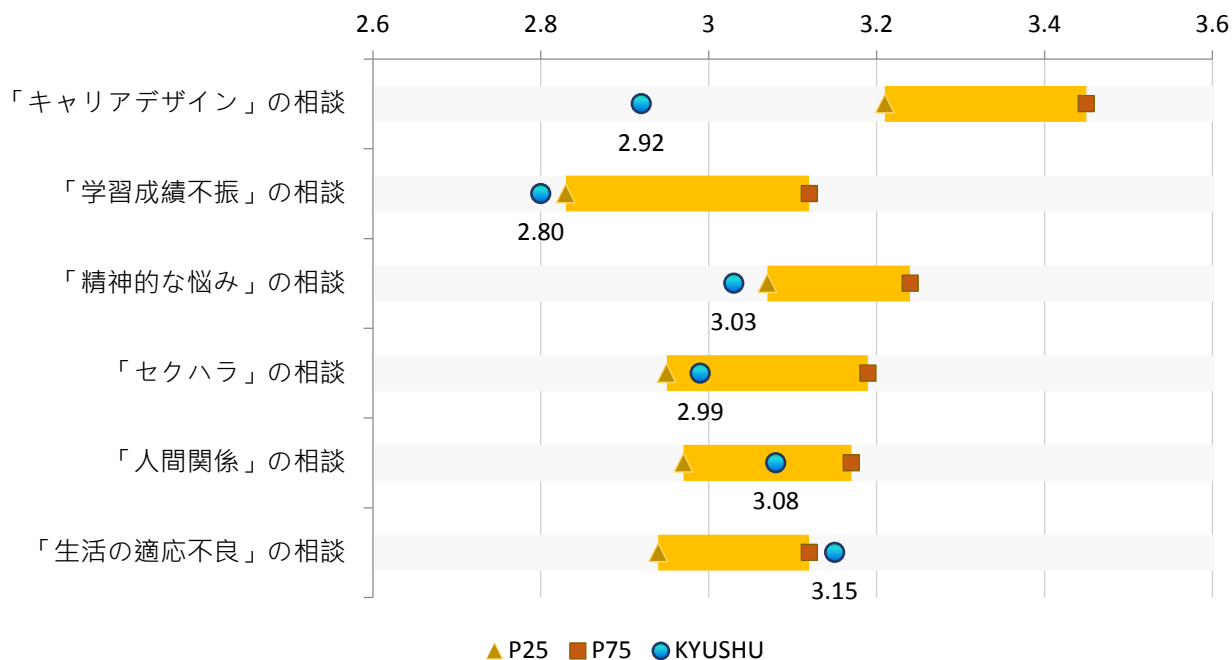
(一) 【Q18】「相談支援」への理解

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
「キャリアデザイン」の相談	2.92	1	3.21	3.45	-0.29	-0.53
「学習成績不振」の相談	2.80	20	2.83	3.12	-0.03	-0.32 *
「精神的な悩み」の相談	3.03	20	3.07	3.24	-0.04	-0.21
「セクハラ」の相談	2.99	30	2.95	3.19	0.04	-0.20
「人間関係」の相談	3.08	50	2.97	3.17	0.11	-0.09
「生活の適応不良」の相談	3.15	85	2.94	3.12	0.21	0.03

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間p=0.05（両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；
「**」は兩組のデータが信頼区間p=0.01の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図6-1】学生の「相談支援」への理解とP25、P75との比較

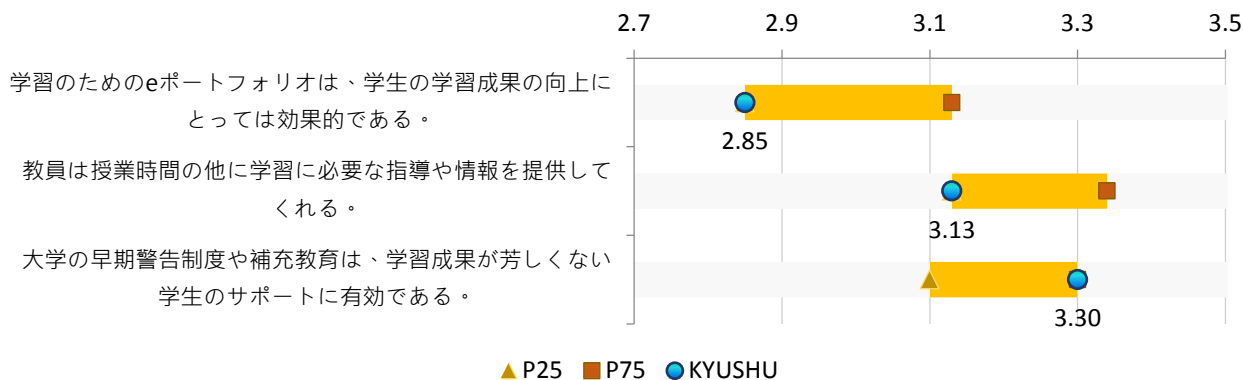
(二) 【Q19】「教育支援」への意識

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
学習のためのeポートフォリオは、学生の学習成果の向上にとっては効果的である。	2.85	25	2.85	3.13	--	-0.28
教員は授業時間の他に学習に必要な指導や情報を提供してくれる。	3.13	25	3.13	3.34	--	-0.21
大学の早期警告制度や補充教育は、学習成果が芳しくない学生のサポートに有効である。	3.30	75	3.10	3.30	0.20	--

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図6-2】学生の「教育支援」への意識とP25、P75との比較

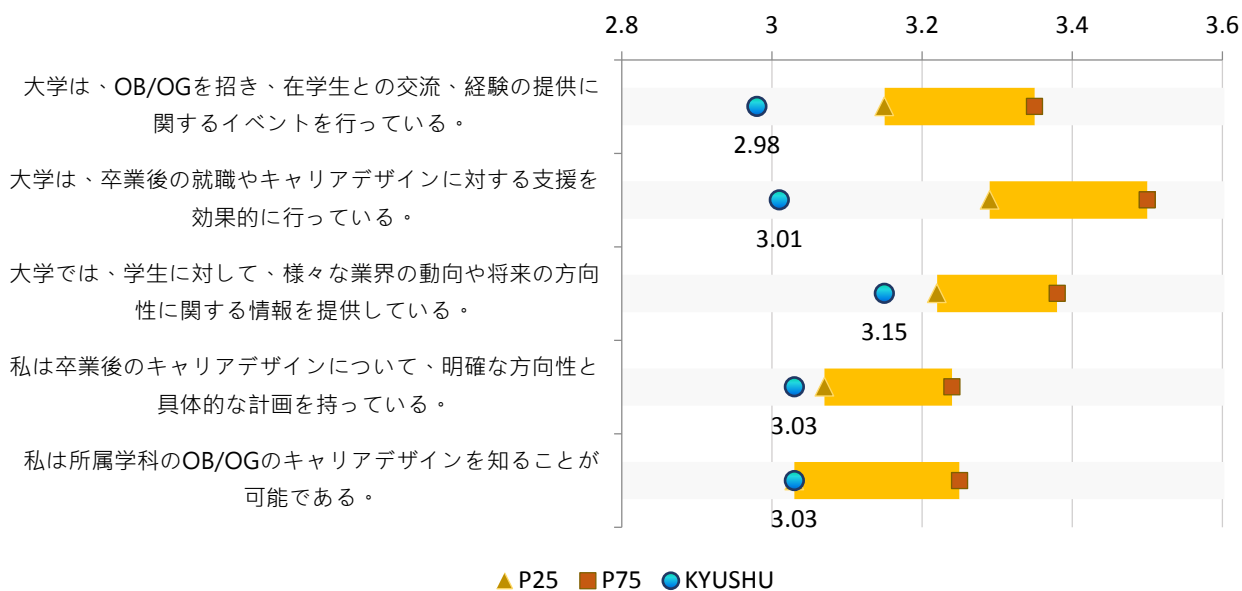
(三) 【Q20】「就職支援」への意識

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
大学は、OB/OGを招き、在学生との交流、経験の提供に関するイベントを行っている。	2.98	1	3.15	3.35	-0.17	-0.37
大学は、卒業後の就職やキャリアデザインに対する支援を効果的に行っている。	3.01	5	3.29	3.50	-0.28	-0.49 *
大学では、学生に対して、様々な業界の動向や将来の方向性に関する情報を提供している。	3.15	20	3.22	3.38	-0.07	-0.23
私は卒業後のキャリアデザインについて、明確な方向性と具体的な計画を持っている。	3.03	20	3.07	3.24	-0.04	-0.21
私は所属学科のOB/OGのキャリアデザインを知ることが可能である。	3.03	25	3.03	3.25	--	-0.22

注1： 項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2： アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3： 「*」は兩組のデータが信頼区間p=0.05（両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間p=0.01の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図6-3】学生の「就職支援」への意識とP25、P75との比較

七、自己評価

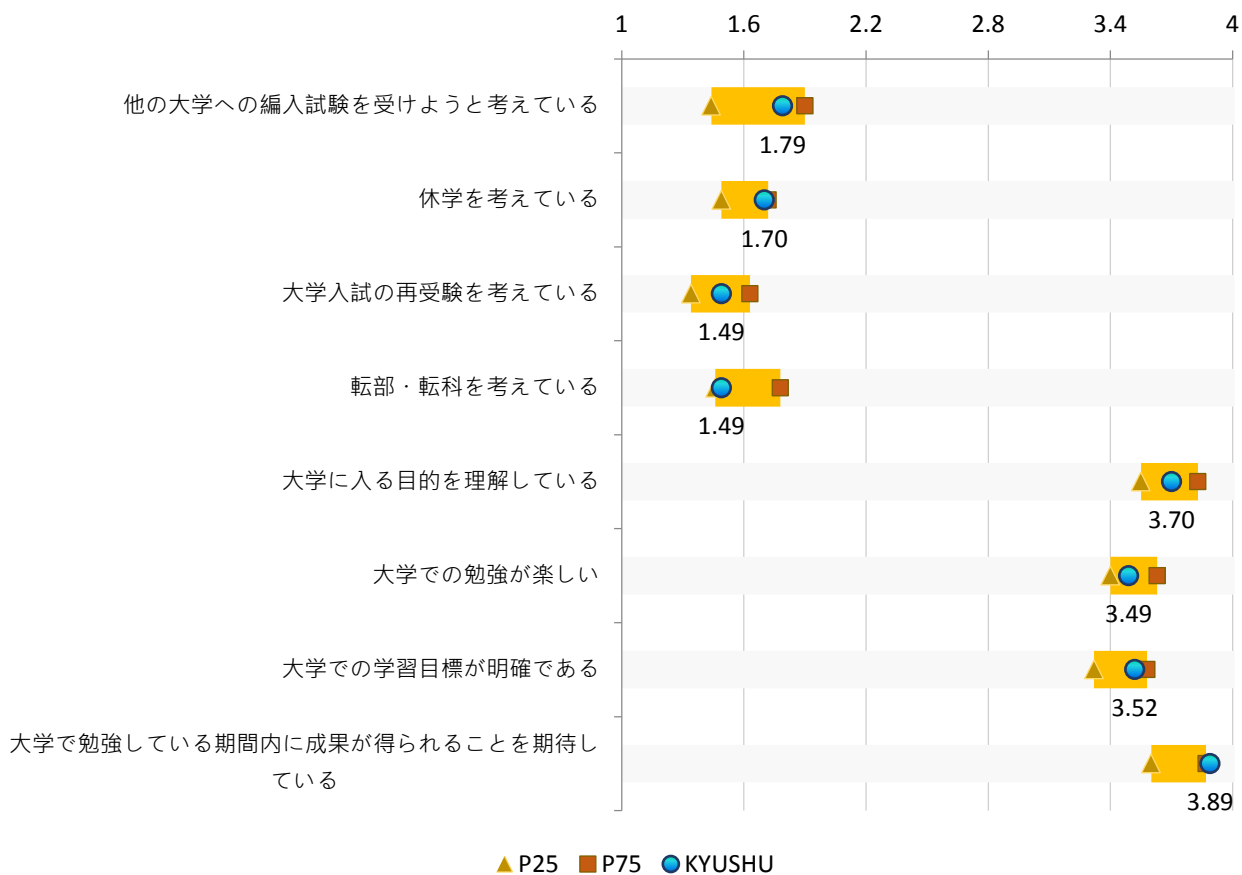
(一) 【Q21】「自身の現状」への評価

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
他の大学への編入試験を受けよう と考えている	1.79	70	1.44	1.90	0.35	-0.11
休学を考えている	1.70	65	1.49	1.72	0.21	-0.02
大学入試の再受験を考えている	1.49	55	1.34	1.63	0.15	-0.14
転部・転科を考えている	1.49	35	1.46	1.78	0.03	-0.29
大学に入る目的を理解している	3.70	40	3.55	3.83	0.15	-0.13
大学での勉強が楽しい	3.49	50	3.40	3.63	0.09	-0.14
大学での学習目標が明確である	3.52	50	3.32	3.58	0.20	-0.06
大学で勉強している期間内に成果 が得られることを期待している	3.89	80	3.60	3.87	0.29	0.02

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中・A大学の「百分位数」がPkの場合・A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に・P99は当大学の値が99%の大学より高い・即ち・その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い・即ち・その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；
「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図7-1】学生の「自身の現状」への評価とP25、P75との比較

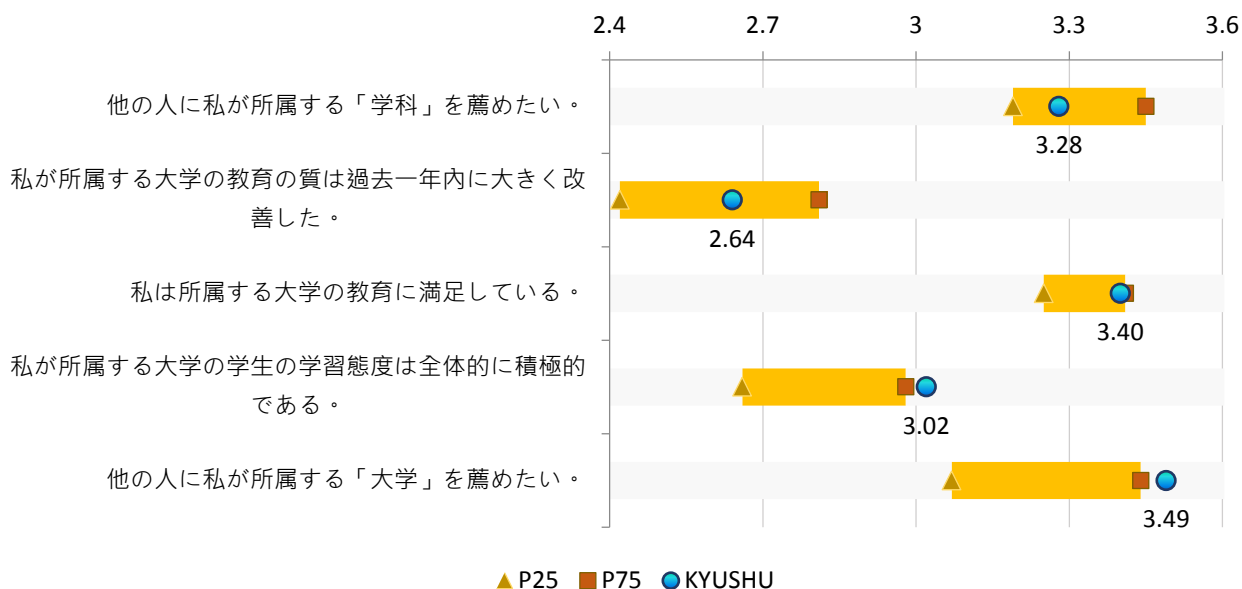
(二) 【Q22】「全体状況」への意識

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
他の人に私が所属する「学科」を薦めたい。	3.28	45	3.19	3.45	0.09	-0.17
私が所属する大学の教育の質は過去一年内に大きく改善した。	2.64	45	2.42	2.81	0.22	-0.17
私は所属する大学の教育に満足している。	3.40	65	3.25	3.41	0.15	-0.01
私が所属する大学の学生の学習態度は全体的に積極的である。	3.02	80	2.66	2.98	0.36	0.04
他の人に私が所属する「大学」を薦めたい。	3.49	80	3.07	3.44	0.42	0.05

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図7-2】学生の「全体状況」への意識とP25、P75との比較(%)

八、クロス分析

(一) 【Q2*Q22】異なる身分別学生の「全体状況」への意識

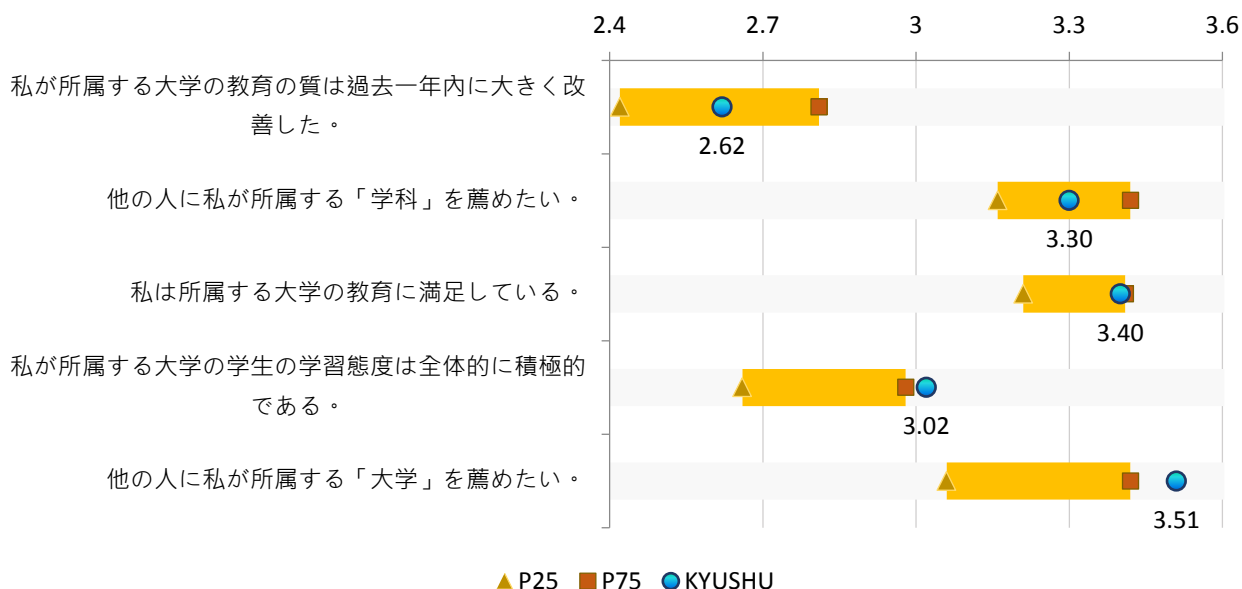
1. 本国籍学生の「全体状況」への意識

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
私が所属する大学の教育の質は過去一年内に大きく改善した。	2.62	50	2.42	2.81	0.20	-0.19
他の人に私が所属する「学科」を薦めたい。	3.30	60	3.16	3.42	0.14	-0.12
私は所属する大学の教育に満足している。	3.40	66	3.21	3.41	0.19	-0.01
私が所属する大学の学生の学習態度は全体的に積極的である。	3.02	80	2.66	2.98	0.36	0.04
他の人に私が所属する「大学」を薦めたい。	3.51	80	3.06	3.42	0.45	0.09

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-1-1】本国籍学生の「全体状況」への意識とP25、P75との比較

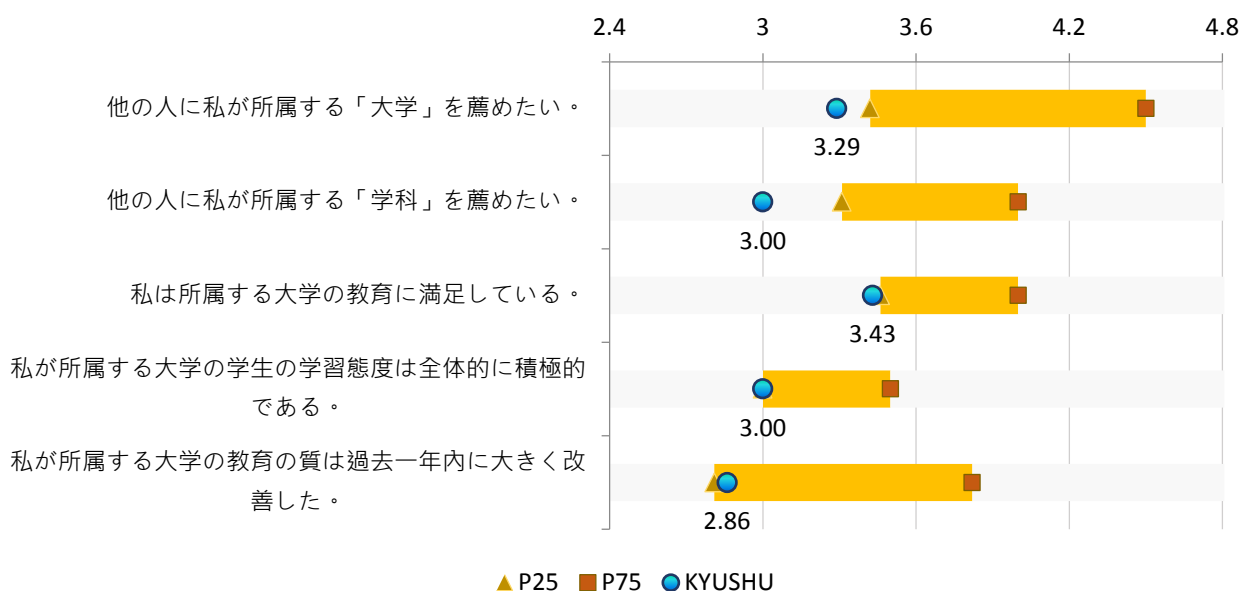
2. 非本国籍学生の「全体状況」への意識

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
他の人に私が所属する「大学」を薦めたい。	3.29	7	3.42	4.50	-0.13	-1.21
他の人に私が所属する「学科」を薦めたい。	3.00	14	3.31	4.00	-0.31	-1.00
私は所属する大学の教育に満足している。	3.43	21	3.46	4.00	-0.03	-0.57
私が所属する大学の学生の学習態度は全体的に積極的である。	3.00	25	3.00	3.50	--	-0.50
私が所属する大学の教育の質は過去一年内に大きく改善した。	2.86	28	2.81	3.82	0.05	-0.96

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-1-2】非本国籍学生の「全体状況」への意識とP25、P75との比較

(二) 【Q3*Q8】異なる分野学生の「図書館の設備」への満足度

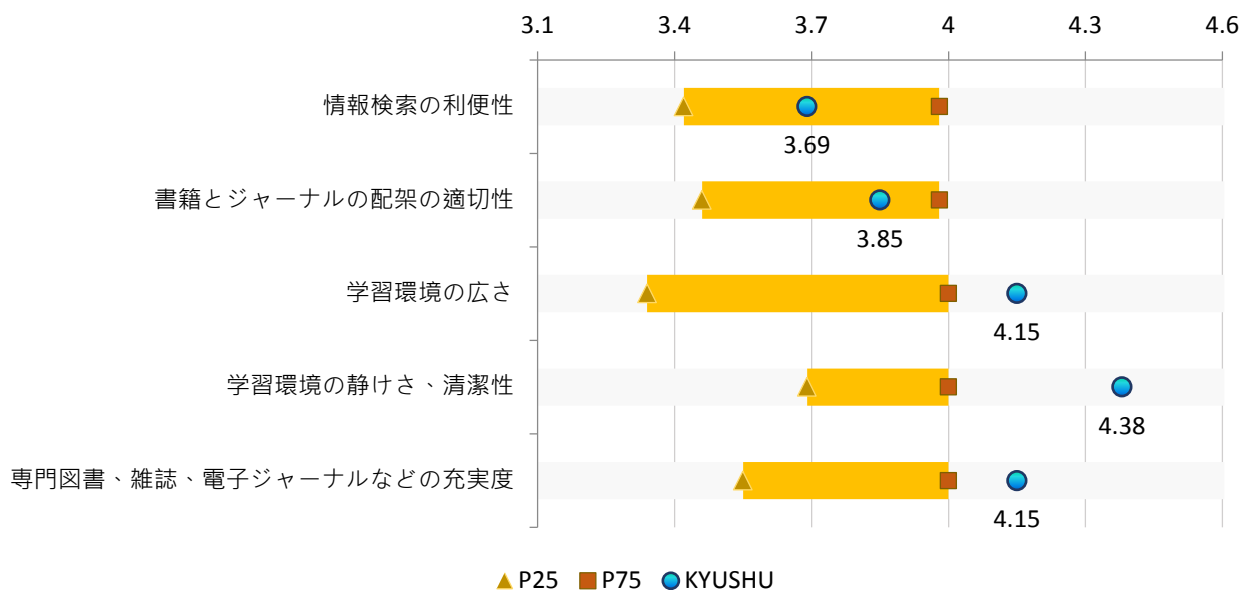
1. 工学、製造、建築分野学生の「図書館の設備」への満足度

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
情報検索の利便性	3.69	53	3.42	3.98	0.27	-0.29
書籍とジャーナルの配架の適切性	3.85	61	3.46	3.98	0.39	-0.13
学習環境の広さ	4.15	92	3.34	4.00	0.81	0.15
学習環境の静けさ、清潔性	4.38	92	3.69	4.00	0.69	0.38
専門図書、雑誌、電子ジャーナルなどの充実度	4.15	99	3.55	4.00	0.60	0.15

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中・A大学の「百分位数」がPkの場合・A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に・P99は当大学の値が99%の大学より高い・即ち・その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い・即ち・その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-2-1】工学、製造、建築分野学生の「図書館の設備」への満足度とP25、P75との比較

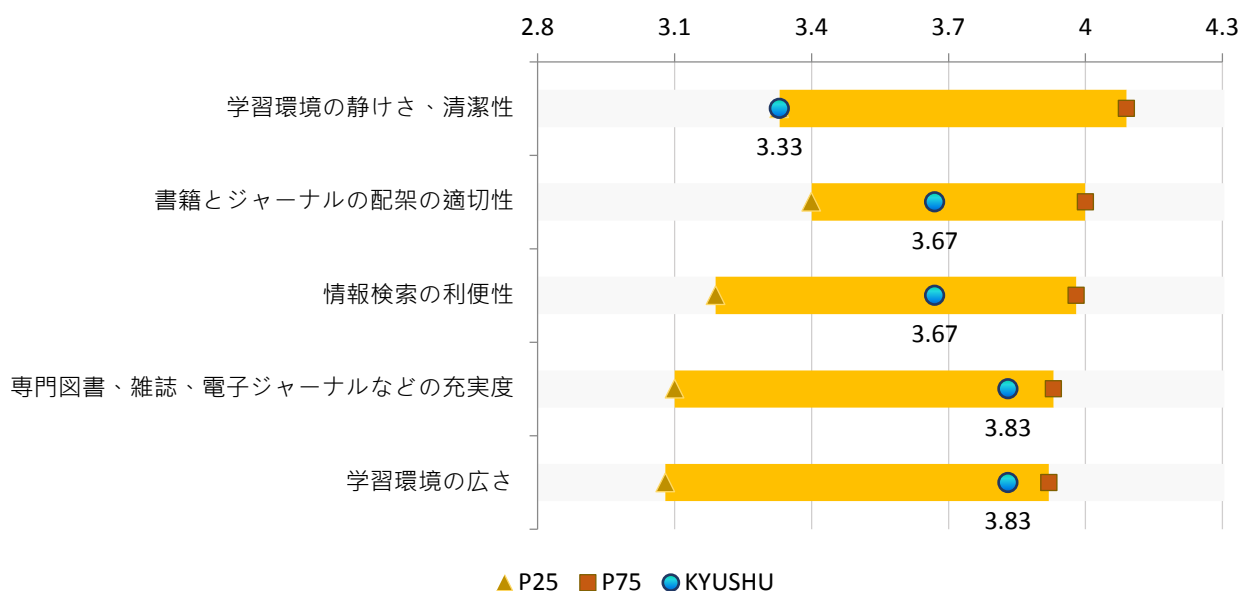
2. 自然科学、数学、統計分野学生の「図書館の設備」への満足度

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
学習環境の静けさ、清潔性	3.33	25	3.33	4.09	--	-0.76
書籍とジャーナルの配架の適切性	3.67	42	3.40	4.00	0.27	-0.33
情報検索の利便性	3.67	50	3.19	3.98	0.48	-0.31
専門図書、雑誌、電子ジャーナルなどの充実度	3.83	64	3.10	3.93	0.73	-0.10
学習環境の広さ	3.83	71	3.08	3.92	0.75	-0.09

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-2-2】自然科学、数学、統計分野学生の「図書館の設備」への満足度とP25、P75との比較

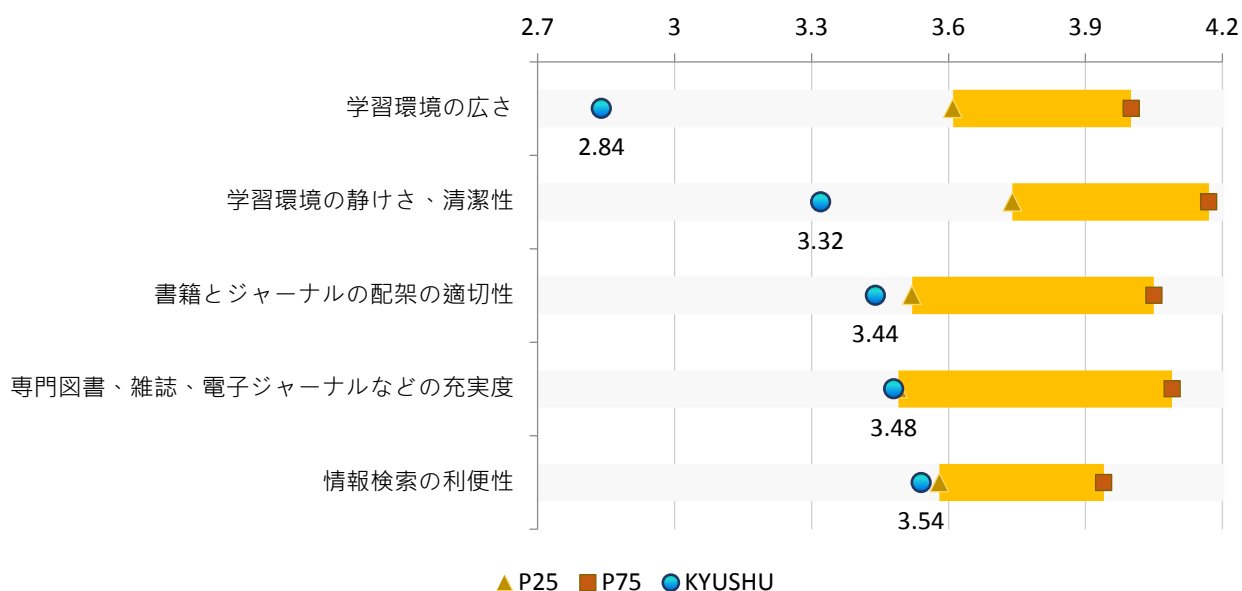
3. 医・薬・衛生看護学や社会福祉分野学生の「図書館の設備」への満足度

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
学習環境の広さ	2.84	7	3.61	4.00	-0.77 *	-1.16 **
学習環境の静けさ、清潔性	3.32	14	3.74	4.17	-0.42	-0.85 **
書籍とジャーナルの配架の適切性	3.44	21	3.52	4.05	-0.08	-0.61
専門図書、雑誌、電子ジャーナルなどの充実度	3.48	21	3.49	4.09	-0.01	-0.61
情報検索の利便性	3.54	21	3.58	3.94	-0.04	-0.40

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-2-3】医・薬・衛生看護学や社会福祉分野学生の「図書館の設備」への満足度とP25、P75との比較

(三) 【Q3*Q9】異なる分野学生の「教育設備」への満足度

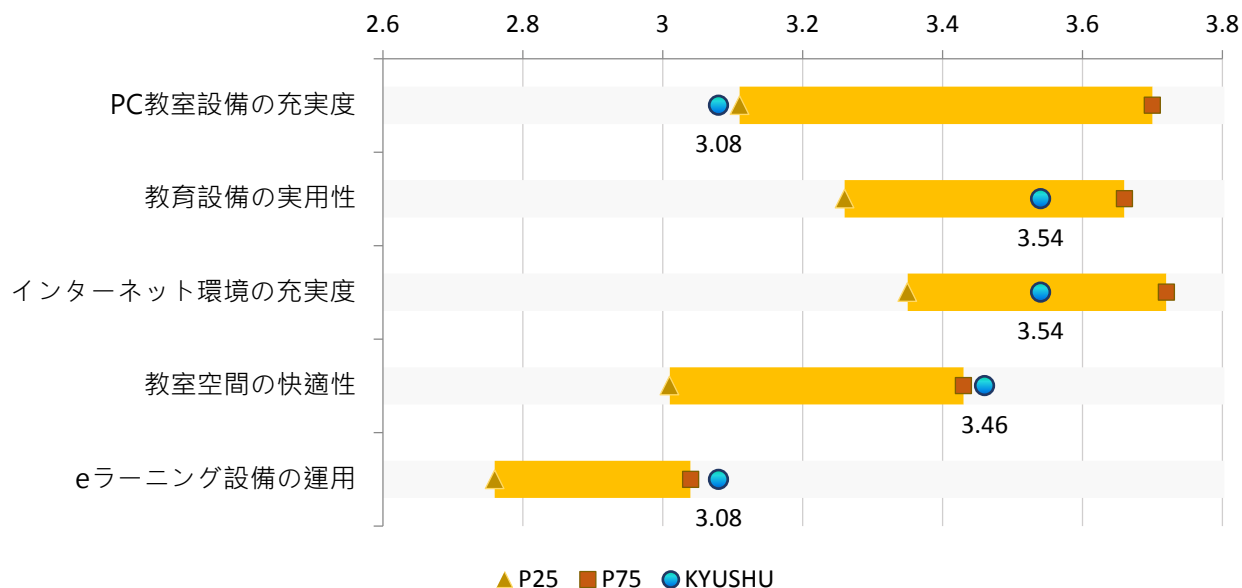
1. 工学、製造、建築分野学生の「教育設備」への満足度

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
PC教室設備の充実度	3.08	23	3.11	3.70	-0.03	-0.62
教育設備の実用性	3.54	38	3.26	3.66	0.28	-0.12
インターネット環境の充実度	3.54	53	3.35	3.72	0.19	-0.18
教室空間の快適性	3.46	76	3.01	3.43	0.45	0.03
eラーニング設備の運用	3.08	84	2.76	3.04	0.32	0.04

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-3-1】工学、製造、建築分野学生の「教育設備」への満足度とP25、P75との比較

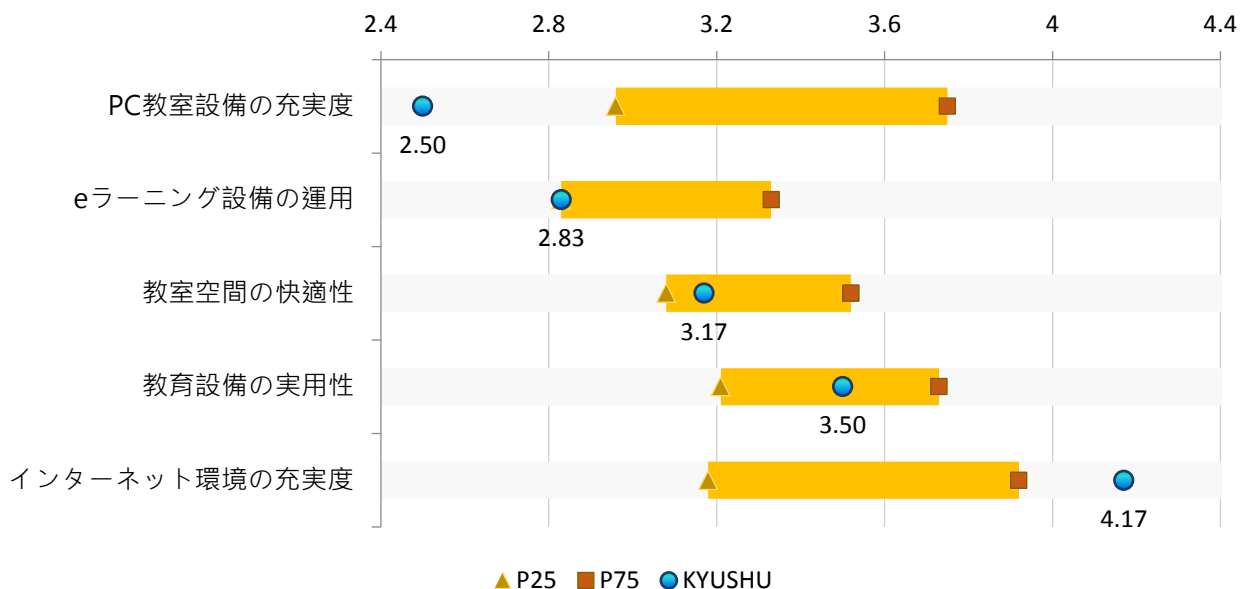
2. 自然科学、数学、統計分野学生の「教育設備」への満足度

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
PC教室設備の充実度	2.50	7	2.96	3.75	-0.46	-1.25
eラーニング設備の運用	2.83	25	2.83	3.33	--	-0.50
教室空間の快適性	3.17	30	3.08	3.52	0.09	-0.35
教育設備の実用性	3.50	41	3.21	3.73	0.29	-0.23
インターネット環境の充実度	4.17	85	3.18	3.92	0.99	0.25

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中・A大学の「百分位数」がPkの場合・A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に・P99は当大学の値が99%の大学より高い・即ち・その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い・即ち・その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-3-2】自然科学、数学、統計分野学生の「教育設備」への満足度とP25、P75との比較

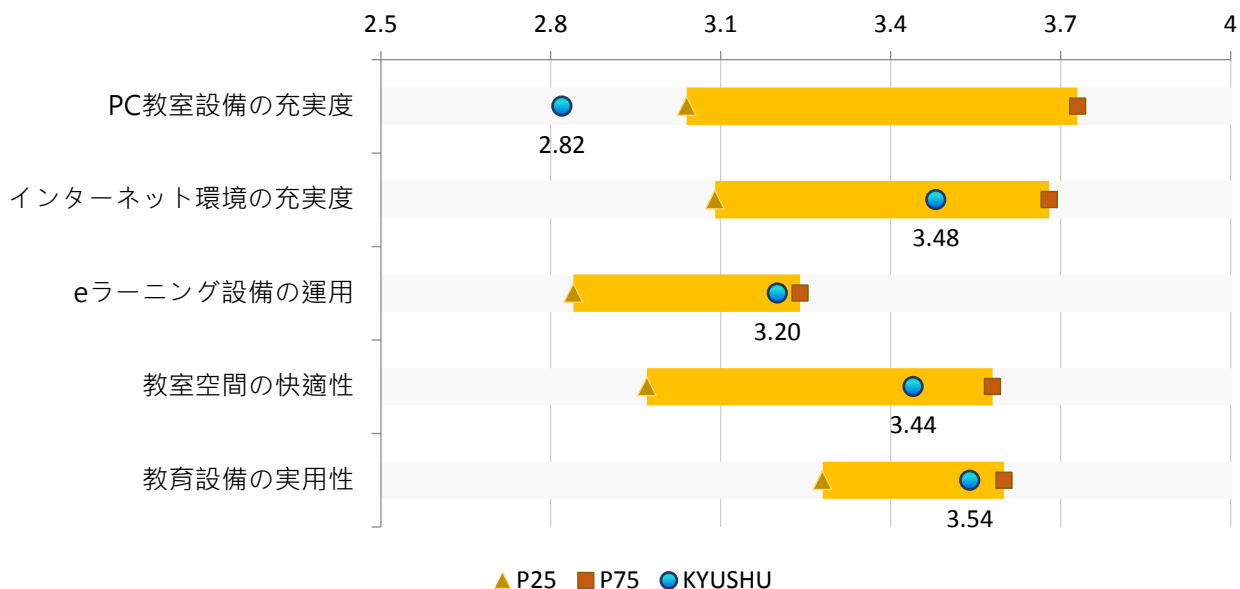
3. 医・薬・衛生看護学や社会福祉分野学生の「教育設備」への満足度

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
PC教室設備の充実度	2.82	7	3.04	3.73	-0.22	-0.91 *
インターネット環境の充実度	3.48	50	3.09	3.68	0.39	-0.20
eラーニング設備の運用	3.20	57	2.84	3.24	0.36	-0.04
教室空間の快適性	3.44	57	2.97	3.58	0.47	-0.14
教育設備の実用性	3.54	64	3.28	3.60	0.26	-0.06

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中・A大学の「百分位数」がPkの場合・A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に・P99は当大学の値が99%の大学より高い・即ち・その他の20大学より高い；P50は当大学の値が50%の大学より高い・即ち・その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-3-3】医・薬・衛生看護学や社会福祉分野学生の「教育設備」への満足度とP25、P75との比較

(四) 【Q3*Q10】異なる分野学生の「大学情報システム」への満足度

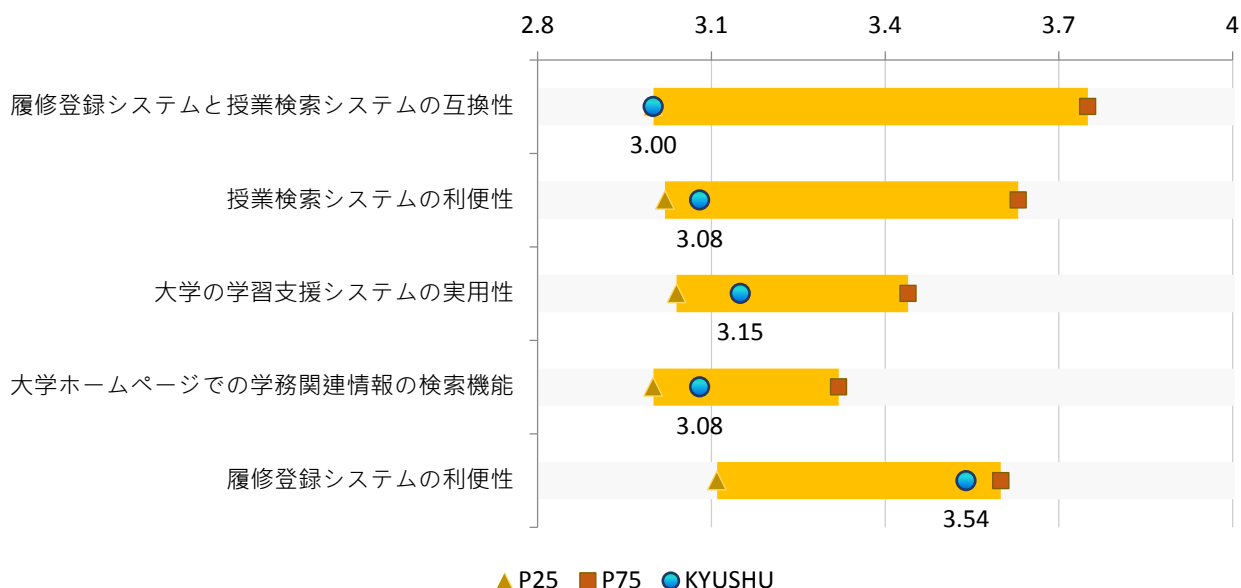
1. 工学、製造、建築分野学生の「大学情報システム」への満足度

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
履修登録システムと授業検索システムの互換性	3.00	25	3.00	3.75	--	-0.75
授業検索システムの利便性	3.08	30	3.02	3.63	0.06	-0.55
大学の学習支援システムの実用性	3.15	30	3.04	3.44	0.11	-0.29
大学ホームページでの学務関連情報の検索機能	3.08	38	3.00	3.32	0.08	-0.24
履修登録システムの利便性	3.54	53	3.11	3.60	0.43	-0.06

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中・A大学の「百分位数」がPkの場合・A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に・P99は当大学の値が99%の大学より高い・即ち・その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い・即ち・その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-4-1】工学、製造、建築分野学生の「大学情報システム」への満足度とP25、P75との比較

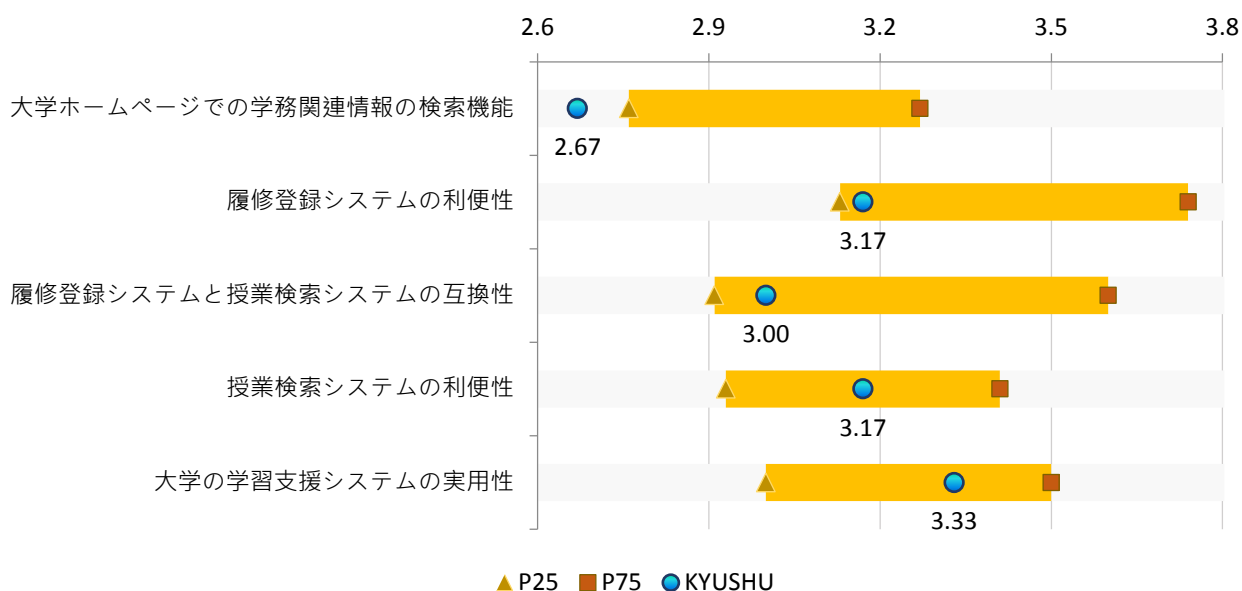
2. 自然科学、数学、統計分野学生の「大学情報システム」への満足度

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
大学ホームページでの学務関連情報の検索機能	2.67	21	2.76	3.27	-0.09	-0.60
履修登録システムの利便性	3.17	28	3.13	3.74	0.04	-0.57
履修登録システムと授業検索システムの互換性	3.00	30	2.91	3.60	0.09	-0.60
授業検索システムの利便性	3.17	38	2.93	3.41	0.24	-0.24
大学の学習支援システムの実用性	3.33	64	3.00	3.50	0.33	-0.17

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-4-2】自然科学、数学、統計分野学生の「大学情報システム」への満足度とP25、P75との比較

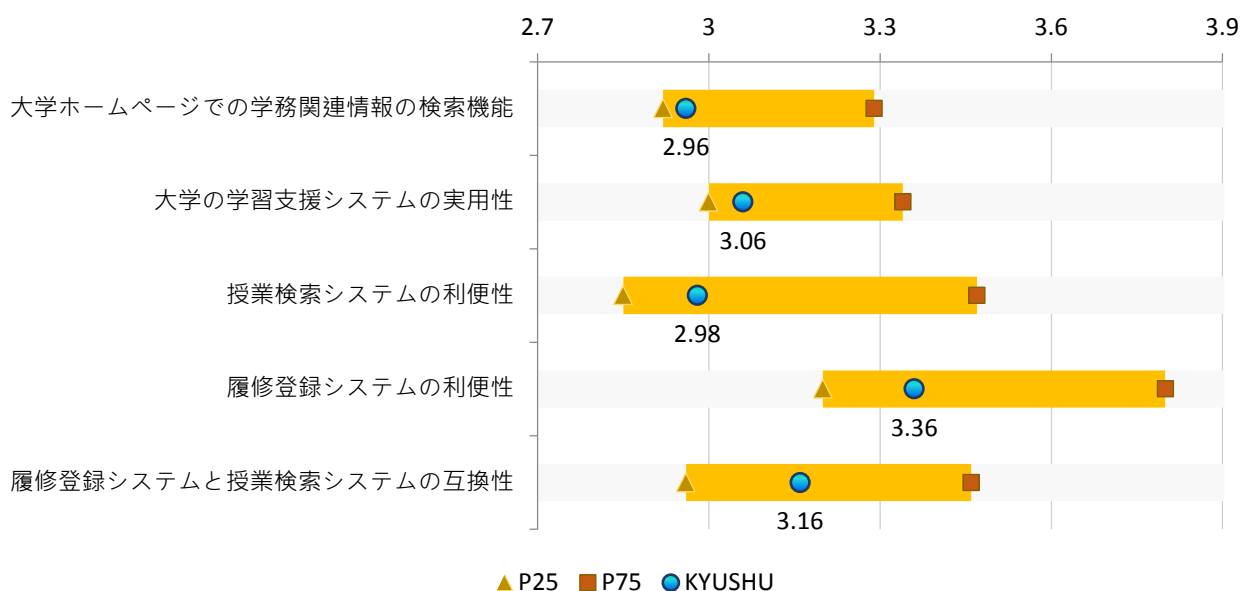
3. 医・薬・衛生看護学や社会福祉分野学生の「大学情報システム」への満足度

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
大学ホームページでの学務関連情報の検索機能	2.96	28	2.92	3.29	0.04	-0.33
大学の学習支援システムの実用性	3.06	35	3.00	3.34	0.06	-0.28
授業検索システムの利便性	2.98	50	2.85	3.47	0.13	-0.49
履修登録システムの利便性	3.36	50	3.20	3.80	0.16	-0.44
履修登録システムと授業検索システムの互換性	3.16	50	2.96	3.46	0.20	-0.30

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-4-3】医・薬・衛生看護学や社会福祉分野学生の「大学情報システム」への満足度とP25、P75との比較

(五) 【Q3*Q11】異なる分野学生の「キャンパス国際化」への意識

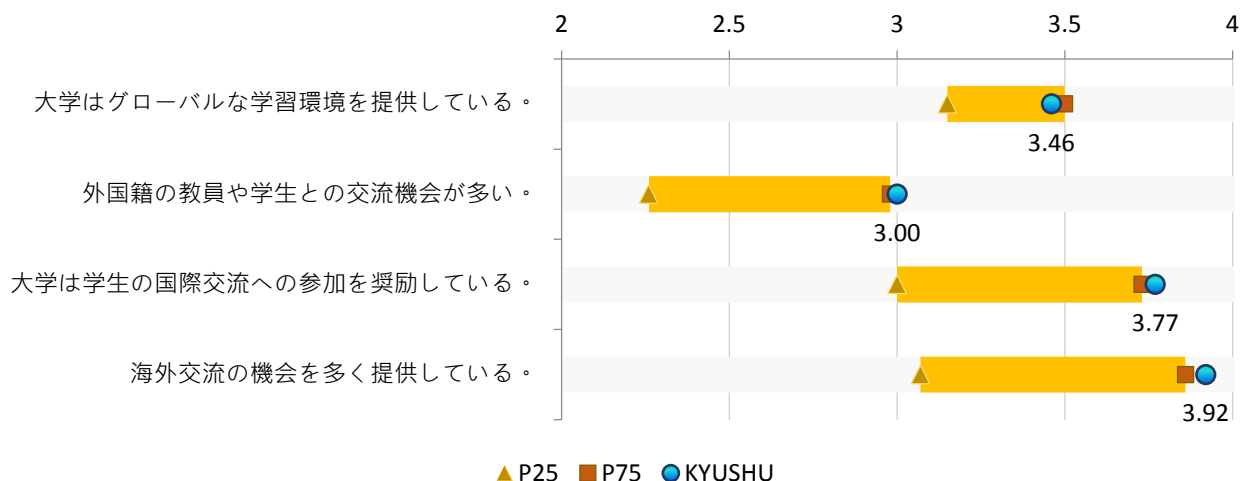
1. 工学、製造、建築分野学生の「キャンパス国際化」への意識

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
大学はグローバルな学習環境を提供している。	3.46	61	3.15	3.50	0.31	-0.04
外国籍の教員や学生との交流機会が多い。	3.00	83	2.26	2.98	0.74	0.02
大学は学生の国際交流への参加を奨励している。	3.77	84	3.00	3.73	0.77	0.04
海外交流の機会を多く提供している。	3.92	84	3.07	3.86	0.85 **	0.06

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間p=0.05（両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間p=0.01の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-5-1】工学、製造、建築分野学生の「キャンパス国際化」への意識とP25、P75との比較

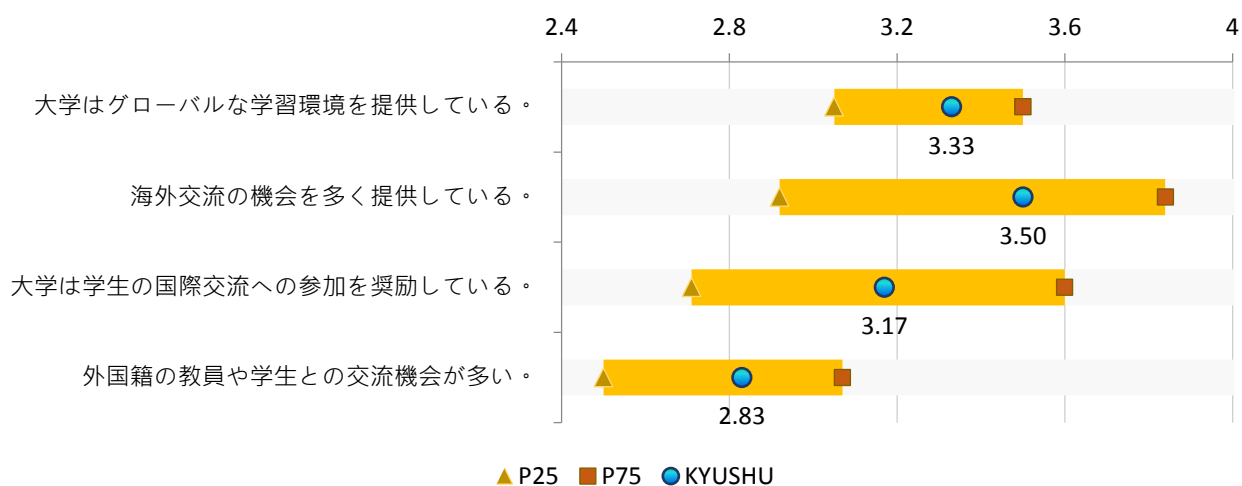
2. 自然科学、数学、統計分野学生の「キャンパス国際化」への意識

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
大学はグローバルな学習環境を提供している。	3.33	53	3.05	3.50	0.28	-0.17
海外交流の機会を多く提供している。	3.50	54	2.92	3.84	0.58	-0.34
大学は学生の国際交流への参加を奨励している。	3.17	57	2.71	3.60	0.46	-0.43
外国籍の教員や学生との交流機会が多い。	2.83	57	2.50	3.07	0.33	-0.24

注1： 項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2： アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が50%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3： 「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-5-2】自然科学、数学、統計分野学生の「キャンパス国際化」への意識とP25、P75との比較

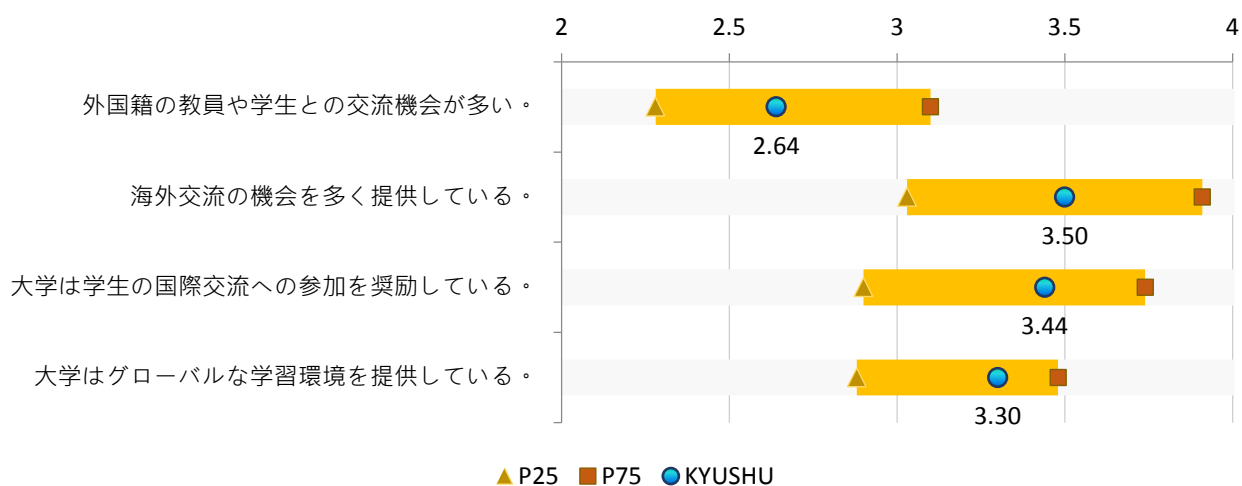
3. 医・薬・衛生看護学や社会福祉分野学生の「キャンパス国際化」への意識

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
外国籍の教員や学生との交流機会が多い。	2.64	50	2.28	3.10	0.36	-0.46
海外交流の機会を多く提供している。	3.50	50	3.03	3.91	0.47	-0.41
大学は学生の国際交流への参加を奨励している。	3.44	50	2.90	3.74	0.54 **	-0.30
大学はグローバルな学習環境を提供している。	3.30	61	2.88	3.48	0.42	-0.18

注1： 項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2： アンケートに協力してくれた21大学の中・A大学の「百分位数」がPkの場合・A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に・P99は当大学の値が99%の大学より高い・即ち・その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い・即ち・その他の10大学より高いと意味する。

注3： 「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-5-3】医・薬・衛生看護学や社会福祉分野学生の「キャンパス国際化」への意識とP25、P75との比較

(六) 【Q3*Q12】異なる分野学生の「授業方法」への意識

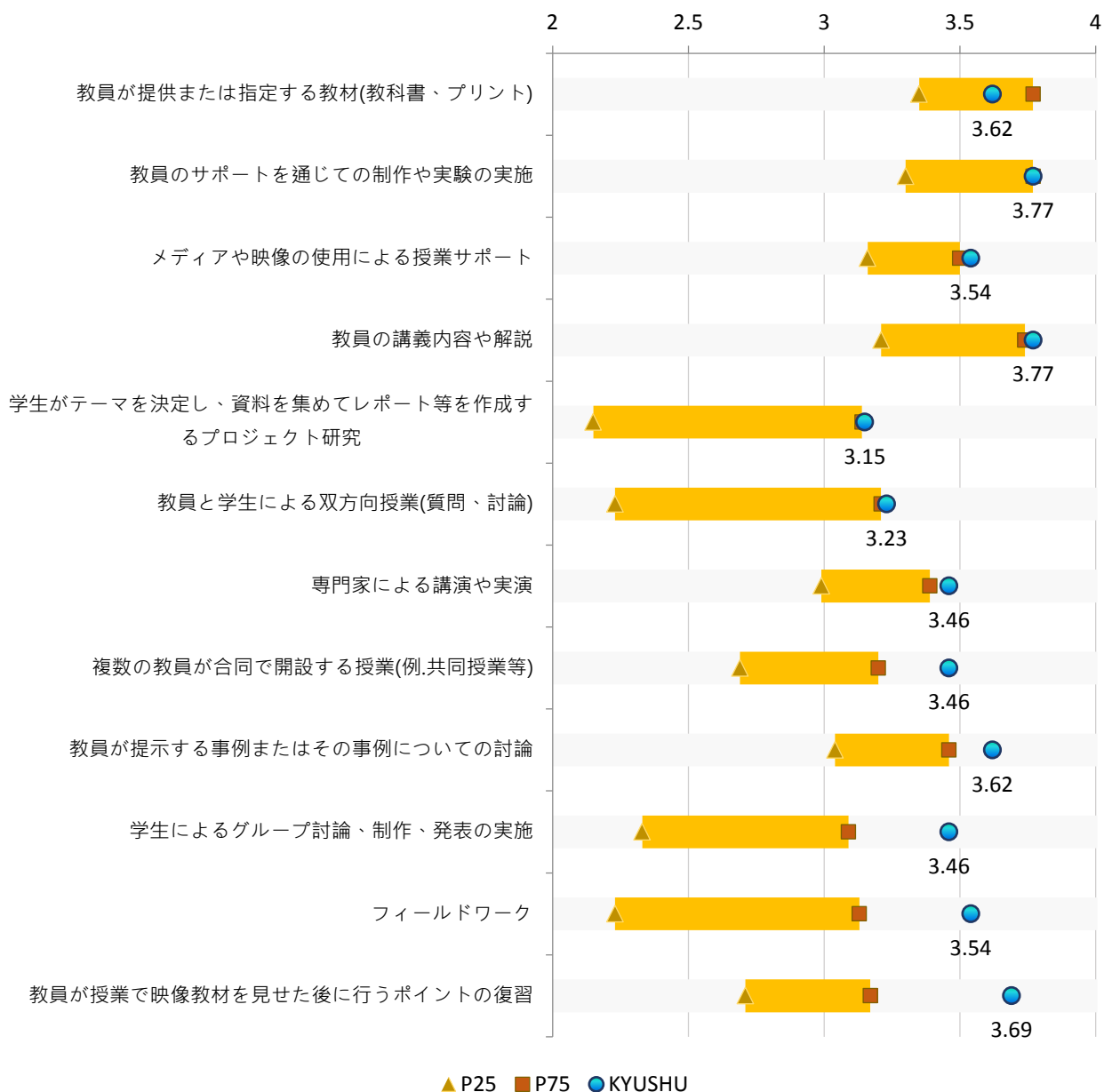
1. 工学、製造、建築分野学生の「授業方法」への意識

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
教員が提供または指定する教材(教科書、プリント)	3.62	53	3.35	3.77	0.27	-0.15
教員のサポートを通じての制作や実験の実施	3.77	75	3.30	3.77	0.47	--
メディアや映像の使用による授業サポート	3.54	76	3.16	3.50	0.38	0.04
教員の講義内容や解説	3.77	76	3.21	3.74	0.56	0.03
学生がテーマを決定し、資料を集めてレポート等を作成するプロジェクト研究	3.15	76	2.15	3.14	1.00	0.01
教員と学生による双方向授業(質問、討論)	3.23	76	2.23	3.21	1.00	0.02
専門家による講演や実演	3.46	84	2.99	3.39	0.47	0.07
複数の教員が合同で開設する授業(例.共同授業等)	3.46	84	2.69	3.20	0.77	0.26
教員が提示する事例またはその事例についての討論	3.62	92	3.04	3.46	0.58	0.16
学生によるグループ討論、制作、発表の実施	3.46	92	2.33	3.09	1.13 *	0.37
フィールドワーク	3.54	92	2.23	3.13	1.31	0.41
教員が授業で映像教材を見せた後に行うポイントの復習	3.69	99	2.71	3.17	0.98	0.52

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-6-1】工学、製造、建築分野学生の「授業方法」への意識とP25、P75との比較

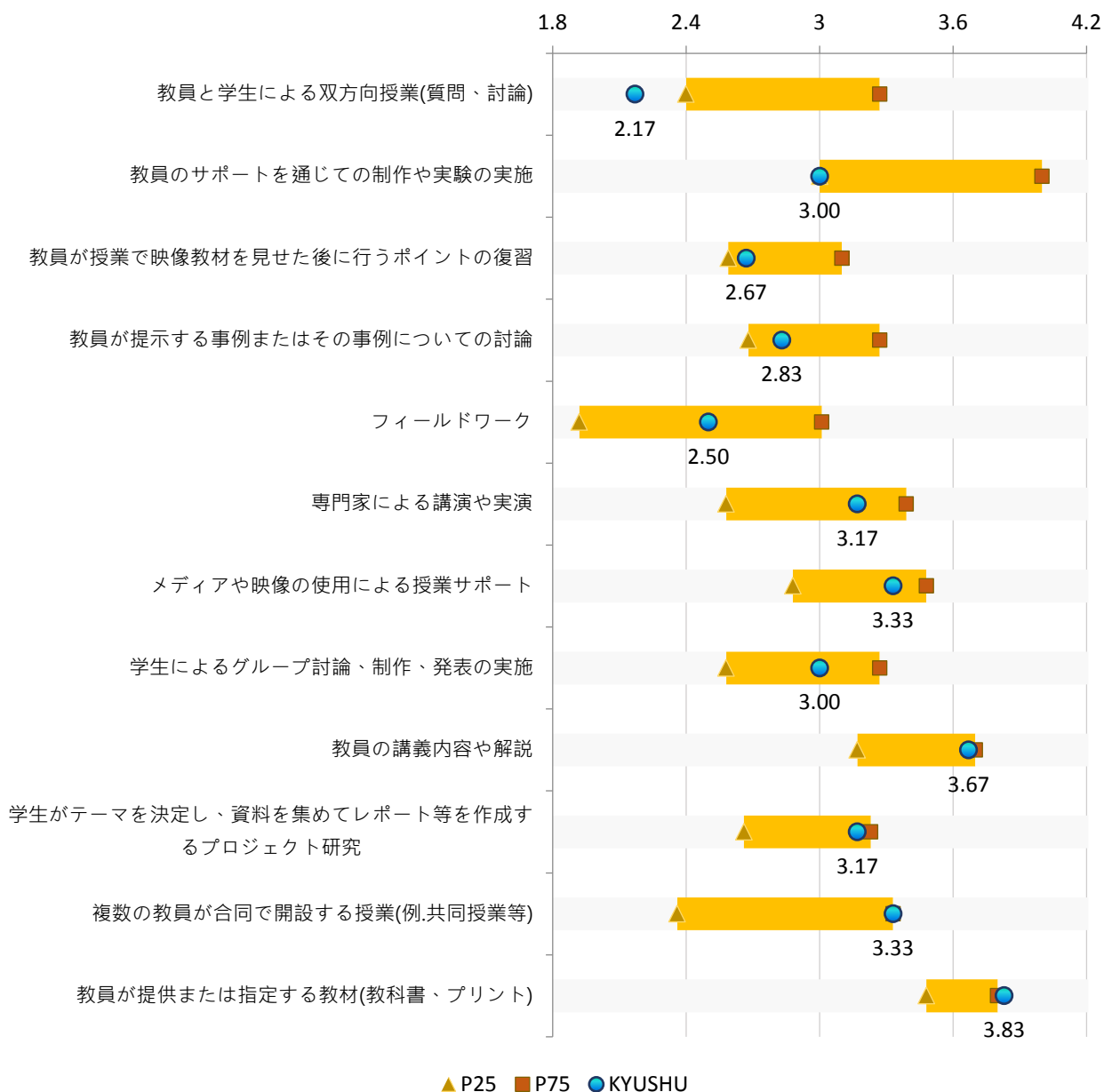
2. 自然科学、数学、統計分野学生の「授業方法」への意識

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
教員と学生による双方向授業 (質問、討論)	2.17	21	2.40	3.27	-0.23	-1.10
教員のサポートを通じての制 作や実験の実施	3.00	25	3.00	4.00	--	-1.00
教員が授業で映像教材を見せ た後に行うポイントの復習	2.67	38	2.59	3.10	0.08	-0.43
教員が提示する事例またはそ の事例についての討論	2.83	42	2.68	3.27	0.15	-0.44
フィールドワーク	2.50	42	1.92	3.01	0.58	-0.51
専門家による講演や実演	3.17	50	2.58	3.39	0.59	-0.22
メディアや映像の使用による 授業サポート	3.33	57	2.88	3.48	0.45	-0.15
学生によるグループ討論、制 作、発表の実施	3.00	61	2.58	3.27	0.42	-0.27
教員の講義内容や解説	3.67	61	3.17	3.70	0.50	-0.03
学生がテーマを決定し、資料 を集めてレポート等を作成す るプロジェクト研究	3.17	64	2.66	3.23	0.51	-0.06
複数の教員が合同で開設する 授業(例.共同授業等)	3.33	75	2.36	3.33	0.97	--
教員が提供または指定する教 材(教科書、プリント)	3.83	78	3.48	3.80	0.35	0.03

注1： 項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2： アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3： 「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ (両側検定) の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-6-2】自然科学、数学、統計分野学生の「授業方法」への意識とP25、P75との比較

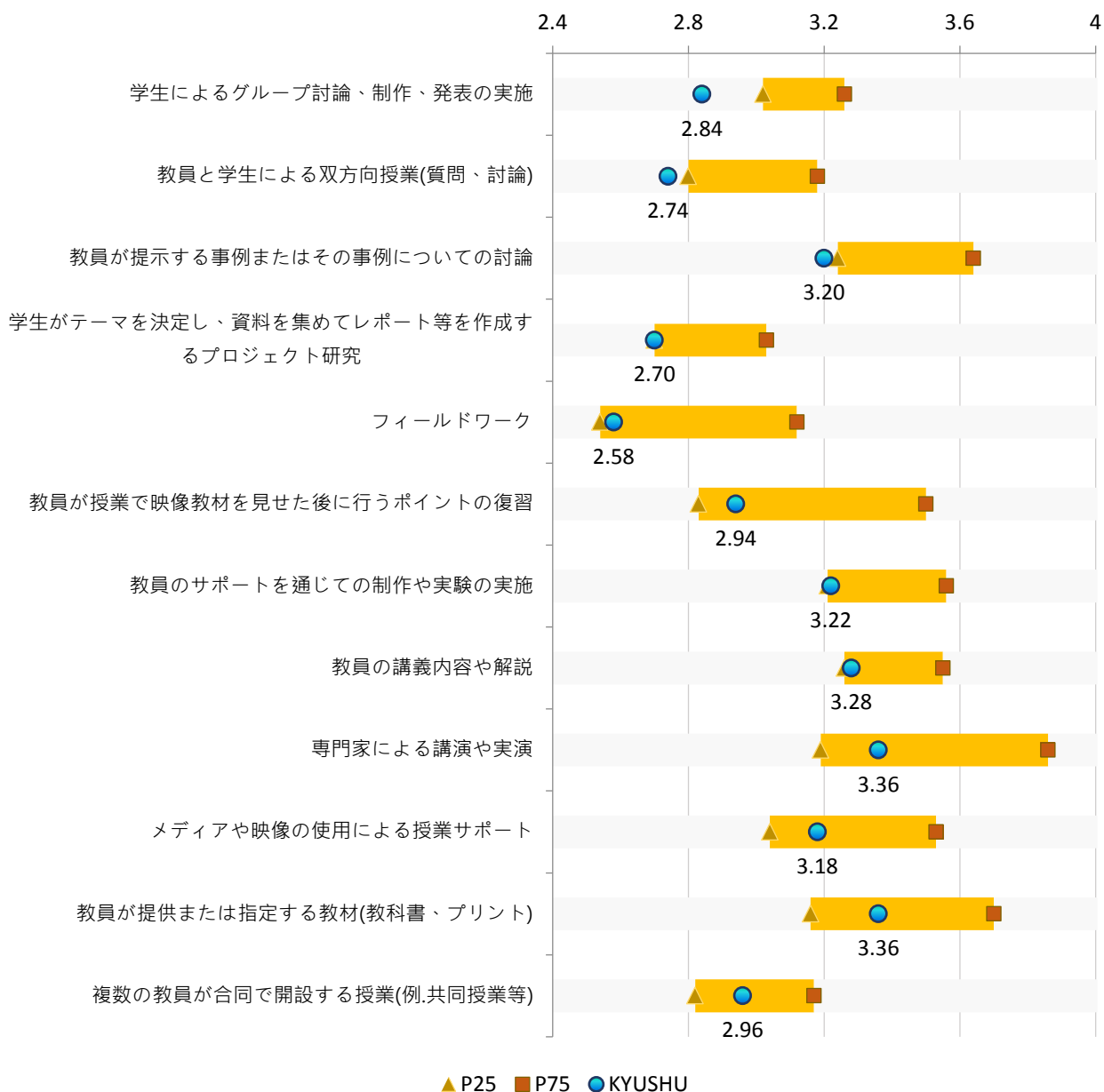
3. 医・薬・衛生看護学や社会福祉分野学生の「授業方法」への意識

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
学生によるグループ討論、制作、発表の実施	2.84	7	3.02	3.26	-0.18	-0.42
教員と学生による双方向授業(質問、討論)	2.74	14	2.80	3.18	-0.06	-0.44
教員が提示する事例またはその事例についての討論	3.20	14	3.24	3.64	-0.04	-0.44
学生がテーマを決定し、資料を集めてレポート等を作成するプロジェクト研究	2.70	25	2.70	3.03	--	-0.33
フィールドワーク	2.58	28	2.54	3.12	0.04	-0.54
教員が授業で映像教材を見せた後に行うポイントの復習	2.94	28	2.83	3.50	0.11	-0.56
教員のサポートを通じての制作や実験の実施	3.22	28	3.21	3.56	0.01	-0.34
教員の講義内容や解説	3.28	30	3.26	3.55	0.02	-0.27
専門家による講演や実演	3.36	42	3.19	3.86	0.17	-0.50
メディアや映像の使用による授業サポート	3.18	42	3.04	3.53	0.14	-0.35
教員が提供または指定する教材(教科書、プリント)	3.36	42	3.16	3.70	0.20	-0.34
複数の教員が合同で開設する授業(例.共同授業等)	2.96	57	2.82	3.17	0.14	-0.21

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-6-3】医・薬・衛生看護学や社会福祉分野学生の「授業方法」への意識とP25、P75との比較

(七) 【Q3*Q13】異なる分野学生の「授業内容」への意識

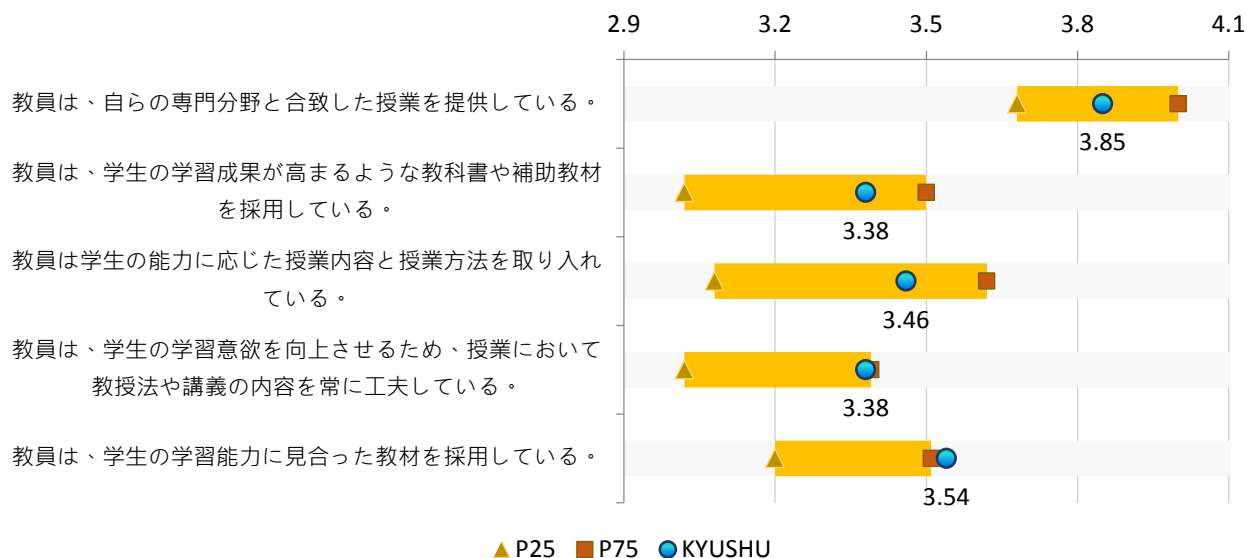
1. 工学、製造、建築分野学生の「授業内容」への意識

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
教員は、自らの専門分野と合致した授業を提供している。	3.85	38	3.68	4.00	0.17	-0.15
教員は、学生の学習成果が高まるような教科書や補助教材を採用している。	3.38	61	3.02	3.50	0.36	-0.12
教員は学生の能力に応じた授業内容と授業方法を取り入れている。	3.46	69	3.08	3.62	0.38	-0.16
教員は、学生の学習意欲を向上させるため、授業において教授法や講義の内容を常に工夫している。	3.38	69	3.02	3.39	0.36	-0.01
教員は、学生の学習能力に見合った教材を採用している。	3.54	76	3.20	3.51	0.34	0.03

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-7-1】工学、製造、建築分野学生の「授業内容」への意識とP25、P75との比較

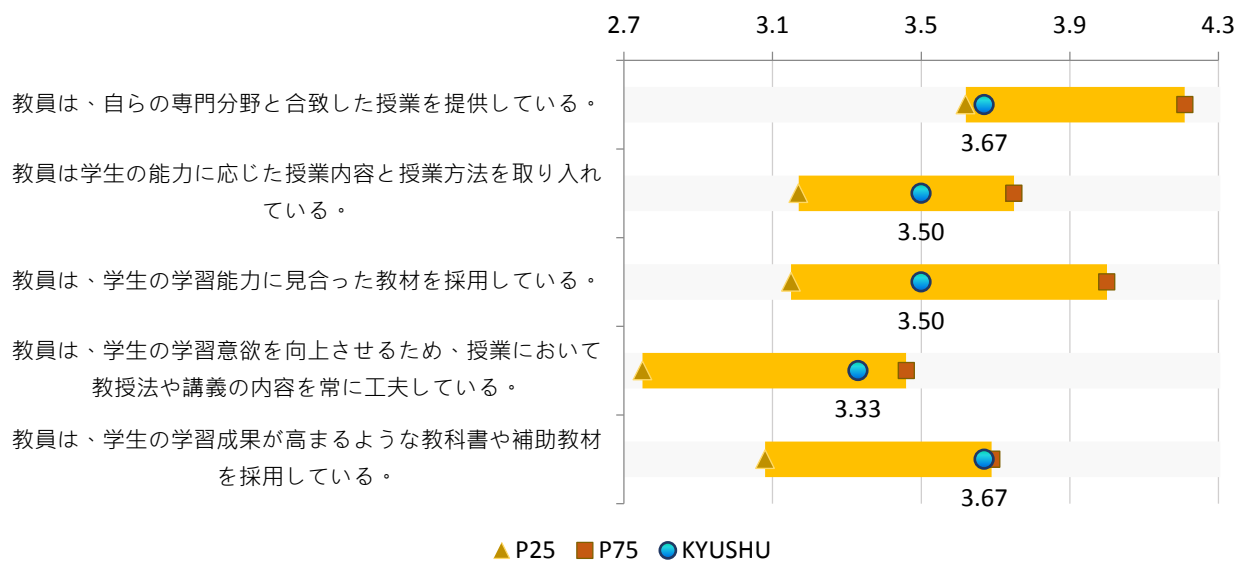
2. 自然科学、数学、統計分野学生の「授業内容」への意識

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
教員は、自らの専門分野と合致した授業を提供している。	3.67	30	3.62	4.21	0.05	-0.54
教員は学生の能力に応じた授業内容と授業方法を取り入れている。	3.50	42	3.17	3.75	0.33	-0.25
教員は、学生の学習能力に見合った教材を採用している。	3.50	46	3.15	4.00	0.35	-0.50
教員は、学生の学習意欲を向上させるため、授業において教授法や講義の内容を常に工夫している。	3.33	64	2.75	3.46	0.58	-0.13
教員は、学生の学習成果が高まるような教科書や補助教材を採用している。	3.67	71	3.08	3.69	0.59	-0.02

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-7-2】自然科学、数学、統計分野学生の「授業内容」への意識とP25、P75との比較

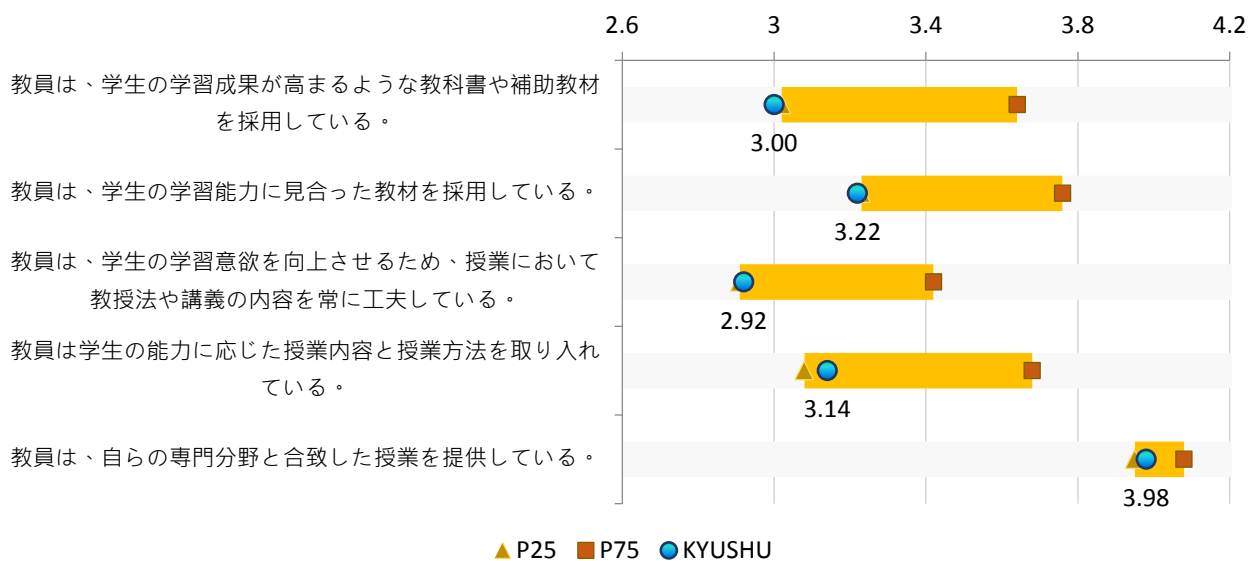
3. 医・薬・衛生看護学や社会福祉分野学生の「授業内容」への意識

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
教員は、学生の学習成果が高まるような教科書や補助教材を採用している。	3.00	15	3.02	3.64	-0.02	-0.64
教員は、学生の学習能力に見合った教材を採用している。	3.22	21	3.23	3.76	-0.01	-0.54
教員は、学生の学習意欲を向上させるため、授業において教授法や講義の内容を常に工夫している。	2.92	28	2.91	3.42	0.01	-0.50
教員は学生の能力に応じた授業内容と授業方法を取り入れている。	3.14	28	3.08	3.68	0.06	-0.54
教員は、自らの専門分野と合致した授業を提供している。	3.98	28	3.95	4.08	0.03	-0.10

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-7-3】医・薬・衛生看護学や社会福祉分野学生の「授業内容」への意識とP25、P75との比較

(八) 【Q3*Q14】異なる分野学生の「履修する授業」への意識

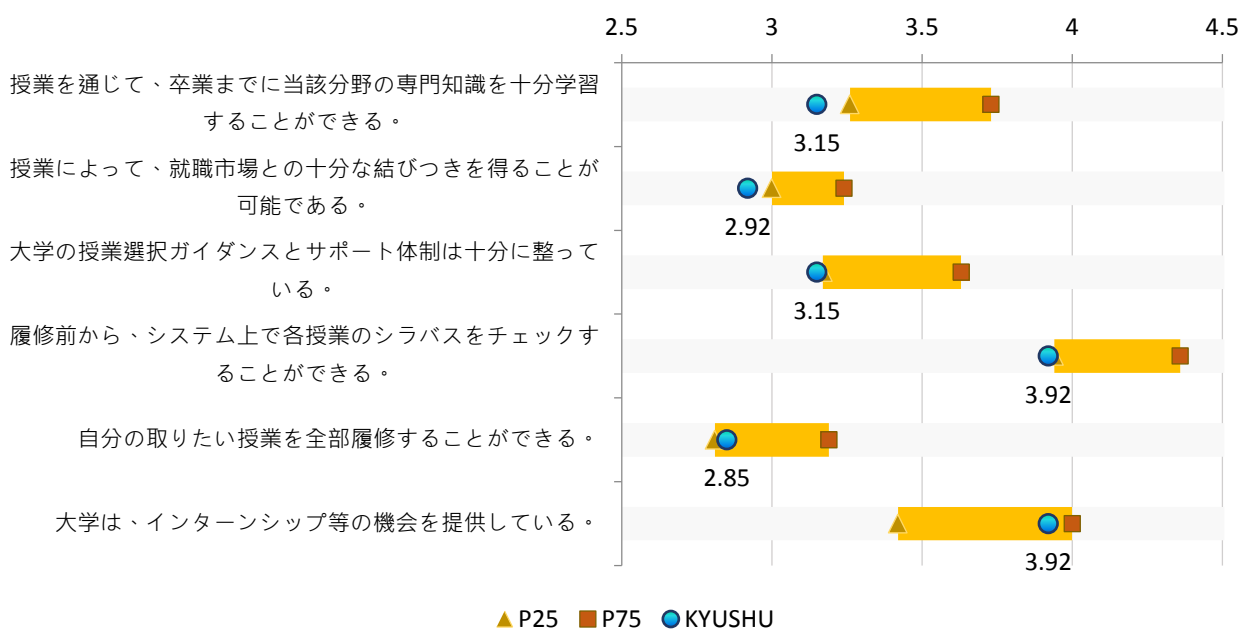
1. 工学、製造、建築分野学生の「履修する授業」への意識

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
授業を通じて、卒業までに当該分野の専門知識を十分学習することができる。	3.15	15	3.26	3.73	-0.11	-0.58
授業によって、就職市場との十分な結びつきを得ることが可能である。	2.92	15	3.00	3.24	-0.08	-0.32
大学の授業選択ガイダンスとサポート体制は十分に整っている。	3.15	23	3.17	3.63	-0.02	-0.48
履修前から、システム上で各授業のシラバスをチェックすることができる。	3.92	23	3.94	4.36	-0.02	-0.44
自分の取りたい授業を全部履修することができる。	2.85	30	2.81	3.19	0.04	-0.34
大学は、インターンシップ等の機会を提供している。	3.92	61	3.42	4.00	0.50	-0.08

注1： 項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2： アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3： 「*」は兩組のデータが信頼区間p=0.05（両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間p=0.01の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-8-1】工学、製造、建築分野学生の「履修する授業」への意識とP25、P75との比較

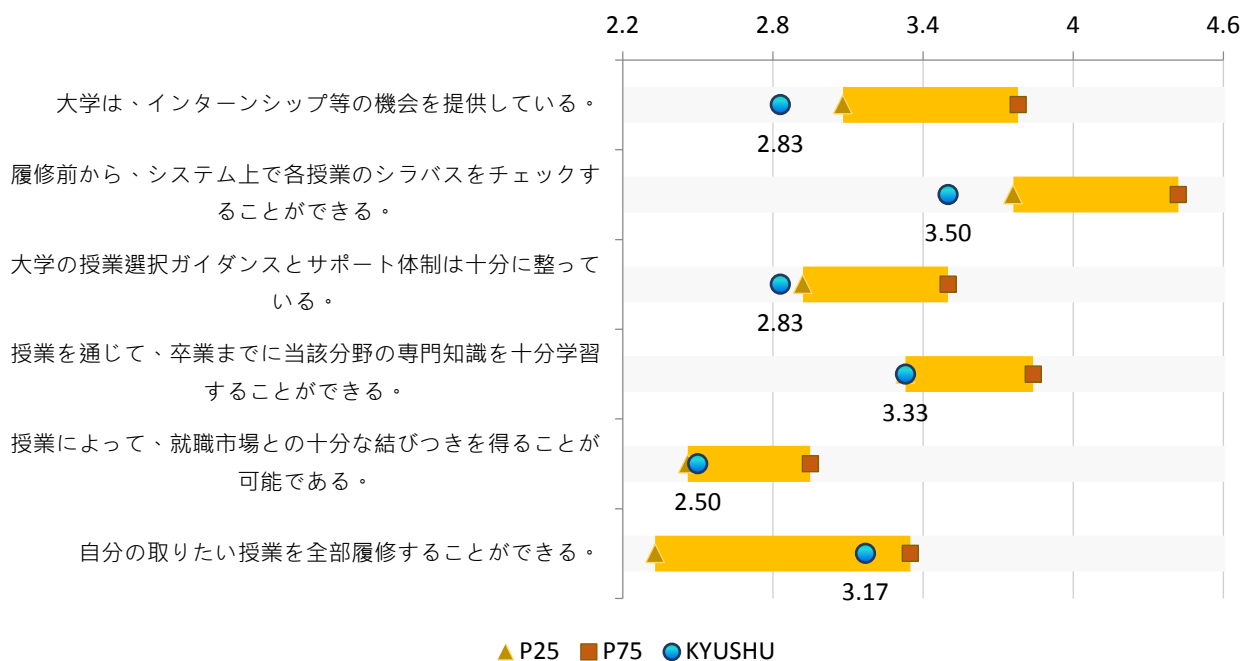
2. 自然科学、数学、統計分野学生の「履修する授業」への意識

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
大学は、インターンシップ等の機会を提供している。	2.83	1	3.08	3.78	-0.25	-0.95
履修前から、システム上で各授業のシラバスをチェックすることができる。	3.50	7	3.76	4.42	-0.26	-0.92
大学の授業選択ガイダンスとサポート体制は十分に整っている。	2.83	21	2.92	3.50	-0.09	-0.67
授業を通じて、卒業までに当該分野の専門知識を十分学習することができる。	3.33	25	3.33	3.84	--	-0.51
授業によって、就職市場との十分な結びつきを得ることが可能である。	2.50	30	2.46	2.95	0.04	-0.45
自分の取りたい授業を全部履修することができる。	3.17	64	2.33	3.35	0.84	-0.18

注1： 項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2： アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3： 「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-8-2】自然科学、数学、統計分野学生の「履修する授業」への意識とP25、P75との比較

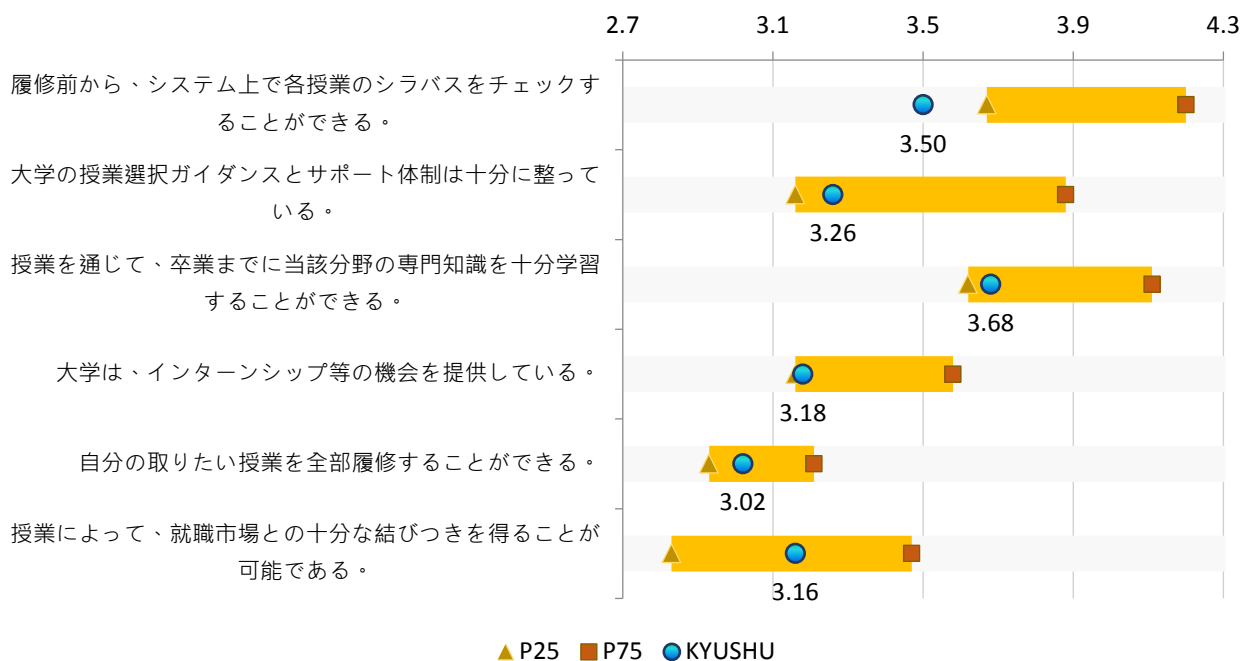
3. 医・薬・衛生看護学や社会福祉分野学生の「履修する授業」への意識

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
履修前から、システム上で各授業のシラバスをチェックすることができる。	3.50	14	3.67	4.20	-0.17	-0.70
大学の授業選択ガイダンスとサポート体制は十分に整っている。	3.26	28	3.16	3.88	0.10	-0.62
授業を通じて、卒業までに当該分野の専門知識を十分学習することができる。	3.68	28	3.62	4.11	0.06	-0.43
大学は、インターンシップ等の機会を提供している。	3.18	30	3.16	3.58	0.02	-0.40
自分の取りたい授業を全部履修することができる。	3.02	50	2.93	3.21	0.09	-0.19
授業によって、就職市場との十分な結びつきを得ることが可能である。	3.16	57	2.83	3.47	0.33	-0.31

注1： 項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2： アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3： 「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-8-3】 医・薬・衛生看護学や社会福祉分野学生の「履修する授業」への意識とP25、P75との比較

(九) 【Q3*Q15】異なる分野学生の「学習」への意識

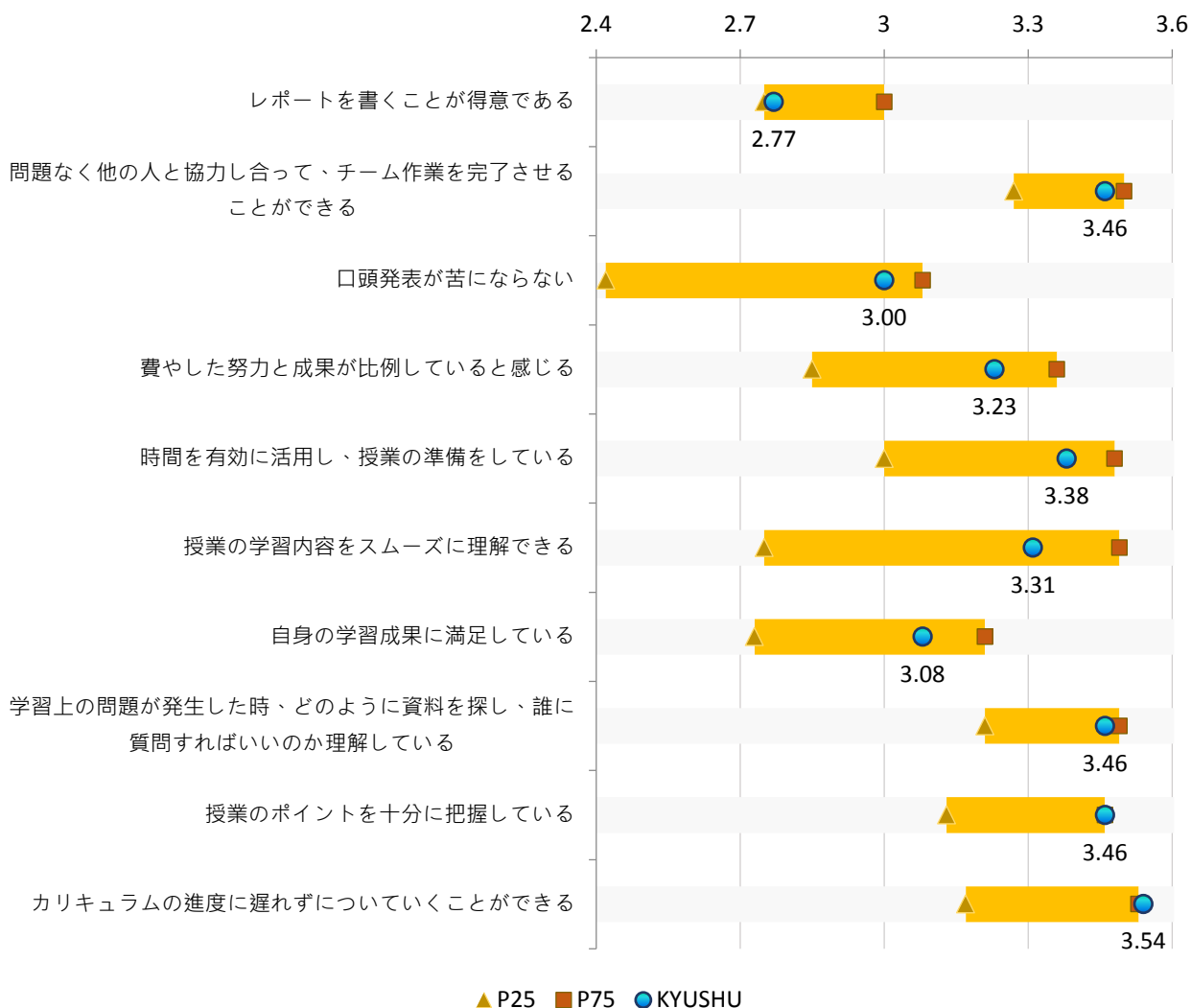
1. 工学、製造、建築分野学生の「学習」への意識

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
レポートを書くことが得意である	2.77	38	2.75	3.00	0.02	-0.23
問題なく他の人と協力し合って、チーム作業を完了させることができる	3.46	50	3.27	3.50	0.19	-0.04
口頭発表が苦にならない	3.00	58	2.42	3.08	0.58	-0.08
費やした努力と成果が比例していると感じる	3.23	61	2.85	3.36	0.38	-0.13
時間を有効に活用し、授業の準備をしている	3.38	61	3.00	3.48	0.38	-0.10
授業の学習内容をスムーズに理解できる	3.31	61	2.75	3.49	0.56	-0.18
自身の学習成果に満足している	3.08	69	2.73	3.21	0.35	-0.13
学習上の問題が発生した時、どのように資料を探し、誰に質問すればいいのか理解している	3.46	69	3.21	3.49	0.25	-0.03
授業のポイントを十分に把握している	3.46	75	3.13	3.46	0.33	--
カリキュラムの進度に遅れずについていくことができる	3.54	76	3.17	3.53	0.37	0.01

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が50%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-9-1】工学、製造、建築分野学生の「学習」への意識とP25、P75との比較

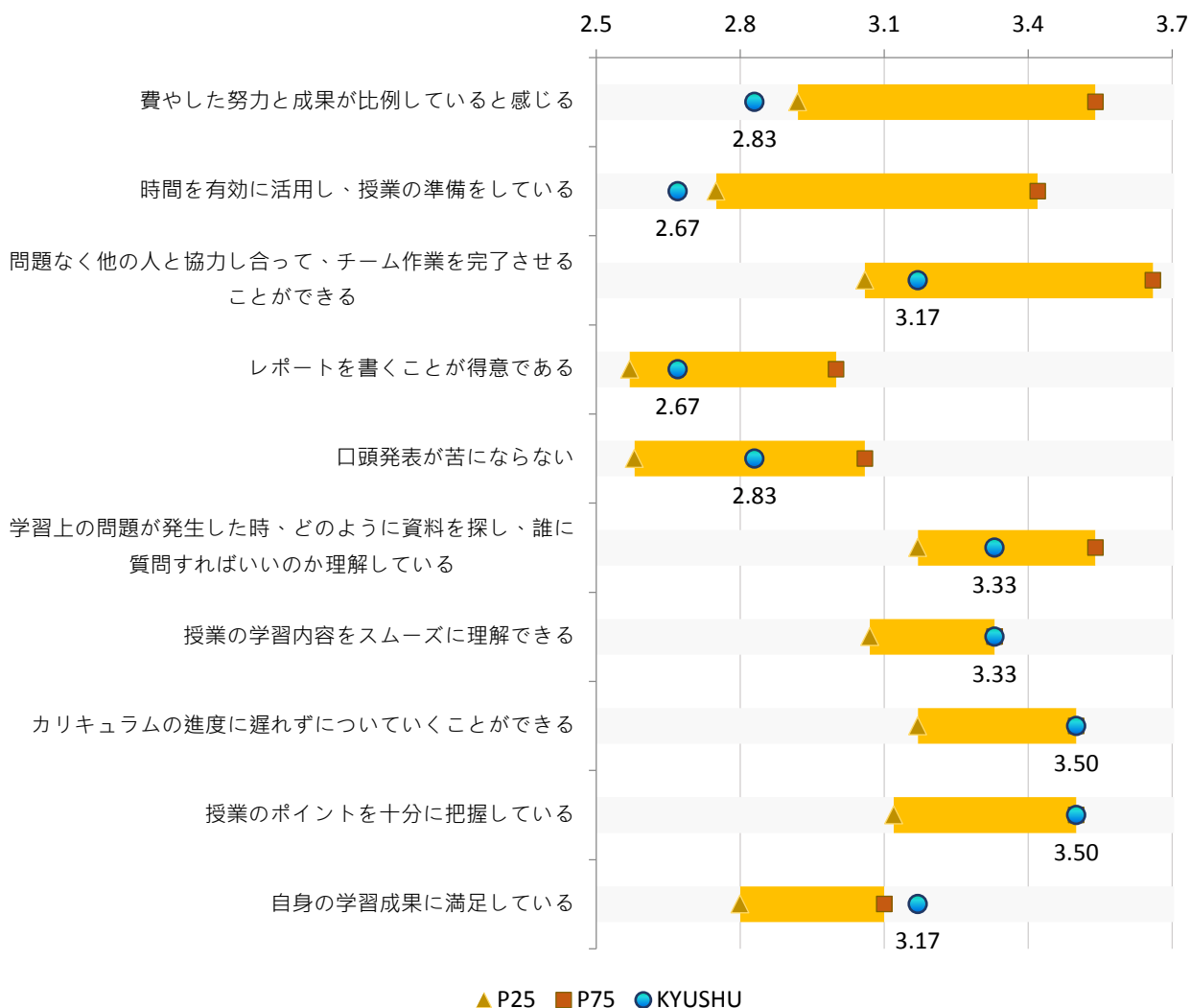
2. 自然科学、数学、統計分野学生の「学習」への意識

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
費やした努力と成果が比例していると感じる	2.83	15	2.92	3.54	-0.09	-0.71
時間を有効に活用し、授業の準備をしている	2.67	21	2.75	3.42	-0.08	-0.75
問題なく他の人と協力し合って、チーム作業を完了させることができる	3.17	35	3.06	3.66	0.11	-0.49
レポートを書くことが得意である	2.67	35	2.57	3.00	0.10	-0.33
口頭発表が苦にならない	2.83	50	2.58	3.06	0.25	-0.23
学習上の問題が発生した時、どのように資料を探し、誰に質問すればいいのか理解している	3.33	58	3.17	3.54	0.16	-0.21
授業の学習内容をスムーズに理解できる	3.33	75	3.07	3.33	0.26	--
カリキュラムの進度に遅れずについていくことができる	3.50	75	3.17	3.50	0.33	--
授業のポイントを十分に把握している	3.50	75	3.12	3.50	0.38	--
自身の学習成果に満足している	3.17	92	2.80	3.10	0.37	0.07

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-9-2】自然科学、数学、統計分野学生の「学習」への意識とP25、P75との比較

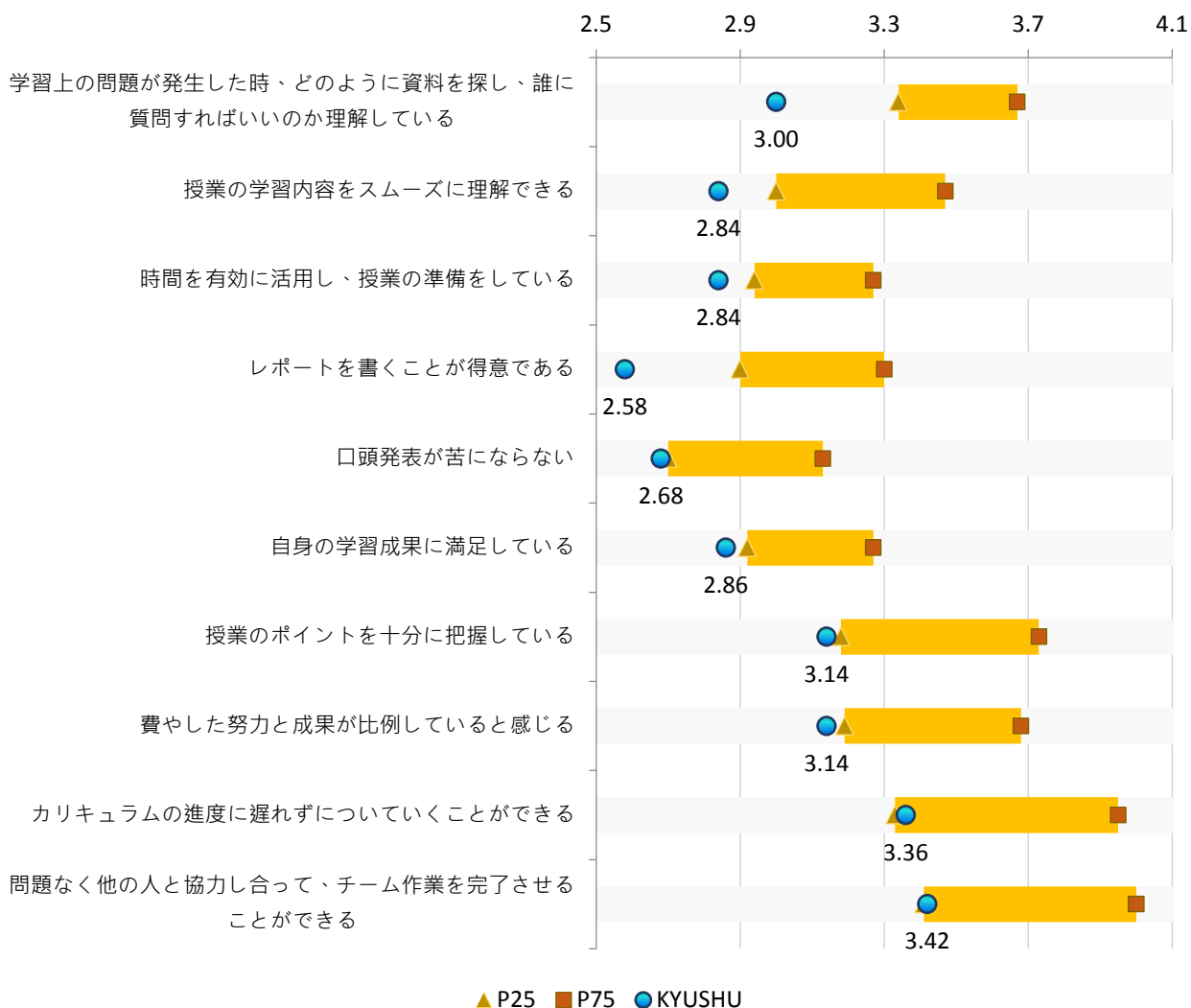
3. 医・薬・衛生看護学や社会福祉分野学生の「学習」への意識

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
学習上の問題が発生した時、どのように資料を探し、誰に質問すればいいのかわかっている	3.00	7	3.34	3.67	-0.34	-0.67
授業の学習内容をスムーズに理解できる	2.84	7	3.00	3.47	-0.16	-0.63
時間を有効に活用し、授業の準備をしている	2.84	7	2.94	3.27	-0.10	-0.43
レポートを書くことが得意である	2.58	14	2.90	3.30	-0.32	-0.72
口頭発表が苦にならない	2.68	14	2.70	3.13	-0.02	-0.45
自身の学習成果に満足している	2.86	15	2.92	3.27	-0.06	-0.41
授業のポイントを十分に把握している	3.14	21	3.18	3.73	-0.04	-0.59
費やした努力と成果が比例していると感じる	3.14	21	3.19	3.68	-0.05	-0.54
カリキュラムの進度に遅れずについていくことができる	3.36	28	3.33	3.95	0.03	-0.59
問題なく他の人と協力し合って、チーム作業を完了させることができる	3.42	30	3.41	4.00	0.01	-0.58

注1： 項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2： アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3： 「*」は両組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は両組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-9-3】医・薬・衛生看護学や社会福祉分野学生の「学習」への意識とP25、P75との比較

(十) 【Q3*Q16】異なる分野学生の「広範な教育」への意識

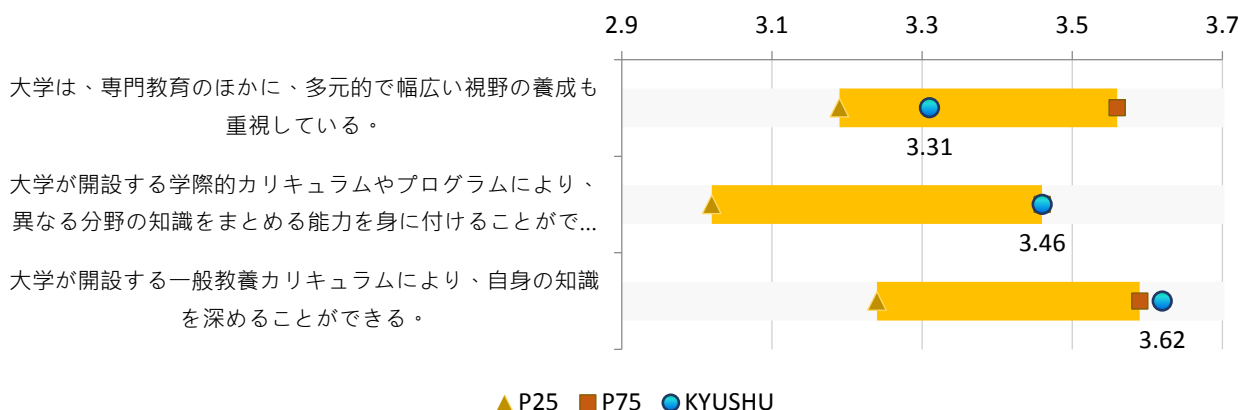
1. 工学、製造、建築分野学生の「広範な教育」への意識

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
大学は、専門教育のほかに、多角的で幅広い視野の養成も重視している。	3.31	53	3.19	3.56	0.12	-0.25
大学が開設する学際的カリキュラムやプログラムにより、異なる分野の知識をまとめる能力を身に付けることができる。	3.46	75	3.02	3.46	0.44	--
大学が開設する一般教養カリキュラムにより、自身の知識を深めることができる。	3.62	76	3.24	3.59	0.38	0.03

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-10-1】工学、製造、建築分野学生の「広範な教育」への意識とP25、P75との比較

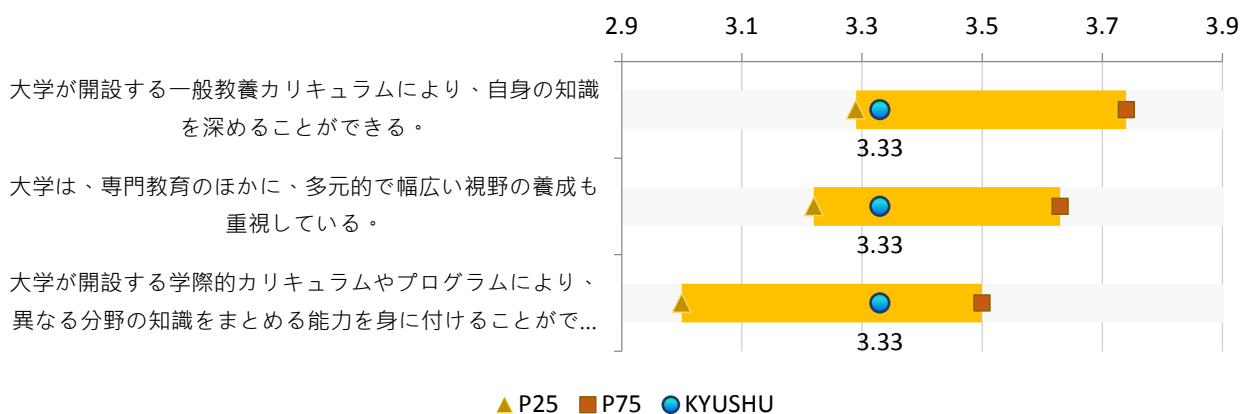
2. 自然科学、数学、統計分野学生の「広範な教育」への意識

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
大学が開設する一般教養カリキュラムにより、自身の知識を深めることができる。	3.33	30	3.29	3.74	0.04	-0.41
大学は、専門教育のほかに、多角的で幅広い視野の養成も重視している。	3.33	38	3.22	3.63	0.11	-0.30
大学が開設する学際的カリキュラムやプログラムにより、異なる分野の知識をまとめる能力を身に付けることができる。	3.33	64	3.00	3.50	0.33	-0.17

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-10-2】自然科学、数学、統計分野学生の「広範な教育」への意識とP25、P75との比較

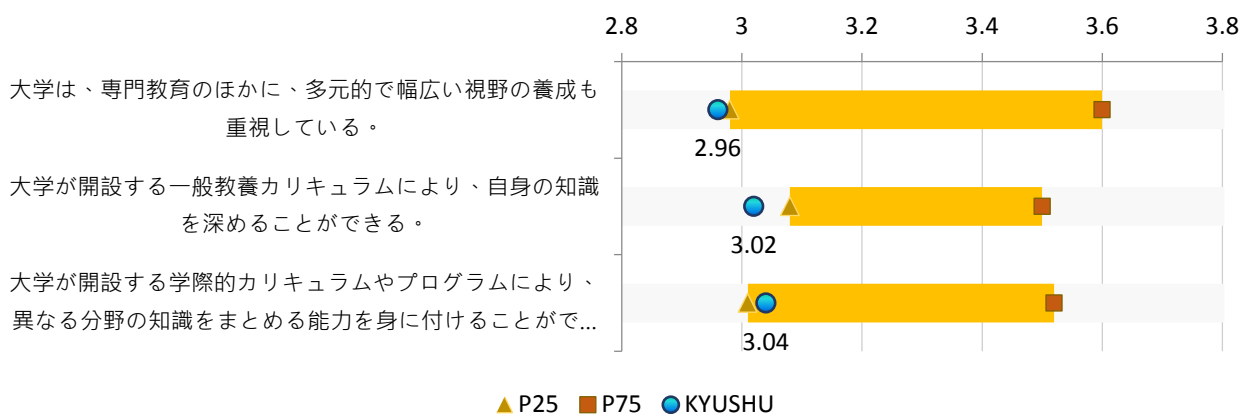
3. 医・薬・衛生看護学や社会福祉分野学生の「広範な教育」への意識

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
大学は、専門教育のほかに、多角的で幅広い視野の養成も重視している。	2.96	21	2.98	3.60	-0.02	-0.64
大学が開設する一般教養カリキュラムにより、自身の知識を深めることができる。	3.02	21	3.08	3.50	-0.06	-0.48
大学が開設する学際的カリキュラムやプログラムにより、異なる分野の知識をまとめる能力を身に付けることができる。	3.04	35	3.01	3.52	0.03	-0.48

注1： 項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2： アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3： 「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-10-3】医・薬・衛生看護学や社会福祉分野学生の「広範な教育」への意識とP25、P75との比較

(十一) 【Q3*Q17】異なる分野学生の「外国語能力」への意識

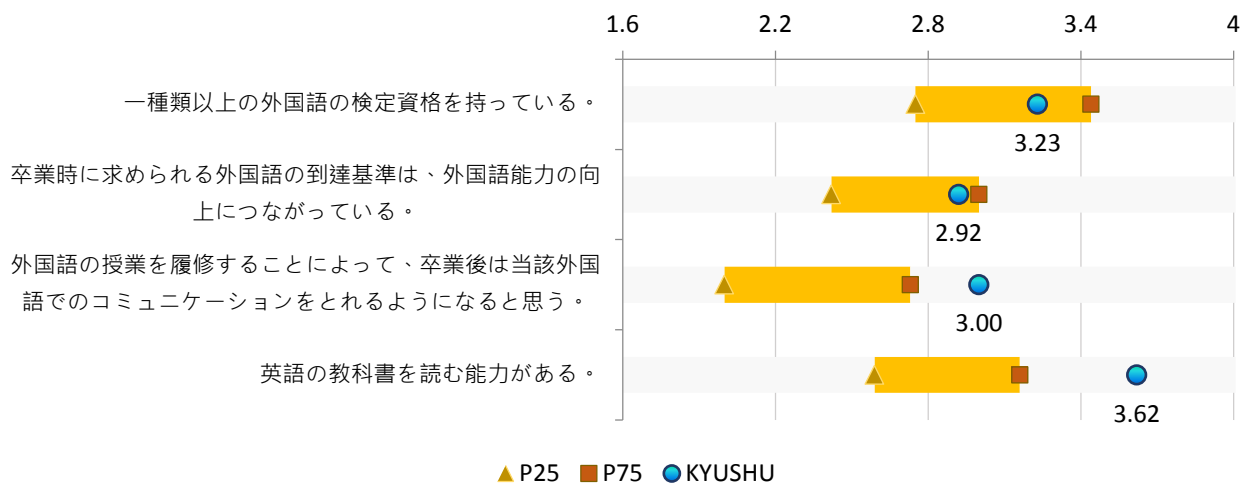
1. 工学、製造、建築分野学生の「外国語能力」への意識

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
一種類以上の外国語の検定資格を持っている。	3.23	46	2.75	3.44	0.48	-0.21
卒業時に求められる外国語の到達基準は、外国語能力の向上につながっている。	2.92	46	2.42	3.00	0.50	-0.08
外国語の授業を履修することによって、卒業後は当該外国語でのコミュニケーションをとれるようになると思う。	3.00	91	2.00	2.73	1.00	0.27
英語の教科書を読む能力がある。	3.62	99	2.59	3.16	1.03	0.46

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が50%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-11-1】工学、製造、建築分野学生の「外国語能力」への意識とP25、P75との比較

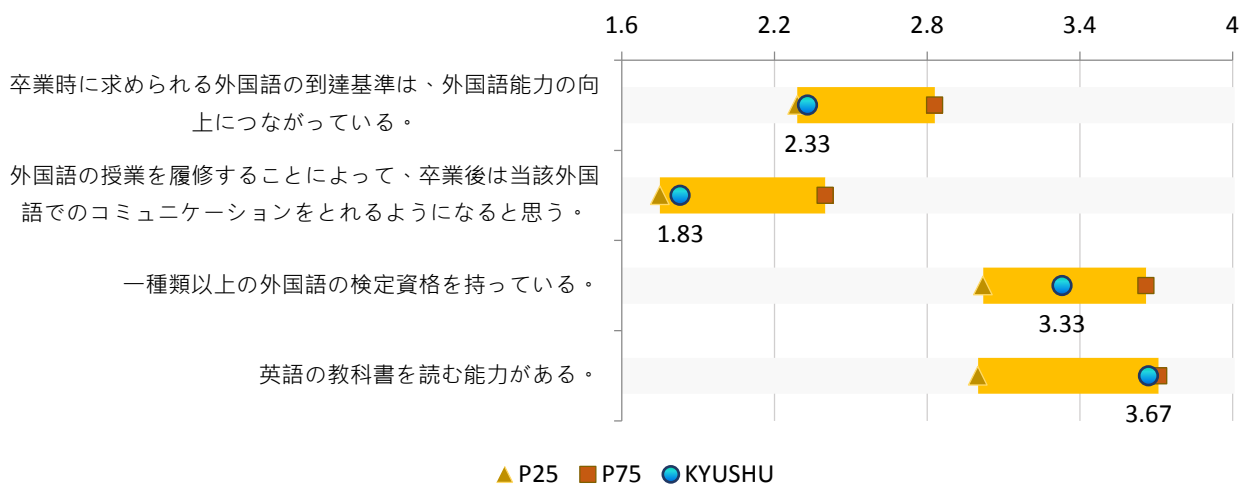
2. 自然科学、数学、統計分野学生の「外国語能力」への意識

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
卒業時に求められる外国語の到達基準は、外国語能力の向上につながっている。	2.33	30	2.29	2.83	0.04	-0.50
外国語の授業を履修することによって、卒業後は当該外国語でのコミュニケーションをとれるようになると思う。	1.83	35	1.75	2.40	0.08	-0.57
一種類以上の外国語の検定資格を持っている。	3.33	42	3.02	3.66	0.31	-0.33
英語の教科書を読む能力がある。	3.67	71	3.00	3.71	0.67	-0.04

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-11-2】自然科学、数学、統計分野学生の「外国語能力」への意識とP25、P75との比較

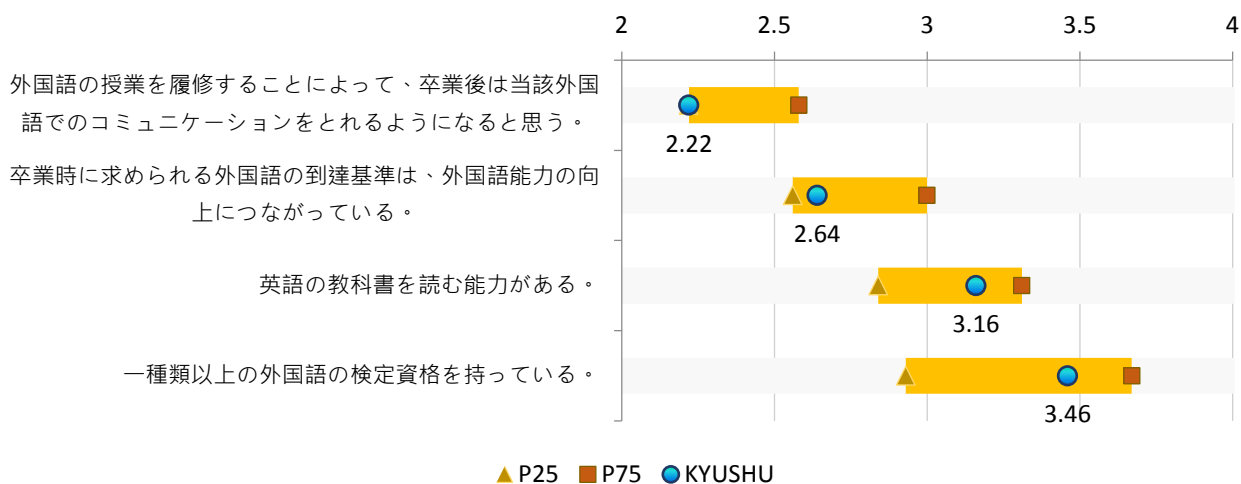
3. 医・薬・衛生看護学や社会福祉分野学生の「外国語能力」への意識

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
外国語の授業を履修することによって、卒業後は当該外国語でのコミュニケーションをとれるようになると思う。	2.22	25	2.22	2.58	--	-0.36
卒業時に求められる外国語の到達基準は、外国語能力の向上につながっている。	2.64	35	2.56	3.00	0.08	-0.36
英語の教科書を読む能力がある。	3.16	57	2.84	3.31	0.32	-0.15
一種類以上の外国語の検定資格を持っている。	3.46	71	2.93	3.67	0.53	-0.21

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中・A大学の「百分位数」がPkの場合・A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に・P99は当大学の値が99%の大学より高い・即ち・その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い・即ち・その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-11-3】医・薬・衛生看護学や社会福祉分野学生の「外国語能力」への意識とP25、P75との比較

(十二) 【Q3*Q18】異なる分野学生の「相談支援」への理解

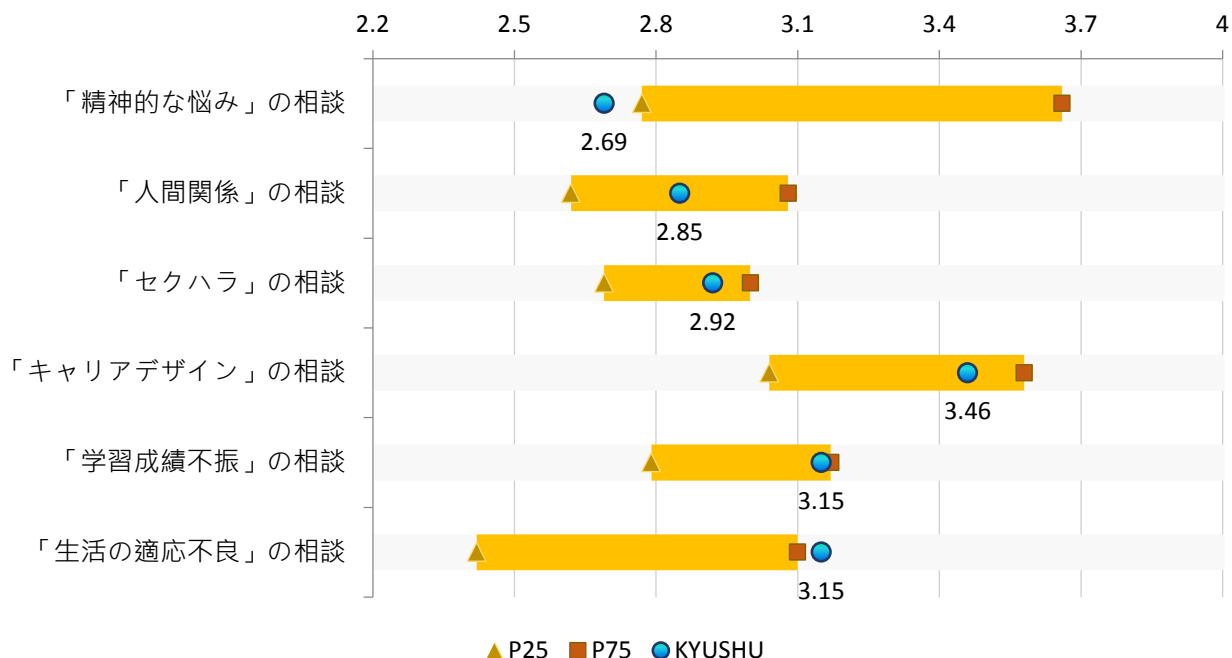
1. 工学、製造、建築分野学生の「相談支援」への理解

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
「精神的な悩み」の相談	2.69	23	2.77	3.66	-0.08	-0.97
「人間関係」の相談	2.85	46	2.62	3.08	0.23	-0.23
「セクハラ」の相談	2.92	53	2.69	3.00	0.23	-0.08
「キャリアデザイン」の相談	3.46	61	3.04	3.58	0.42	-0.12
「学習成績不振」の相談	3.15	69	2.79	3.17	0.36	-0.02
「生活の適応不良」の相談	3.15	84	2.42	3.10	0.73	0.05

注1： 項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2： アンケートに協力してくれた21大学の中・A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が50%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3： 「*」は兩組のデータが信頼区間p=0.05（両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；
 「**」は兩組のデータが信頼区間p=0.01の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-12-1】工学、製造、建築分野学生の「相談支援」への理解とP25、P75との比較

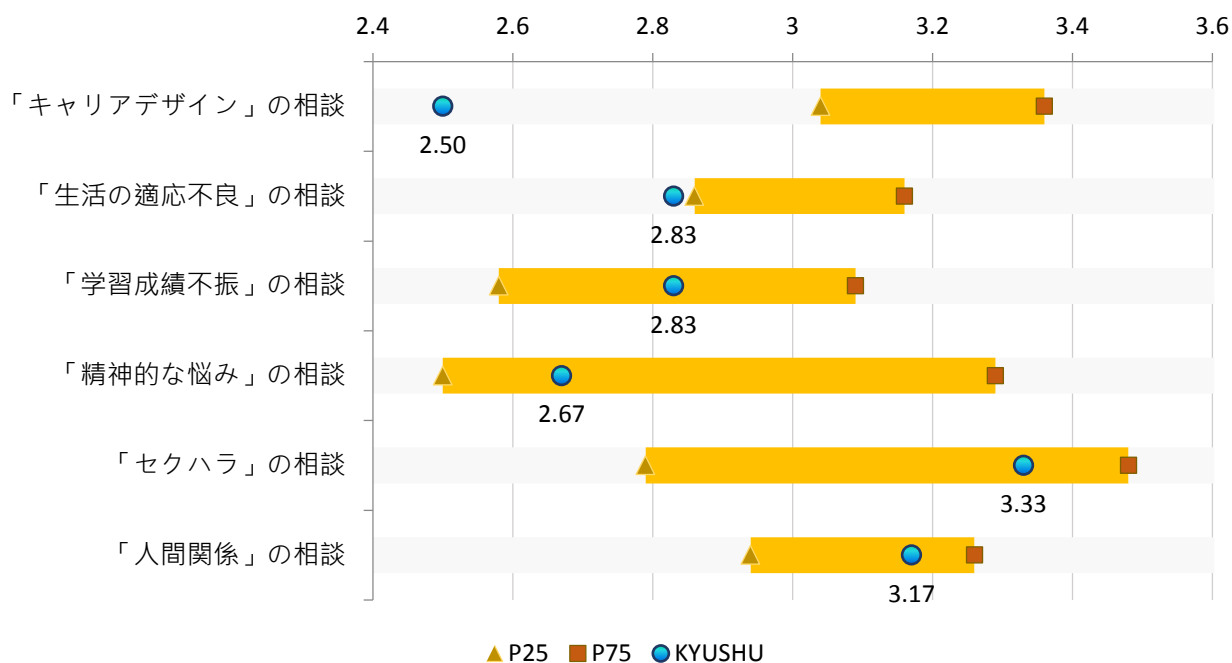
2. 自然科学、数学、統計分野学生の「相談支援」への理解

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
「キャリアデザイン」の相談	2.50	1	3.04	3.36	-0.54	-0.86
「生活の適応不良」の相談	2.83	21	2.86	3.16	-0.03	-0.33
「学習成績不振」の相談	2.83	35	2.58	3.09	0.25	-0.26
「精神的な悩み」の相談	2.67	42	2.50	3.29	0.17	-0.62
「セクハラ」の相談	3.33	64	2.79	3.48	0.54	-0.15
「人間関係」の相談	3.17	69	2.94	3.26	0.23	-0.09

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中・A大学の「百分位数」がPkの場合・A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に・P99は当大学の値が99%の大学より高い・即ち・その他の20大学より高い；P50は当大学の値が50%の大学より高い・即ち・その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；
「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-12-2】自然科学、数学、統計分野学生の「相談支援」への理解とP25、P75との比較

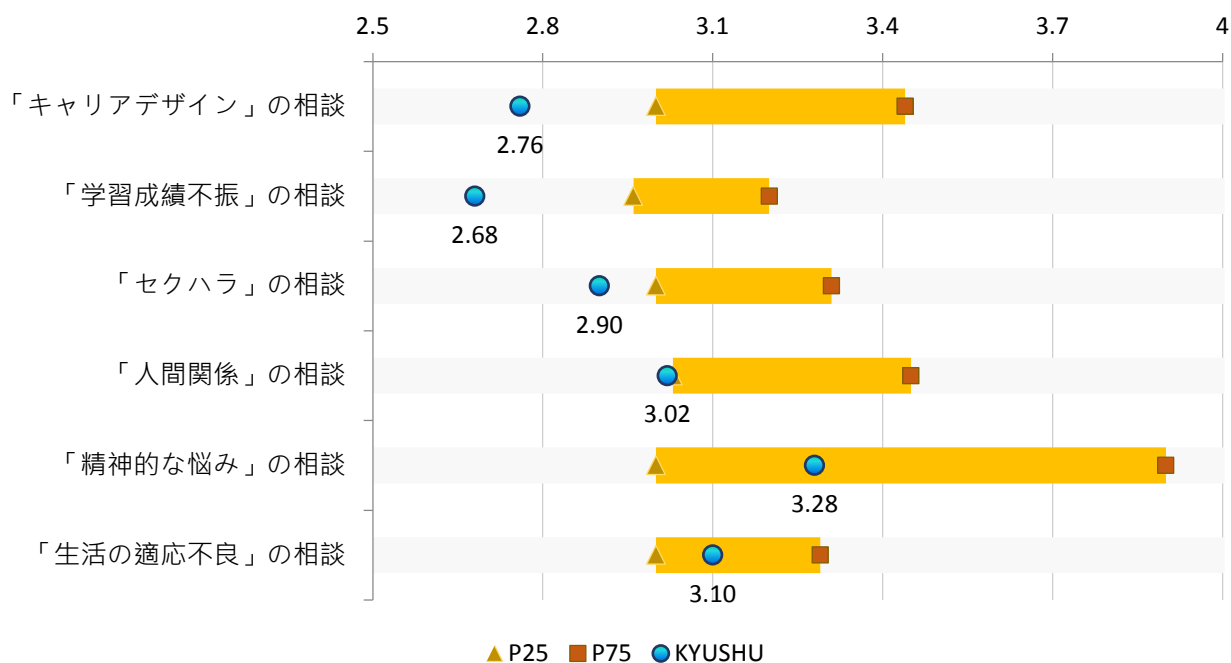
3. 医・薬・衛生看護学や社会福祉分野学生の「相談支援」への理解

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
「キャリアデザイン」の相談	2.76	1	3.00	3.44	-0.24	-0.68
「学習成績不振」の相談	2.68	7	2.96	3.20	-0.28	-0.52
「セクハラ」の相談	2.90	7	3.00	3.31	-0.10	-0.41
「人間関係」の相談	3.02	21	3.03	3.45	-0.01	-0.43
「精神的な悩み」の相談	3.28	46	3.00	3.90	0.28	-0.62
「生活の適応不良」の相談	3.10	50	3.00	3.29	0.10	-0.19

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中・A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-12-3】医・薬・衛生看護学や社会福祉分野学生の「相談支援」への理解とP25、P75との比較

(十三) 【Q3*Q19】異なる分野学生の「教育支援」への意識

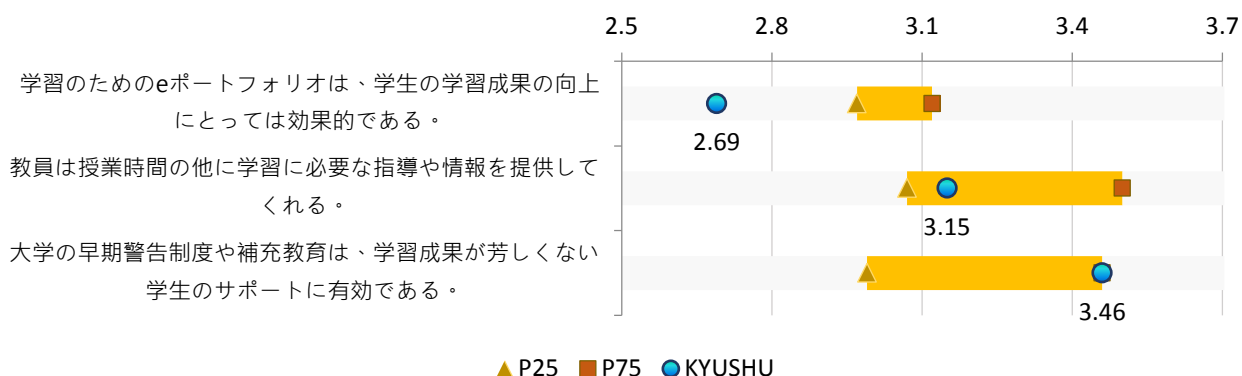
1. 工学、製造、建築分野学生の「教育支援」への意識

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
学習のためのeポートフォリオは、学生の学習成果の向上にとっては効果的である。	2.69	1	2.97	3.12	-0.28	-0.43
教員は授業時間の他に学習に必要な指導や情報を提供してくれる。	3.15	30	3.07	3.50	0.08	-0.35
大学の早期警告制度や補充教育は、学習成果が芳しくない学生のサポートに有効である。	3.46	75	2.99	3.46	0.47	--

注1： 項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2： アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3： 「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-13-1】工学、製造、建築分野学生の「教育支援」への意識とP25、P75との比較

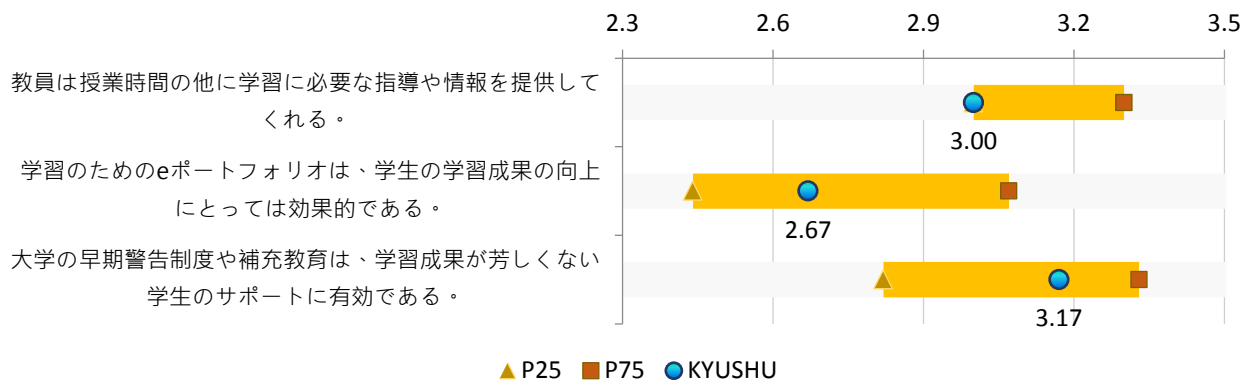
2. 自然科学、数学、統計分野学生の「教育支援」への意識

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
教員は授業時間の他に学習に必要な指導や情報を提供してくれる。	3.00	25	3.00	3.30	--	-0.30
学習のためのeポートフォリオは、学生の学習成果の向上にとっては効果的である。	2.67	42	2.44	3.07	0.23	-0.40
大学の早期警告制度や補充教育は、学習成果が芳しくない学生のサポートに有効である。	3.17	50	2.82	3.33	0.35	-0.16

注1： 項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2： アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3： 「*」は兩組のデータが信頼区間p=0.05（両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；
 「**」は兩組のデータが信頼区間p=0.01の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-13-2】自然科学、数学、統計分野学生の「教育支援」への意識とP25、P75との比較

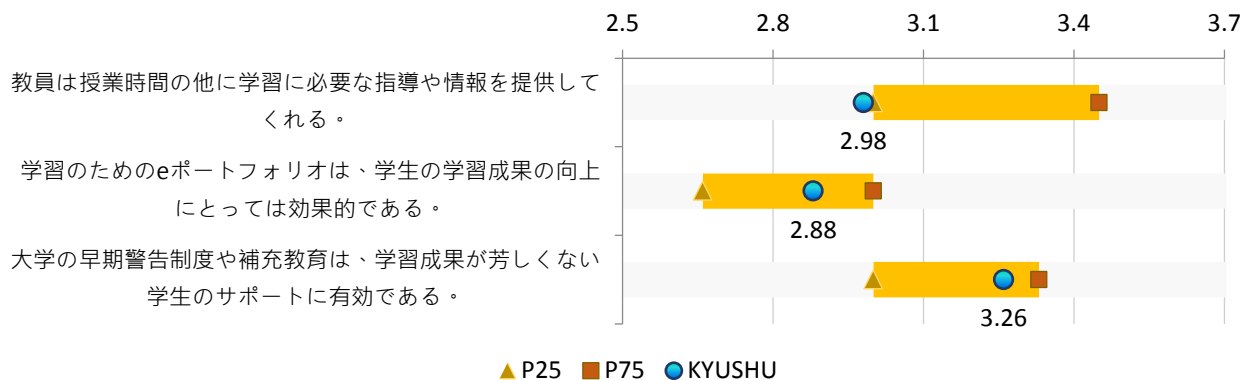
3. 医・薬・衛生看護学や社会福祉分野学生の「教育支援」への意識

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
教員は授業時間の他に学習に必要な指導や情報を提供してくれる。	2.98	14	3.00	3.45	-0.02	-0.47
学習のためのeポートフォリオは、学生の学習成果の向上にとっては効果的である。	2.88	57	2.66	3.00	0.22	-0.12
大学の早期警告制度や補充教育は、学習成果が芳しくない学生のサポートに有効である。	3.26	71	3.00	3.33	0.26	-0.07

注1： 項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2： アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3： 「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-13-3】 医・薬・衛生看護学や社会福祉分野学生の「教育支援」への意識とP25、P75との比較

(十四) 【Q3*Q20】異なる分野学生の「就職支援」への意識

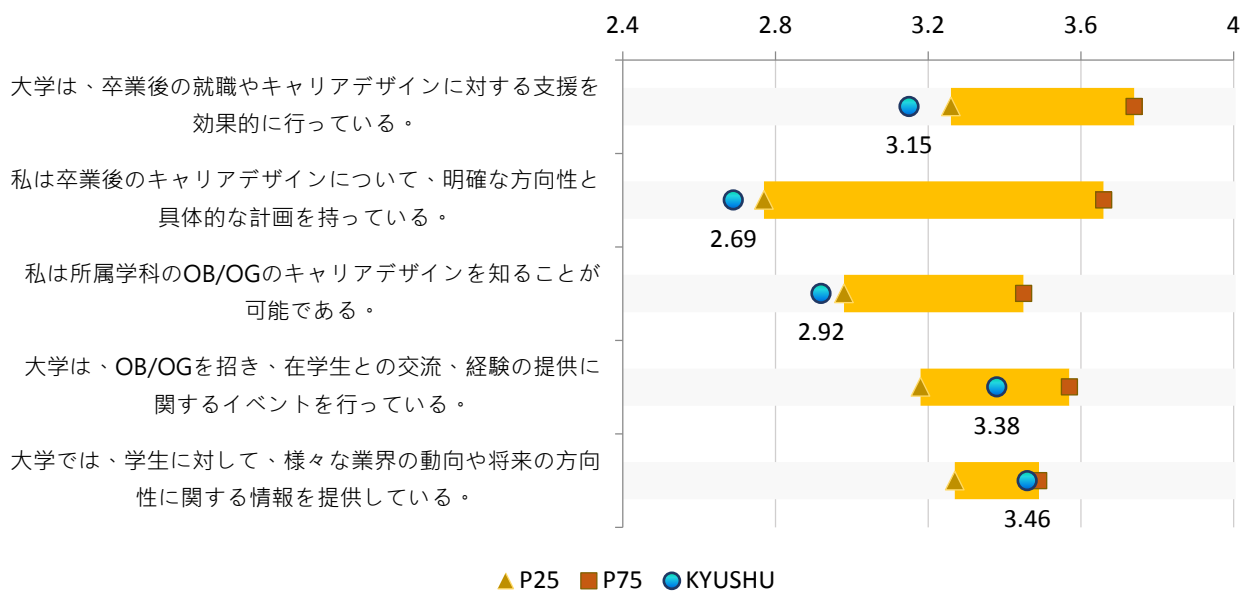
1. 工学、製造、建築分野学生の「就職支援」への意識

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
大学は、卒業後の就職やキャリアデザインに対する支援を効果的に行っている。	3.15	15	3.26	3.74	-0.11	-0.59
私は卒業後のキャリアデザインについて、明確な方向性と具体的な計画を持っている。	2.69	23	2.77	3.66	-0.08	-0.97
私は所属学科のOB/OGのキャリアデザインを知ることが可能である。	2.92	23	2.98	3.45	-0.06	-0.53
大学は、OB/OGを招き、在学生との交流、経験の提供に関するイベントを行っている。	3.38	53	3.18	3.57	0.20	-0.19
大学では、学生に対して、様々な業界の動向や将来の方向性に関する情報を提供している。	3.46	61	3.27	3.49	0.19	-0.03

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間p=0.05（両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間p=0.01の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-14-1】工学、製造、建築分野学生の「就職支援」への意識とP25、P75との比較

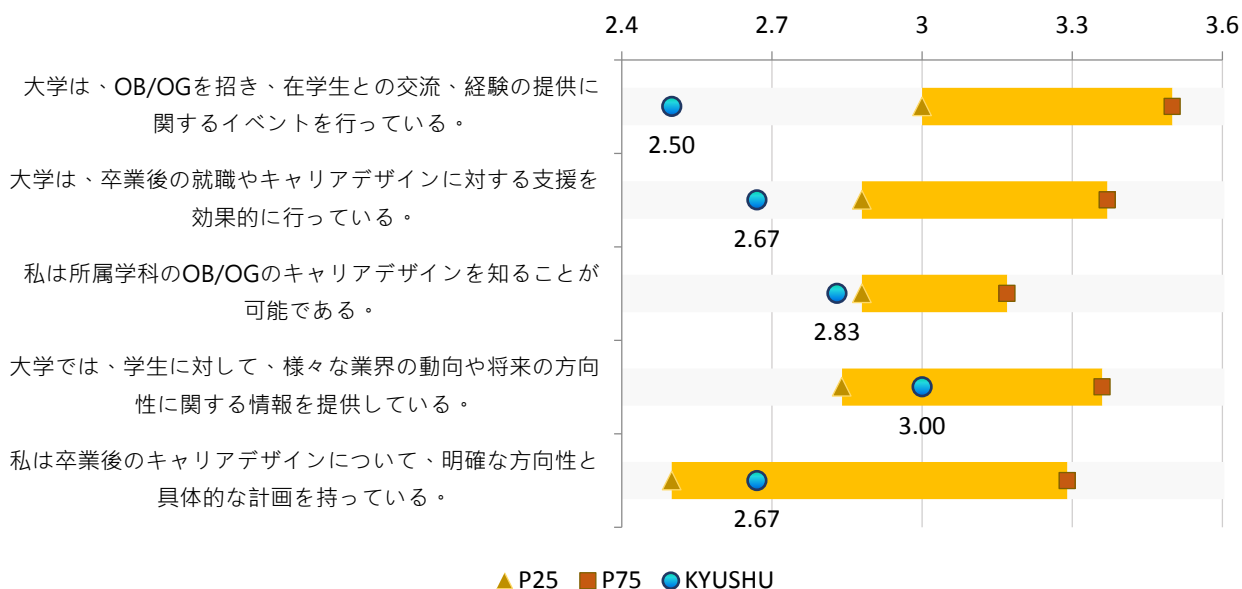
2. 自然科学、数学、統計分野学生の「就職支援」への意識

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
大学は、OB/OGを招き、在学生との交流、経験の提供に関するイベントを行っている。	2.50	7	3.00	3.50	-0.50	-1.00
大学は、卒業後の就職やキャリアデザインに対する支援を効果的に行っている。	2.67	14	2.88	3.37	-0.21	-0.70
私は所属学科のOB/OGのキャリアデザインを知ることが可能である。	2.83	21	2.88	3.17	-0.05	-0.34
大学では、学生に対して、様々な業界の動向や将来の方向性に関する情報を提供している。	3.00	36	2.84	3.36	0.16	-0.36
私は卒業後のキャリアデザインについて、明確な方向性と具体的な計画を持っている。	2.67	42	2.50	3.29	0.17	-0.62

注1： 項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2： アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3： 「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-14-2】自然科学、数学、統計分野学生の「就職支援」への意識とP25、P75との比較

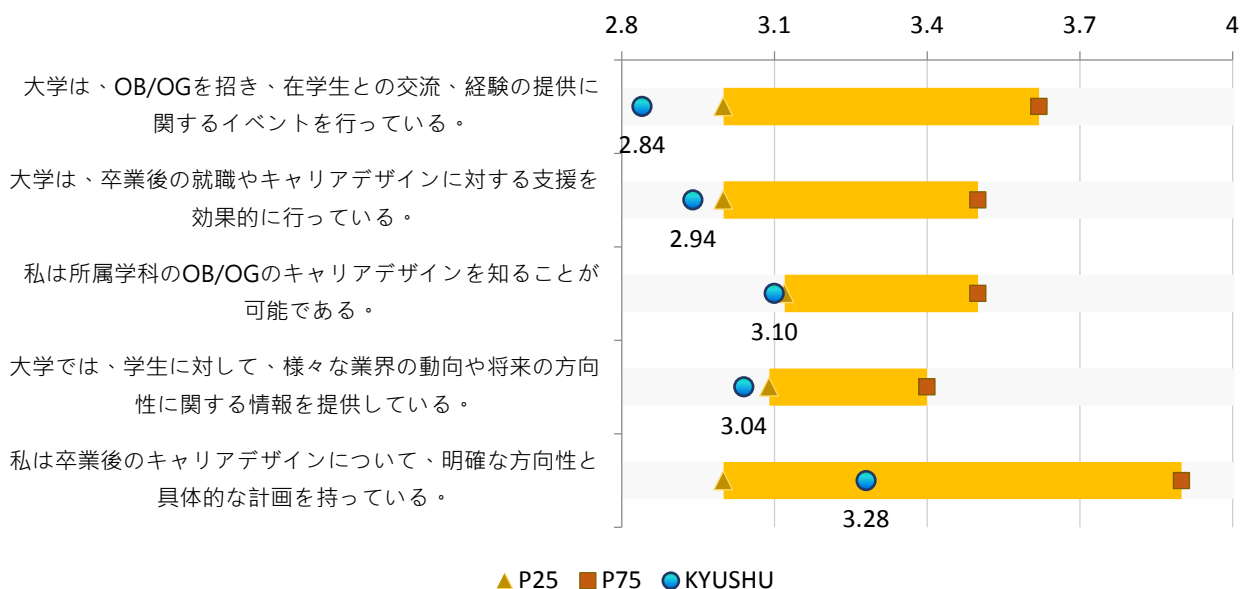
3. 医・薬・衛生看護学や社会福祉分野学生の「就職支援」への意識

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
大学は、OB/OGを招き、在学生との交流、経験の提供に関するイベントを行っている。	2.84	14	3.00	3.62	-0.16	-0.78
大学は、卒業後の就職やキャリアデザインに対する支援を効果的に行っている。	2.94	14	3.00	3.50	-0.06	-0.56 *
私は所属学科のOB/OGのキャリアデザインを知ることが可能である。	3.10	14	3.12	3.50	-0.02	-0.40
大学では、学生に対して、様々な業界の動向や将来の方向性に関する情報を提供している。	3.04	21	3.09	3.40	-0.05	-0.36
私は卒業後のキャリアデザインについて、明確な方向性と具体的な計画を持っている。	3.28	46	3.00	3.90	0.28	-0.62

注1： 項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2： アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3： 「*」は兩組のデータが信頼区間p=0.05（両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間p=0.01の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-14-3】 医・薬・衛生看護学や社会福祉分野学生の「就職支援」への意識とP25、P75との比較

(十五) 【Q3*Q21】異なる分野学生の「自身の現状」への評価

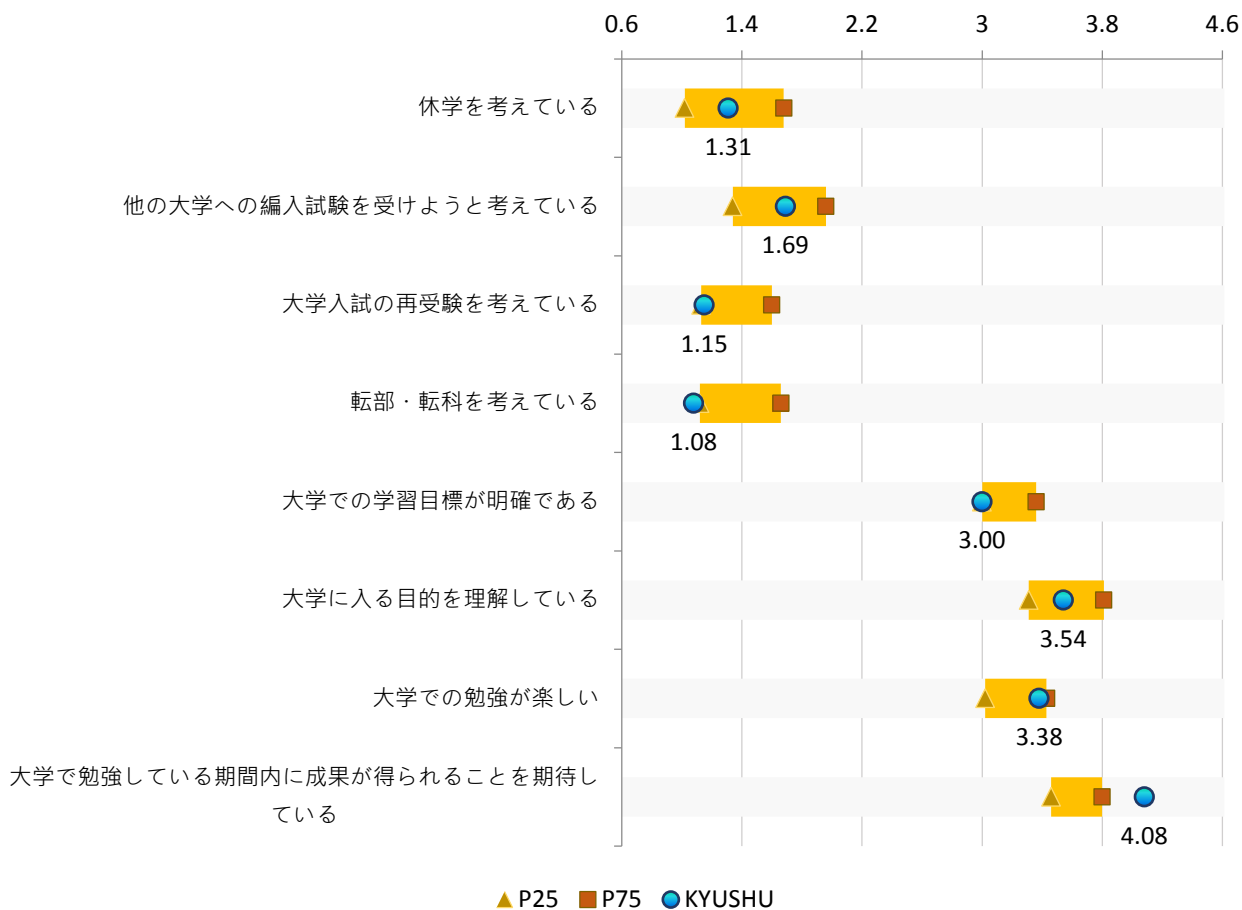
1. 工学、製造、建築分野学生の「自身の現状」への評価

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
休学を考えている	1.31	53	1.02	1.68	0.29	-0.37
他の大学への編入試験を受けよう と考えている	1.69	53	1.34	1.96	0.35	-0.27
大学入試の再受験を考えている	1.15	30	1.13	1.60	0.02	-0.45
転部・転科を考えている	1.08	23	1.12	1.66	-0.04	-0.58
大学での学習目標が明確である	3.00	25	3.00	3.36	--	-0.36
大学に入る目的を理解している	3.54	38	3.31	3.81	0.23	-0.27
大学での勉強が楽しい	3.38	69	3.02	3.43	0.36	-0.05
大学で勉強している期間内に成果 が得られることを期待している	4.08	99	3.46	3.80	0.62	0.28

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中・A大学の「百分位数」がPkの場合・A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に・P99は当大学の値が99%の大学より高い・即ち・その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い・即ち・その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-15-1】工学、製造、建築分野学生の「自身の現状」への評価とP25、P75との比較

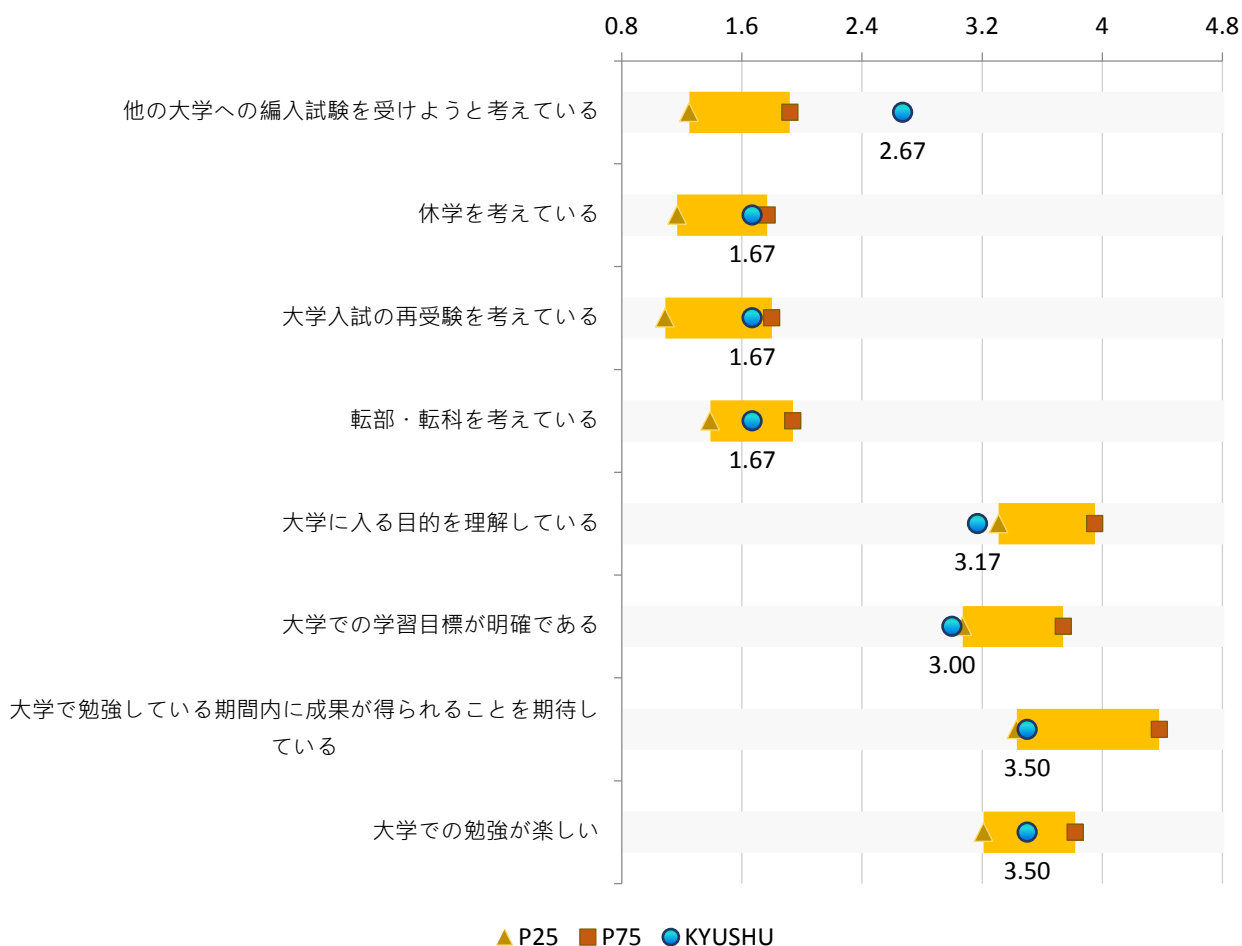
2. 自然科学、数学、統計分野学生の「自身の現状」への評価

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
他の大学への編入試験を受けよう と考えている	2.67	99	1.25	1.92	1.42	0.75
休学を考えている	1.67	71	1.17	1.77	0.50	-0.10
大学入試の再受験を考えている	1.67	71	1.09	1.80	0.58	-0.13
転部・転科を考えている	1.67	50	1.39	1.94	0.28	-0.27
大学に入る目的を理解している	3.17	14	3.31	3.95	-0.14	-0.78
大学での学習目標が明確である	3.00	15	3.07	3.74	-0.07	-0.74
大学で勉強している期間内に成果 が得られることを期待している	3.50	38	3.43	4.38	0.07	-0.88
大学での勉強が楽しい	3.50	45	3.21	3.82	0.29	-0.32

注1： 項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2： アンケートに協力してくれた21大学の中・A大学の「百分位数」がPkの場合・A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に・P99は当大学の値が99%の大学より高い・即ち・その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い・即ち・その他の10大学より高いと意味する。

注3： 「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；
「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-15-2】自然科学、数学、統計分野学生の「自身の現状」への評価とP25、P75との比較

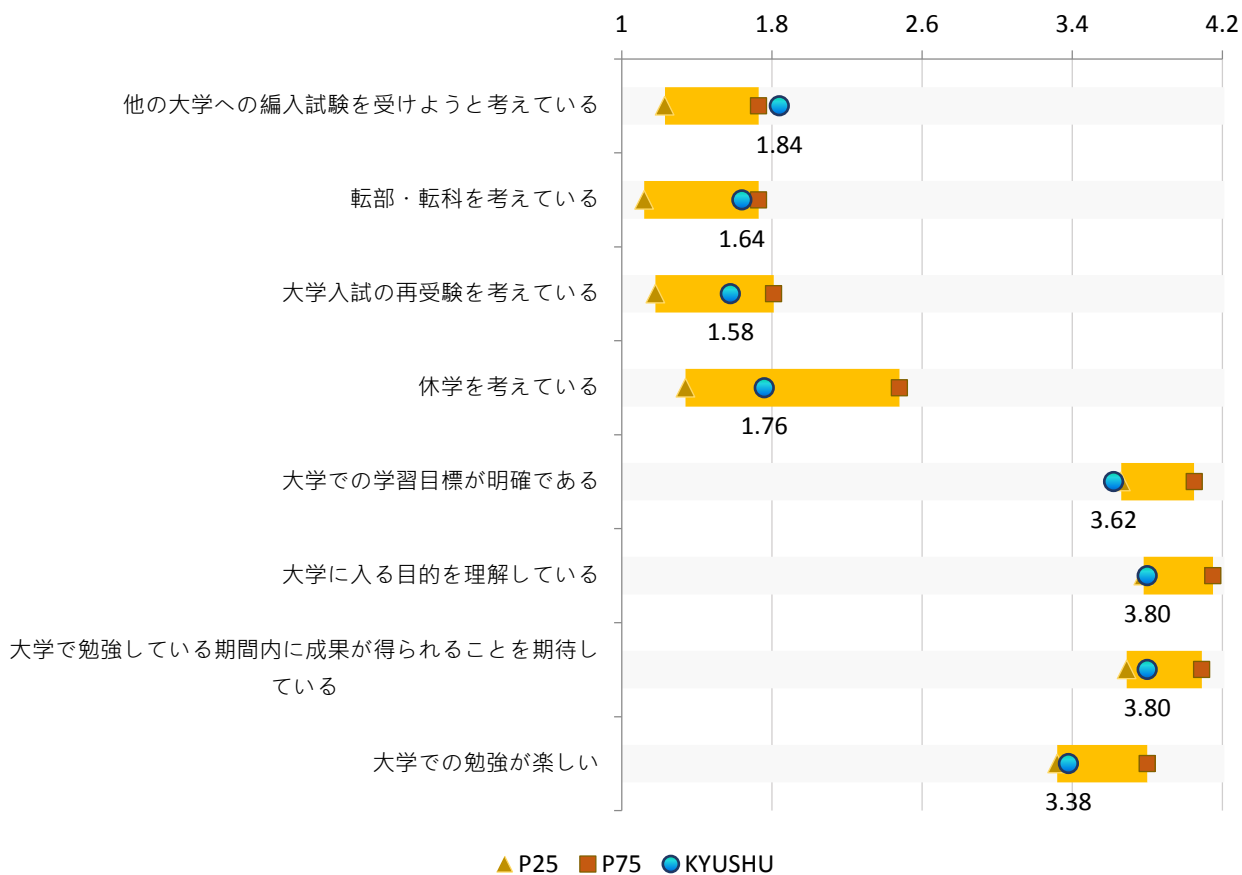
3. 医・薬・衛生看護学や社会福祉分野学生の「自身の現状」への評価

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
他の大学への編入試験を受けよう と考えている	1.84	85	1.23	1.73	0.61 *	0.11
転部・転科を考えている	1.64	64	1.12	1.73	0.52 *	-0.09
大学入試の再受験を考えている	1.58	57	1.18	1.81	0.40	-0.23
休学を考えている	1.76	50	1.34	2.48	0.42	-0.72
大学での学習目標が明確である	3.62	21	3.66	4.05	-0.04	-0.43
大学に入る目的を理解している	3.80	28	3.78	4.15	0.02	-0.35
大学で勉強している期間内に成果 が得られることを期待している	3.80	28	3.69	4.09	0.11	-0.29
大学での勉強が楽しい	3.38	35	3.32	3.80	0.06	-0.42

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中・A大学の「百分位数」がPkの場合・A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に・P99は当大学の値が99%の大学より高い・即ち・その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い・即ち・その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；
「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-15-3】医・薬・衛生看護学や社会福祉分野学生の「自身の現状」への評価とP25、P75との比較

(十六) 【Q3*Q22】異なる分野学生の「全体状況」への意識

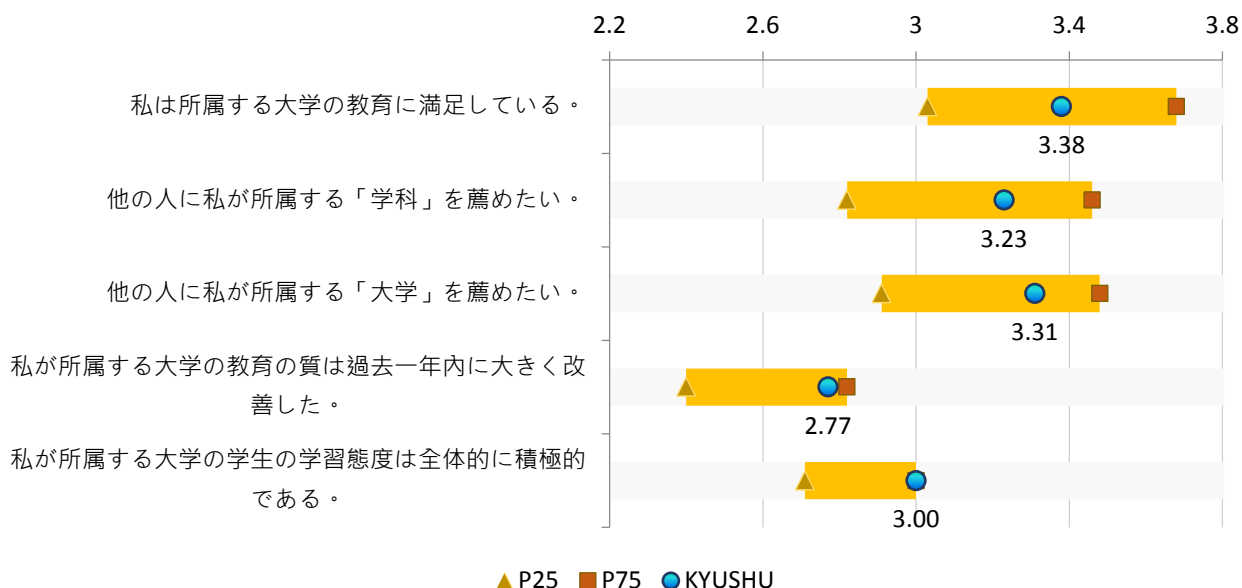
1. 工学、製造、建築分野学生の「全体状況」への意識

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
私は所属する大学の教育に満足している。	3.38	53	3.03	3.68	0.35	-0.30
他の人に私が所属する「学科」を薦めたい。	3.23	61	2.82	3.46	0.41	-0.23
他の人に私が所属する「大学」を薦めたい。	3.31	61	2.91	3.48	0.40	-0.17
私が所属する大学の教育の質は過去一年内に大きく改善した。	2.77	61	2.40	2.82	0.37	-0.05
私が所属する大学の学生の学習態度は全体的に積極的である。	3.00	75	2.71	3.00	0.29	--

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中・A大学の「百分位数」がPkの場合・A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に・P99は当大学の値が99%の大学より高い・即ち・その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い・即ち・その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-16-1】工学、製造、建築分野学生の「全体状況」への意識とP25、P75との比較

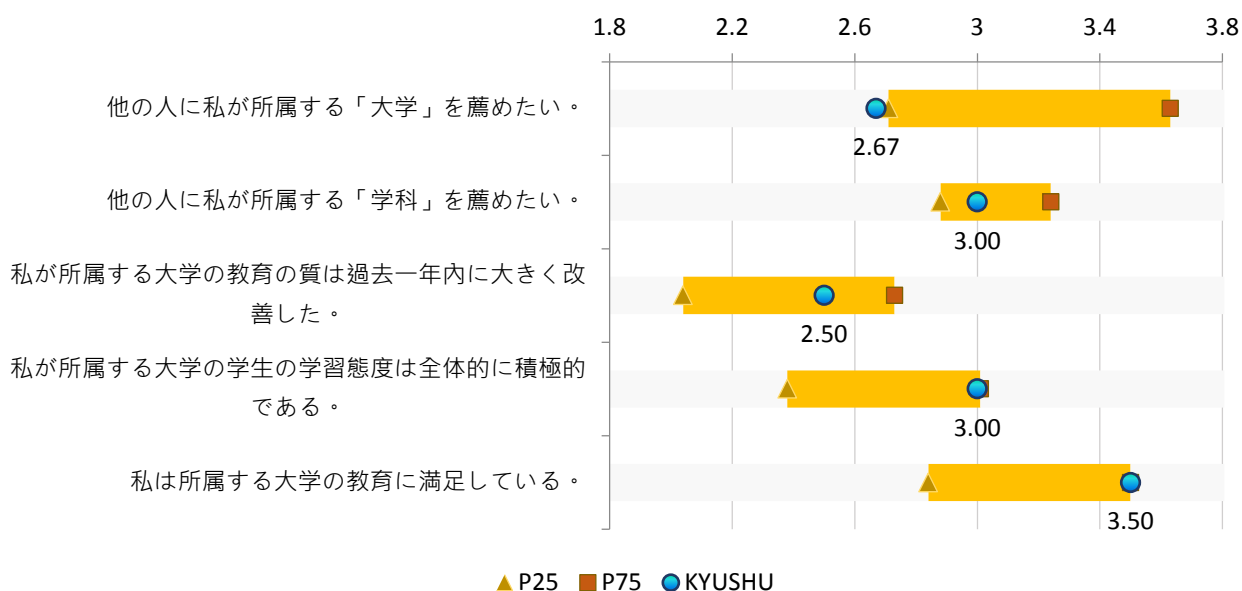
2. 自然科学、数学、統計分野学生の「全体状況」への意識

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
他の人に私が所属する「大学」を薦めたい。	2.67	15	2.71	3.63	-0.04	-0.96
他の人に私が所属する「学科」を薦めたい。	3.00	36	2.88	3.24	0.12	-0.24
私が所属する大学の教育の質は過去一年内に大きく改善した。	2.50	61	2.04	2.73	0.46	-0.23
私が所属する大学の学生の学習態度は全体的に積極的である。	3.00	71	2.38	3.01	0.62	-0.01
私は所属する大学の教育に満足している。	3.50	75	2.84	3.50	0.66	--

注1：項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2：アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3：「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-16-2】自然科学、数学、統計分野学生の「全体状況」への意識とP25、P75との比較

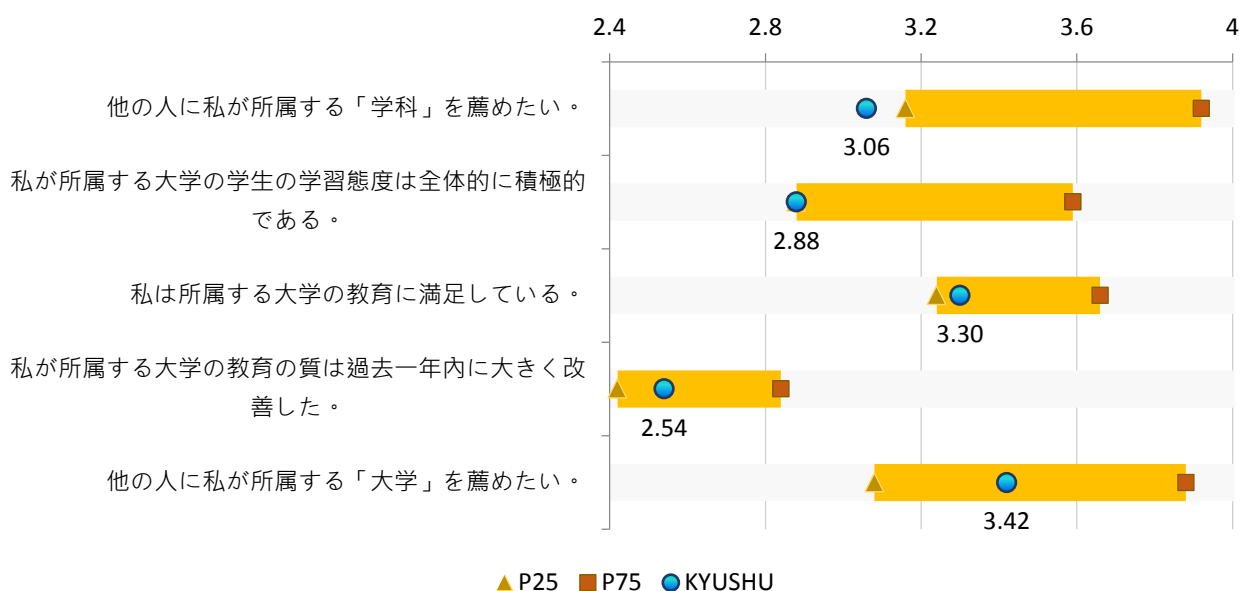
3. 医・薬・衛生看護学や社会福祉分野学生の「全体状況」への意識

項目	KYUSHU		P25	P75	P25との差	P75との差
	平均	百分位数				
他の人に私が所属する「学科」を薦めたい。	3.06	14	3.16	3.92	-0.10	-0.86 *
私が所属する大学の学生の学習態度は全体的に積極的である。	2.88	25	2.88	3.59	--	-0.71
私は所属する大学の教育に満足している。	3.30	28	3.24	3.66	0.06	-0.36
私が所属する大学の教育の質は過去一年内に大きく改善した。	2.54	42	2.42	2.84	0.12	-0.30
他の人に私が所属する「大学」を薦めたい。	3.42	57	3.08	3.88	0.34	-0.46

注1： 項目順位は「百分位数」の値により順位付けを行った結果である。

注2： アンケートに協力してくれた21大学の中、A大学の「百分位数」がPkの場合、A大学の値がk%の大学数より高い水準を意味する。今度の調査を例に、P99は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の20大学より高い；P50は当大学の値が99%の大学より高い、即ち、その他の10大学より高いと意味する。

注3： 「*」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.05$ （両側検定）の状況において、「顕著な差が見られる」ことを意味する；「**」は兩組のデータが信頼区間 $p=0.01$ の状況において、「非常に顕著な差が見られる」ことを意味する。



【図8-16-3】医・薬・衛生看護学や社会福祉分野学生の「全体状況」への意識とP25、P75との比較

附録：アンケート

2019 台湾・日本・タイ大学生学習成果と満足度調査

2019 Investigation on Students' Learning Outcomes and Satisfaction in

Japan, Taiwan and Thailand

この度は、お忙しい中アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。あなたのご意見は、今後大学教育の質向上のための重要なデータとして活用させていただきます。このアンケートで知りえた情報は、下記の3機関における連携研究事業にのみ利用し、個人に関する情報は一切外部へ流出させることはありません。

このアンケートは、全体で約5～10分間程度を要します。あなたのご意見は大学の将来の発展に大きく寄与しますので、実際の経験や感じたことをそのままお答えいただきたくお願い申し上げます。

日本・公益財団法人大学基準協会(JUAA)

台湾・社団法人台湾評価協会(TWAEA)

タイ・国家教育基準・質評価局(ONESQA) 敬白

担当：李欣倚 email：cindy@twaea.org.tw

一、基本情報 Basic Information

1. 性別 Gender： ₁ 男性 Male ₂ 女性 Female
2. 国籍 Status： ₁ 日本国籍 Local Student ₂ 外国籍 Non-local Student
3. 専門分野 Major：
 - ₁ 教育分野 Education
 - ₂ 芸術及び人文分野 Arts and Humanities
 - ₃ 社会科学、ジャーナリズム、図書館情報分野 Social Sciences, Journalism and Library Information
 - ₄ 商、経済、経営、法学分野 Business, Administration and Law
 - ₅ 情報通信技術分野 Information and Communication Technologies
 - ₆ 自然科学、数学、統計分野 Natural Sciences, Mathematics and Statistics
 - ₇ 医・薬・衛生看護学や社会福祉分野 Health and Social Welfare
 - ₈ サービス分野 Services
 - ₉ 農業、林業、漁業、獣医分野 Agriculture, Forestry, Fisheries and Veterinary Medicine
 - ₁₀ 工学、製造、建築分野 Engineering, Manufacturing and Construction
 - ₁₁ その他の分野 Other Fields_____

4. 在籍種類 School System :

- ₁ 四年制(通学課程) Four-year Bachelor (Full-time Schooling Education)
₂ 四年制(通信制) Four-year Bachelor (Correspondence Education)
₃ 六年制(医学・歯学・獣医学・薬学) Six-year Bachelor (Medicine, Dentistry, Veterinary Medicine, Pharmacy)

5. 在籍年数 Grade :

- ₁ 一年 1st grade ₂ 二年 2nd grade ₃ 三年 3rd grade
₄ 四年 4th grade ₅ 五年 5th grade ₆ 六年 6th grade

6. 「学費」の主な財源(複数選択可) :

How do you afford to pay for your tuition fees? (multiple choices)

- ₁ 保護者による負担 Contributions/remittance from family
₂ アルバイト所得 Earnings from part-time job
₃ 奨学金(給付型) Scholarship
₄ 奨学金(貸与型) Financial aids
₅ 個人貯金 Personal savings
₆ その他 Other _____

7. 学習と生活費(書籍、家賃、交通、食事等の出費)の主な財源(複数選択可) :

How do you afford to pay for the cost of learning and living (including books, housing, transportation, food and etc.)? (multiple choices)

- ₁ 保護者による負担 Contributions/remittance from family
₂ アルバイト所得 Earnings from part-time job
₃ 奨学金(給付型) Scholarship
₄ 奨学金(貸与型) Financial aids
₅ 個人貯金 Personal savings
₆ その他 Other _____

二、大学の設備 Facilities and Administration

8. 「図書館の設備」への満足度〔1～5の段階：1：とても不満、2：不満、3：どちらともいえない、4：満足、5：とても満足〕

Satisfaction with "Library Equipment" (five-point scale; 1: very dissatisfied; 5: very satisfied)

- | | | | | | |
|---|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| (1) 専門図書、雑誌、電子ジャーナルなどの充実度
sufficient academic books, journals and electronic resources | <input type="checkbox"/> ₁ | <input type="checkbox"/> ₂ | <input type="checkbox"/> ₃ | <input type="checkbox"/> ₄ | <input type="checkbox"/> ₅ |
| (2) 書籍とジャーナルの配架の適切性
ways to display the books and journals | <input type="checkbox"/> ₁ | <input type="checkbox"/> ₂ | <input type="checkbox"/> ₃ | <input type="checkbox"/> ₄ | <input type="checkbox"/> ₅ |
| (3) 情報検索の利便性
the convenience of information retrieval | <input type="checkbox"/> ₁ | <input type="checkbox"/> ₂ | <input type="checkbox"/> ₃ | <input type="checkbox"/> ₄ | <input type="checkbox"/> ₅ |
| (4) 学習環境の広さ
the capacity and comfort of the environment | <input type="checkbox"/> ₁ | <input type="checkbox"/> ₂ | <input type="checkbox"/> ₃ | <input type="checkbox"/> ₄ | <input type="checkbox"/> ₅ |
| (5) 学習環境の静けさ、清潔性
the quietness and cleanness of the environment | <input type="checkbox"/> ₁ | <input type="checkbox"/> ₂ | <input type="checkbox"/> ₃ | <input type="checkbox"/> ₄ | <input type="checkbox"/> ₅ |

9. 「教育設備」への満足度〔1～5の段階：1：とても不満、2：不満、3：どちらともいえない、4：満足、5：とても満足〕

Satisfaction with “Teaching Equipment” (five-point scale; 1: very dissatisfied; 5: very satisfied)

- | | | | | | | |
|-----|--|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| (1) | 教室空間の快適性
the comfort of the classrooms | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (2) | 教育設備の実用性
the practicality of the teaching equipment | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (3) | eラーニング設備の運用
the use of electronic teaching equipment | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (4) | PC教室設備の充実度
the usability of the equipment located in computer rooms | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (5) | インターネット環境の充実度
the smoothness of Internet connection | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

10. 「大学情報システム」への満足度〔1～5の段階：1：とても不満、2：不満、3：どちらともいえない、4：満足、5：とても満足〕

Satisfaction with “Administration System” (five-point scale; 1: very dissatisfied; 5: very satisfied)

- | | | | | | | |
|-----|--|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| (1) | 履修登録システムの利便性
the convenience of the institution’s course selection system | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (2) | 授業検索システムの利便性
the convenience of the access to the course information system | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (3) | 履修登録システムと授業検索システムの互換性
the function for the switch between course selection system and course information system | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (4) | 大学ホームページでの学務関連情報の検索機能
the convenience of the institution’s website designed for information searching | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (5) | 大学の学習支援システムの実用性
the practicality of the institution’s platform system set up for teaching aids | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

11. 「キャンパス国際化」への意識〔1～5の段階：1：まったく思わない、2：思わない、3：どちらともいえない、4：思う、5：強く思う〕

Recognition of “Campus Internationalization” (five-point scale; 1: strongly disagree; 5: strongly agree)

- 海外交流の機会を多く提供している。(交換留学、共同学位プログラム、海外インターンシップなど)
- | | | | | | | |
|-----|--|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| (1) | My institution provides many overseas learning opportunities. (e.g., student exchange, joint degree programs, overseas internship) | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
|-----|--|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
- 大学はグローバルな学習環境(例.外国語自習センター、外国語模擬教室、英語による授業等)を提供している。
- | | | | | | | |
|-----|---|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| (2) | My institution creates an international learning environment for students. (e.g., foreign language self-learning center, scenario classrooms, lecture in English) | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
|-----|---|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|

大学は学生の国際交流(例.国際ボランティア、国際コンテスト、国際シンポジウム等)への参加を奨励している。

- (3) My institution encourages the students to participate in international activities. (e.g., international volunteer service, international competition, international seminar) ₁ ₂ ₃ ₄ ₅

外国籍の教員や学生との交流機会が多い。

- (4) Many opportunities can be found to communicate with foreign faculties and students. ₁ ₂ ₃ ₄ ₅

三、教育成果 Teaching Effectiveness

12. 教員の「授業方法」が、自身の学習に役立つ程度〔1～5の段階：1：非常に低い、2：低い、3：中程度、4：高い、5：非常に高い〕

To what extent can the following ways of giving a lesson help your learning? (five-point scale; 1: unhelpful; 5: very helpful)

- | | | | | | | |
|------|---|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| (1) | 教員の講義内容や解説
lecture and explanation from teachers | <input type="checkbox"/> ₁ | <input type="checkbox"/> ₂ | <input type="checkbox"/> ₃ | <input type="checkbox"/> ₄ | <input type="checkbox"/> ₅ |
| (2) | 教員が提供または指定する教材(教科書、プリント)
assigned readings (textbooks or handouts) | <input type="checkbox"/> ₁ | <input type="checkbox"/> ₂ | <input type="checkbox"/> ₃ | <input type="checkbox"/> ₄ | <input type="checkbox"/> ₅ |
| (3) | メディアや映像の使用による授業サポート
videos or multimedia used for teaching | <input type="checkbox"/> ₁ | <input type="checkbox"/> ₂ | <input type="checkbox"/> ₃ | <input type="checkbox"/> ₄ | <input type="checkbox"/> ₅ |
| (4) | 教員が提示する事例またはその事例についての討論
case study | <input type="checkbox"/> ₁ | <input type="checkbox"/> ₂ | <input type="checkbox"/> ₃ | <input type="checkbox"/> ₄ | <input type="checkbox"/> ₅ |
| (5) | 教員と学生による双方向授業(質問、討論)
interactive activities | <input type="checkbox"/> ₁ | <input type="checkbox"/> ₂ | <input type="checkbox"/> ₃ | <input type="checkbox"/> ₄ | <input type="checkbox"/> ₅ |
| (6) | 学生によるグループ討論、制作、発表の実施
teamwork (discussion, coursework or presentation) | <input type="checkbox"/> ₁ | <input type="checkbox"/> ₂ | <input type="checkbox"/> ₃ | <input type="checkbox"/> ₄ | <input type="checkbox"/> ₅ |
| (7) | 教員のサポートを通じての制作や実験の実施
experiment and exercise with the aid of teachers | <input type="checkbox"/> ₁ | <input type="checkbox"/> ₂ | <input type="checkbox"/> ₃ | <input type="checkbox"/> ₄ | <input type="checkbox"/> ₅ |
| (8) | 学生がテーマを決定し、資料を集めてレポート等を作成するプロジェクト研究
course project (topics selected by students) | <input type="checkbox"/> ₁ | <input type="checkbox"/> ₂ | <input type="checkbox"/> ₃ | <input type="checkbox"/> ₄ | <input type="checkbox"/> ₅ |
| (9) | 専門家による講演や実演
keynote speech or demonstration | <input type="checkbox"/> ₁ | <input type="checkbox"/> ₂ | <input type="checkbox"/> ₃ | <input type="checkbox"/> ₄ | <input type="checkbox"/> ₅ |
| (10) | フィールドワーク
field trip or tour | <input type="checkbox"/> ₁ | <input type="checkbox"/> ₂ | <input type="checkbox"/> ₃ | <input type="checkbox"/> ₄ | <input type="checkbox"/> ₅ |
| (11) | 複数の教員が合同で開設する授業(例.共同授業等)
co-teaching or team-teaching | <input type="checkbox"/> ₁ | <input type="checkbox"/> ₂ | <input type="checkbox"/> ₃ | <input type="checkbox"/> ₄ | <input type="checkbox"/> ₅ |
| (12) | 教員が授業で映像教材を見せた後に行うポイントの復習
review and summary of key points by teachers after students watch teaching video | <input type="checkbox"/> ₁ | <input type="checkbox"/> ₂ | <input type="checkbox"/> ₃ | <input type="checkbox"/> ₄ | <input type="checkbox"/> ₅ |



13. 「授業内容」への意識〔1～5の段階：1：まったく思わない、2：思わない、3：どちらともいえない、4：思う、5：強く思う〕

Recognition of "Curriculum Teaching" (five-point scale; 1: strongly disagree; 5: strongly agree)

- 教員は、自らの専門分野と合致した授業を提供している。
- (1) The faculties' specialties are in consistent with the courses instructed by them. ₁ ₂ ₃ ₄ ₅
-
- 教員は、学生の学習能力に見合った教材を採用している。
- (2) The teaching materials adopted by the faculties can satisfy most students' learning competency. ₁ ₂ ₃ ₄ ₅
-
- 教員は学生の能力に応じた授業内容と授業方法を取り入れている。
- (3) The faculties adapt teaching methods and instructional strategies to students' aptitudes. ₁ ₂ ₃ ₄ ₅
-
- 教員は、学生の学習成果が高まるような教科書や補助教材を採用している。
- (4) The textbooks and learning materials adopted by the faculties can enhance the students' learning outcomes. ₁ ₂ ₃ ₄ ₅
-
- 教員は、学生の学習意欲を向上させるため、授業において教授法や講義の内容を常に工夫している。
- (5) The faculties have worked hard to be more creative in their teaching to inspire the students' learning motivation. ₁ ₂ ₃ ₄ ₅

四、学習状況 Learning Status

14. 「履修する授業」への意識〔1～5の段階：1：まったく思わない、2：思わない、3：どちらともいえない、4：思う、5：強く思う〕

Recognition of "Curriculum Arrangement" (five-point scale; 1: strongly disagree; 5: strongly agree)

- 履修前から、システム上で各授業のシラバスをチェックすることができる。
- (1) The syllabus is always clearly posted on the website before course selection. ₁ ₂ ₃ ₄ ₅
-
- 大学の授業選択ガイダンスとサポート体制は十分に整っている。
- (2) My institution provides decent assistance for course selection. ₁ ₂ ₃ ₄ ₅
-
- 授業を通じて、卒業までに当該分野の専門知識を十分学習することができる。
- (3) I can obtain sufficient professional knowledge and skills through the institution's courses before graduation. ₁ ₂ ₃ ₄ ₅
-
- 自分の取りたい授業を全部履修することができる。
- (4) I can take the professional programs that I want from my institution. ₁ ₂ ₃ ₄ ₅
-
- 授業によって、就職市場との十分な結びつきを得ることが可能である。
- (5) The design and arrangement of my institution's curriculum and teaching can meet the needs of current employment market. ₁ ₂ ₃ ₄ ₅

大学は、インターンシップ等の機会を提供している。

- (6) Many internship opportunities are provided by my institution to help students own the practical experiences. ₁ ₂ ₃ ₄ ₅

15. 「学習」に対する意識〔1～5の段階：1：まったく思わない、2：思わない、3：どちらともいえない、4：思う、5：強く思う〕

Recognition of “Curriculum Learning” (five-point scale; 1: strongly disagree; 5: strongly agree)

- (1) カリキュラムの進度に遅れずについていくことができる
keep up with class in general ₁ ₂ ₃ ₄ ₅
- (2) 授業のポイントを十分に把握している
get to points from lecturers ₁ ₂ ₃ ₄ ₅
- (3) 時間を有効に活用し、授業の準備をしている
make good use of time to learn ₁ ₂ ₃ ₄ ₅
- (4) 授業の学習内容をスムーズに理解できる
learn class materials effectively ₁ ₂ ₃ ₄ ₅
- (5) 自身の学習成果に満足している
feel satisfied with your academic performance ₁ ₂ ₃ ₄ ₅
- (6) 費やした努力と成果が比例していると感じる
turn your effort to academic performance proportionally ₁ ₂ ₃ ₄ ₅
- (7) 学習上の問題が発生した時、どのように資料を探し、誰に質問すればいいのか理解している
know how to ask for help while encountering difficulty in learning ₁ ₂ ₃ ₄ ₅
- (8) 問題なく他の人と協力し合って、チーム作業を完了させることができる
collaborate well with others on coursework ₁ ₂ ₃ ₄ ₅
- (9) レポートを書くことが得意である
good at writing reports ₁ ₂ ₃ ₄ ₅
- (10) 口頭発表が苦にならない
deliver oral presentation readily ₁ ₂ ₃ ₄ ₅

16. 「広範な教育」への意識〔1～5の段階：1：まったく思わない、2：思わない、3：どちらともいえない、4：思う、5：強く思う〕

Recognition of “Liberal Learning” (five-point scale; 1: strongly disagree; 5: strongly agree)

- (1) 大学が開設する一般教養カリキュラムにより、自身の知識を深めることができる。
My institution’s general education courses have broadened my knowledge. ₁ ₂ ₃ ₄ ₅
- (2) 大学が開設する学際的カリキュラムやプログラムにより、異なる分野の知識をまとめる能力を身に付けることができる。
My institution’s interdisciplinary courses and programs have cultivated me with interdisciplinary integration ability. ₁ ₂ ₃ ₄ ₅
- (3) 大学は、専門教育のほかに、多元的で幅広い視野の養成も重視している。
My institution encourages the students to pursue interdisciplinary study. ₁ ₂ ₃ ₄ ₅

17. 「外国語能力」への意識〔1～5の段階：1：まったく思わない、2：思わない、3：どちらともいえない、4：思う、5：強く思う〕Recognition of “Foreign Language Competency” (five-point scale; 1: strongly disagree; 5: strongly agree)

- | | | | | | | |
|-----|--|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| (1) | 英語の教科書を読む能力がある。
I am capable of reading English text books. | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (2) | 卒業時に求められる外国語の到達基準は、外国語能力の向上につながっている。
My institution’s graduation threshold for foreign languages can encourage me in studying harder. | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (3) | 一種類以上の外国語の検定資格を持っている。
I’ve passed more than one (including one) foreign language proficiency tests. | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (4) | 外国語の授業を履修することによって、卒業後は当該外国語でのコミュニケーションをとれるようになると思う。
I believe that I can use foreign language fluently and effectively in communicating with others after graduation. | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

五、キャンパスライフ支援 School Counseling

18. 大学が提供する支援内容を理解している。〔1～5の段階：1：まったく分からない、2：分からない、3：どちらともいえない、4：理解している、5：よく理解している〕

The following counseling services are provided by school and my understanding to them is:
(five-point scale; 1: no idea at all; 5: understand fairly well)

- | | | | | | | |
|-----|---|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| (1) | 「生活の適応不良」の相談
counseling for “Maladaptation for Living” | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (2) | 「人間関係」の相談
counseling for “Relationship Problem” | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (3) | 「精神的な悩み」の相談
counseling for “Depression” | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (4) | 「セクハラ」の相談
counseling for “Sexual Harassment and Assault” | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (5) | 「キャリアデザイン」の相談
counseling for “Career Development” | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (6) | 「学習成績不振」の相談
counseling for “Learning Difficulties” | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

19. 「教育支援」への意識〔1～5の段階：1：まったく思わない、2：思わない、3：どちらともいえない、4：思う、5：強く思う〕

Recognition of “Teaching Counseling” (five-point scale; 1: strongly disagree; 5: strongly agree)

大学の早期警告制度や補充教育は、学習成果が芳しくない学生のサポートに有効である。

- | | | | | | | |
|-----|---|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| (1) | The early alert system and remedial instruction implemented by my institution can effectively assist the students with bad learning outcomes. | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
|-----|---|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|



- 教員は授業時間の他に学習に必要な指導や情報を提供してくれる。
- (2) The faculties provide necessary guidance or counseling for students through after-class activities. ₁ ₂ ₃ ₄ ₅

- 学習のための e ポートフォリオは、学生の学習成果の向上にとっては効果的である。
- (3) My institution's learning e-Portfolio can effectively enhance the students' learning outcomes. ₁ ₂ ₃ ₄ ₅

20. 「就職支援」への意識〔1～5の段階：1：まったく思わない、2：思わない、3：どちらともいえない、4：思う、5：強く思う〕

Recognition of "Employment Counseling" (five-point scale; 1: strongly disagree; 5: strongly agree)

- 大学は、卒業後の就職やキャリアデザインに対する支援を効果的に行っている。
- (1) My institution can effectively assist the students in employment and career development. ₁ ₂ ₃ ₄ ₅

- 私は卒業後のキャリアデザインについて、明確な方向性と具体的な計画を持っている。
- (2) I already had a clear plan for my future career development after graduation. ₁ ₂ ₃ ₄ ₅

- 私は所属学科のOB/OGのキャリアデザインを知ることが可能である。
- (3) I clearly know the development directions of our alumni after their graduation. ₁ ₂ ₃ ₄ ₅

- 大学は、OB/OGを招き、在学生との交流、経験の提供に関するイベントを行っている。
- (4) Alumni are usually invited by my institution to share and exchange their experiences with us. ₁ ₂ ₃ ₄ ₅

- 大学では、学生に対して、様々な業界の動向や将来の方向性に関する情報を提供している。
- (5) I understand the trend of different industries and also the requests for their potential employees. ₁ ₂ ₃ ₄ ₅

六、自己評価 Self-Evaluation

21. 下記の項目に関する自身の現状〔1～5の段階：1：まったく思わない、2：思わない、3：どちらともいえない、4：思う、5：強く思う〕 To what extent can the following descriptions represent your status? (five-point scale; 1: not at all; 5: to a great extent)

- (1) 他の大学への編入試験を受けようと考えている
considering transferring to other school ₁ ₂ ₃ ₄ ₅

- (2) 転部・転科を考えている
considering changing major ₁ ₂ ₃ ₄ ₅

- (3) 大学入試の再受験を考えている
considering taking the entrance exam again ₁ ₂ ₃ ₄ ₅

- (4) 休学を考えている
considering dropping out of school ₁ ₂ ₃ ₄ ₅



- | | | | | | | |
|-----|--|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| (5) | 大学に入る目的を理解している
clearly understand the purpose of getting into college | <input type="checkbox"/> ₁ | <input type="checkbox"/> ₂ | <input type="checkbox"/> ₃ | <input type="checkbox"/> ₄ | <input type="checkbox"/> ₅ |
| (6) | 大学で勉強している期間内に成果が得られることを期待している
positive results can be expected during school time | <input type="checkbox"/> ₁ | <input type="checkbox"/> ₂ | <input type="checkbox"/> ₃ | <input type="checkbox"/> ₄ | <input type="checkbox"/> ₅ |
| (7) | 大学での勉強が楽しい
learn things happily | <input type="checkbox"/> ₁ | <input type="checkbox"/> ₂ | <input type="checkbox"/> ₃ | <input type="checkbox"/> ₄ | <input type="checkbox"/> ₅ |
| (8) | 大学での学習目標が明確である
clearly understand learning goal | <input type="checkbox"/> ₁ | <input type="checkbox"/> ₂ | <input type="checkbox"/> ₃ | <input type="checkbox"/> ₄ | <input type="checkbox"/> ₅ |

22. 大学の「全体状況」への意識〔1～5の段階：1：まったく思わない、2：思わない、3：どちらともいえない、4：思う、5：強く思う〕

How satisfied are you with your school? (five-point scale; 1: strongly disagree; 5: strongly agree)

- | | | | | | | |
|-----|---|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| (1) | 他の人に私が所属する「学科」を薦めたい。
I am willing to recommend others to study at my department/institute. | <input type="checkbox"/> ₁ | <input type="checkbox"/> ₂ | <input type="checkbox"/> ₃ | <input type="checkbox"/> ₄ | <input type="checkbox"/> ₅ |
| (2) | 他の人に私が所属する「大学」を薦めたい。
I am willing to recommend others to study at my school. | <input type="checkbox"/> ₁ | <input type="checkbox"/> ₂ | <input type="checkbox"/> ₃ | <input type="checkbox"/> ₄ | <input type="checkbox"/> ₅ |
| (3) | 私が所属する大学の学生の学習態度は全体的に積極的である。
As a whole, I think the climate for learning in my institution is good. | <input type="checkbox"/> ₁ | <input type="checkbox"/> ₂ | <input type="checkbox"/> ₃ | <input type="checkbox"/> ₄ | <input type="checkbox"/> ₅ |
| (4) | 私が所属する大学の教育の質は過去一年内に大きく改善した。
As a whole, my institution has improved a lot over the past one year. | <input type="checkbox"/> ₁ | <input type="checkbox"/> ₂ | <input type="checkbox"/> ₃ | <input type="checkbox"/> ₄ | <input type="checkbox"/> ₅ |
| (5) | 私は所属する大学の教育に満足している。
As a whole, I am satisfied with my school. | <input type="checkbox"/> ₁ | <input type="checkbox"/> ₂ | <input type="checkbox"/> ₃ | <input type="checkbox"/> ₄ | <input type="checkbox"/> ₅ |

本アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

Thank you for completing the questionnaire.

Learning Outcomes & Satisfaction



日本・公益財団法人大学基準協会

Japan University Accreditation Association



社團法人台灣評鑑協會

Taiwan Assessment & Evaluation Association



ONESQA タイ国家教育基準・質評価局

Office for National Education Standards
and Quality Assessment